

RICOH

使用説明書

詳細版

リコーメディアコネクション

BXシリーズ



多機能電話機

RI-D-TELの使い方

このたびはリコーメディアコネクションBXシリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。



- ご使用前に、この「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとも、いつでも見られる場所においてお使いください。

ご使用前に





この使用説明書では、製品を安全に正しくお使いいただきあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物理的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の意味は次のようになっています。

	△記号は注意(警告も含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は「感電注意」です)。
	⊘記号は禁止の行為であることをつげるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています(左図の場合は「分解禁止」です)。
 	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています(左図、上の場合は「電源プラグをコンセントから抜け」、下の場合は「必ず実施」です)。

- 本製品はクラスA情報技術装置です。本製品を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のミニWnnを使用しています。
"Mini Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 2000-2002 All Rights Reserved

安全のために必ずお守りください

■異常時の処置について

警告



万一、内部に水などが入った場合は、回線のモジュージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、内部に異物が入った場合は、回線のモジュージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに回線のモジュージャックをはずし、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一、電話機を落としたり、ケースを破損した場合は、回線のモジュージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

■取扱いについて

警告



電話機に水が入ったりしないよう、まためらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。



電話機の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



すきま等から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



本装置を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



回線コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると回線コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電話機裏面にコードを接続する場合、あやまって受話器のコードをMFTまたはLINEに接続しないでください。回線電圧が受話器にかかって火災・感電・故障の原因となります。

注意



電話機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。



移動させる場合は、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。











回線コードなどを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



壁掛け式で使用する場合は、落下しないように注意してください。けがの原因となることがあります。




■設置場所について

 警告

-  直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
-  湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。
-  壁掛け式にする場合は、電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付けてください。けがの原因となることがあります。
-  振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
-  テレビ、ラジオ、アンプ、スピーカーボックスなど磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。また、テレビ局、ラジオ局などの近くやノイズを発生する大型溶接機器などの近くに設置しないでください。正常に動作しないことがあります。
-  製氷倉庫の中など、特に温度の下がる場所に置かないでください。正常に動作しないことがあります。

■お手入れについて

 注意

-  静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。火災・故障の原因となります。
-  アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。
-  汚れがひどいときはうすい中性洗剤をつけた布をかたくしぼって拭き、その後かわいた布でもう一度、からぶきしてください。洗剤や水をスプレーなどで直接かけるようなことはしないでください。故障の原因となります。

■主装置の取り扱いについて

 注意

-  主装置の前扉を外さないでください。内部に触れると感電の原因となります。
-  主装置の前扉を外さないでください。蓄電池の電源部や電源の配線が筐体に触れると火災や故障の原因となります。
-  指定のヒューズ以外は使用しないでください。火災や故障の原因となります。
-  主装置の前扉を外さないでください。電源部に触れると火傷の原因となります。

目次

● ご使用の前に(絵表示について)	2
● 安全のために必ずお守りください	3
● ご使用にあたって	5
● 目次	6
● 電話機の種類	11
● 各部の名称と機能	12

第1章

基本操作

外線

● 受話器を上げてかける(オフフックダイヤル)	16
● 受話器を置いたままかける(オンフックダイヤル)	16
● システム短縮ダイヤルでかける(システム短縮ダイヤル)	16
● 個人短縮ダイヤルでかける(個人短縮ダイヤル)	16
● ワンタッチオートダイヤルでかける(ワンタッチオートダイヤル)	17
● 最後にかけた相手に再度かける(ラストナンバーリダイヤル)	17
● 電話を受ける	17
① 回線対応ごとのボタンで受ける(ストレートライン応答)	17
② 自テナントの着信を1つのボタンで集中して受ける(自テナントバーチャルライン応答)	17
③ 他テナントの着信をボタンで受ける(他テナントバーチャルライン応答)	17
● 通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする(一般保留)	18
● 通話中の相手を他の内線に転送する(転送)	18
① 近くの人に転送する(保留転送)	18
② 遠くの人に用件を伝えた後転送する(自動転送)	18
③ 遠くの人に転送時 相手が応答する前に受話器を戻す(簡易転送)	18

内線

● 受話器を上げてかける(オフフックダイヤル)	19
● 受話器を置いたままかける(オンフックダイヤル)	19
● ワンタッチダイヤルでかける(ワンタッチダイヤル)	19
● 相手を音声で呼び出す(音声呼出し)	19
● 電話を受ける(内線応答)	20
● 通話保留時どの電話からでも戻れるようにする(一般保留)	20
● 通話中の相手を他の内線に転送する(転送)	20
① 近くの人に転送する(保留転送)	20
② 遠くの人に用件を伝えた後転送する(自動転送)	20
③ 遠くの人に転送時 相手が応答する前に受話器を戻す(簡易転送)	20

第2章

応用操作

外線

● 外線発信した電話番号を一時記憶させる(セーブダイヤル)	22
● 通話中に電話番号を記憶させる(メモダイヤル)	22
● 電話番号を組合わせてかける(チェーンダイヤル)	23
① 短縮ダイヤルどうしの組合わせ	23
② 短縮ダイヤルとワンタッチダイヤルの組合わせ	23
③ 短縮ダイヤルと任意電話番号の組合わせ	23
● NCC(新電電各社)回線を利用してかける(NCC発信)	24
① LCR機能を利用する(国内LCR発信)	24
② 任意のLCR回線を選択する(NCC発信)	24
③ 国際LCR機能を利用する(国際LCR発信)	24
● 通話中にプッシュ(PB)信号を出す(PB信号送出)	25

● 通話中にフッキング信号を出す(フッキング)	25
① キャッチホンを受ける	25
② 通話中の相手を親交換機の内線に転送する	25
● 通話料金を確認する(通話料金表示)	26
① 通話中の料金確認(通話料金即知表示)	26
② 最後にかけた通話料金の確認(最終通話料金表示)	26

内線

● 相手が話中のため別の内線にかける(リセットコール)	27
● 相手が話中のためそのまま通話終了を持つ(オフフックキャンプオン)	27
● 相手が話し終わったら自動的に呼出す(オンフックキャンプオン)	27
● グループの電話機に対して音声呼出しをする(グループ音声呼出し)	28
● すべての電話機に対して音声呼出しをする(音声一斉呼出し)	28
● グループ内の電話着信を自席の電話で受ける(代理応答)	28
● 相手が席に戻ったら相手から電話をもらう(留守中着信表示)	29
● 連絡を待っている相手に簡単な操作でかける(留守中着信自動呼出し)	29
● 相手の電話機に伝言を表示させる(伝言サービス)	30
● 不在中にかけてきた内線にメッセージで知らせる(不在メッセージ)	30
● 相手が話中か不在中かを確認する(内線話中／不在表示)	31

外線・内線

● 不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する(可変不在転送)	32
● 通話保留時その電話機からしか戻れないようにする(自己保留)	32
● 通話中の相手を内線にワンタッチで転送する(ワンタッチ転送)	33
● 通話中の相手を内線に簡単な操作で転送する(クイック転送)	33
● 音声呼出し後に転送する(グループ音声呼出転送)	33
● 一時電話がかかってくないようにする(着信拒否)	34
● 通話を個別に保留する(グループ保留)	34
● 以前にかけた相手やかけてきた相手にかける(発信履歴発信)	35
① 以前にかけた相手にかける(発信履歴発信)	35
② 以前にかけてきた相手にかける(着信履歴発信)	36

第3章

付加機能

● 構内放送をする(ページング転送／呼出し)	38
① 放送で呼出して電話を転送する(構内ページング転送)	38
② 放送で呼出す(ページング呼出し)	38
● 転送電話機能を使う(転送電話)	39
① 自分の外出先にDI、DID、DILの着信を自動転送させる(自動転送)	39
② 外線通話を任意の外線相手に手動で転送する(手動転送)	39
● DSS(RI-48集中受付装置)を使う(DSS)	40
● ドアホンからの着信に応答する(ドアホン着信応答)	40
● ヘッドセットで通話する(ヘッドセット通話)	41

第4章

画面操作からの 機能設定

● 登録項目について	44
● 電話帳に登録する	45
● 電話帳を使って電話をかける	47
● 発信履歴から電話帳に登録する	48
● 短縮ダイヤルを電話帳に登録する	48
● グループ設定を変更する	49
● 発信履歴を使って電話をかける	49
● 着信履歴を使って電話をかける	50
● 履歴を保存する	50
● 着信音を設定する	51
● 着信音を鳴らさない	51
● ボタン操作音を出さない	51
● 画面コントラストを調節する	52
● 省電力モードを使う	52
● アラームを使う	53
● 電話機をロックする	53
● 電話機を初期化する	54
● ヘッドセットを使う	54
● ハンドセットの条件を変える	54

第5章

登録操作

● 登録項目について	56
● 操作可能な電話機台数について	57
● まず登録モードにする	57
● 個人短縮ダイヤルを登録する	58
● 登録内容を編集する	60
● 機能ボタンを登録する	61
● チェーンダイヤルに登録する(チェーンダイヤル登録)	63
① 後に付ける短縮番号の場合	63
② 後に付けるワンタッチの場合	63
● 機能ボタンを登録する(機能ボタン)	64
● 外線相手をワンタッチボタンに登録する(外線ワンタッチボタン)	64
● 内線相手をDSSのワンタッチボタンに登録する(DSS内線ワンタッチボタン)	65

第6章

特定電話機

● 特定電話機について	68
● 操作可能な電話機台数について	69
● まず登録モードにする	69
● 日付を設定する	70
● 時刻を設定する	70
● システム短縮ダイヤルを登録する	71
● 内線名称を登録する	72
● 登録内容を編集する	73
● 内線電話機のデータを他の電話機にコピーする	74
① ワンタッチダイヤル、特殊機能ボタンの内容コピー	74
② 外線着信音を鳴らす／鳴らさないのコピー	74
● 席移動先に移動前の電話機データを移す	75
● DSSに収容した外線の着信音を変える	76
● 短縮番号の代わりに支店番号でかける	76

● 夜間・深夜サービス機能の切替時刻を設定する	77
① 夜間サービスの場合	77
② 深夜サービスの場合	77
● 電話機毎の通話料金を操作する	78
● グループ毎の通話料金を操作する	79
● システム通話料金を操作する	80
● 通話料金予算額を登録する	81
① 内線毎の予算額	81
② グループ毎の予算額	81

第7章

その他の電話機

RI-24Dハンズフリー電話機

● 外線にかける(外線発信)	84
● 外線からの電話を受ける(外線応答)	84
● 内線にかける(内線発信)	85
● 内線からの電話を受ける(内線応答)	85
● ヘッドセットで通話する(ヘッドセット通話)	86
● 通話を録音する(通話録音)	87
● 高音量ベルを使う(高音量ベル)	87
● スピーカ付アンブを使う(スピーカ付アンブ)	87

RI-24D停電用表示付電話機

● 外線にかける(外線発信)	88
● 外線からの電話を受ける(外線応答)	88

RI-24D ISDN停電用表示付電話機

● 外線にかける(外線発信)	89
● 外線からの電話を受ける(外線応答)	89

第8章

システム機能

● 親交換機を介して外線にかける(PBX/CES外線発信特番自動送出)	92
● 外線着信を特定の電話機に着信させる(個別着信)	92
● 特定外線からの着信を1台の電話機に着信させる(ダイレクトインライン)	92
● 特定の外線を1内線で専用にする(プライベートライン)	92
● 外線を長時間保留している回線を強制的に切断する(長時間保留自動開放)	92
● 通話中にダイヤル信号(DP/PB)を出す(通話中ダイヤル出)	93
● 内線の代表番号にかけて呼出す(内線代表)	93
● 保留が長く続いたときに警報音を出す(保留警報)	93
● 電話機ごとに発信できるエリアを規制する(電話機別発信規制)	93
● 夜間・休日に全着信を特定の場所で受ける(夜間着信切替)	94
● 外線ボタン毎に着信音を変える(外線別着信音設定)	94
● 通話中に着信があると自動的に着信音が小さくする(通話中着信音自動低減)	94
● 受話器が外れていると警報音を出す(ハウラ音送出)	94
● 市内/市外専用線を接続する(専用線)	95
● ダイレクトインダイヤル(DID)回線で受ける(ダイレクトインダイヤル)	95
● ダイヤルイン(DI)回線で受ける(ダイヤルイン)	95
● ISDN回線を接続する(ISDN)	95

第9章

付録

● 十字ボタンの機能	98
● こんなメッセージが出たら	98
● 機能メニューの表示	99
● 機能メニュー一覧	100
● 文字入力	106
● 各ボタンの文字割り当て	107
● 電話機角度／画面角度を変える	108
● 電話機のマルチ接続	108
● 主な仕様	109

電話機の種類

本装置に接続してご利用いただける専用電話機です。

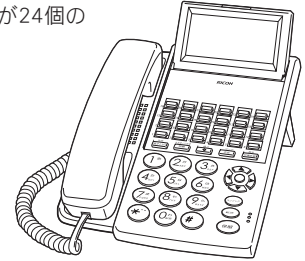
RI-12D表示付電話機 〈RI-12D-TELSD〉

フリーファンクションボタンが12個の標準電話機です。



RI-24D表示付電話機 〈RI-24D-TELSD〉

フリーファンクションボタンが24個の標準電話機です。



RI-24D停電用表示付電話機 〈RI-24D-TELPF〉

停電時本装置に搭載のバッテリーからも給電が停止した場合、自動的に直通電話(一般回線)に切替わります。



RI-24D ISDN停電用表示付電話機 〈RI-24D-TELPFI〉

停電時本装置に搭載のバッテリーからも給電が停止した場合、自動的に直通電話(INS64回線)に切替わります。



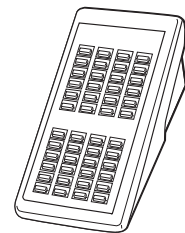
RI-24Dハンズフリー電話機 〈RI-24D-TELHF〉

受話器を置いたまま通話できます。また、ヘッドセットや録音装置も接続できます。



RI-48集中受付装置D 〈RI-48DSSD〉

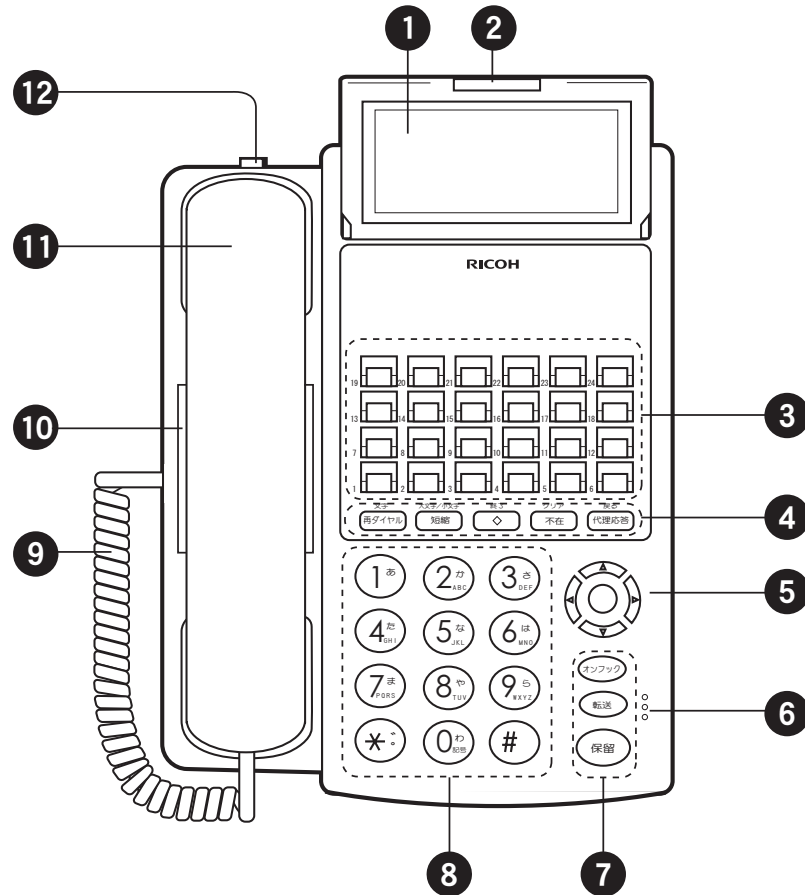
相手先をワンタッチで呼び出せる装置です。これらのボタンは設定によって各種機能ボタンとして利用できます。電話機と一体で使用するものです。



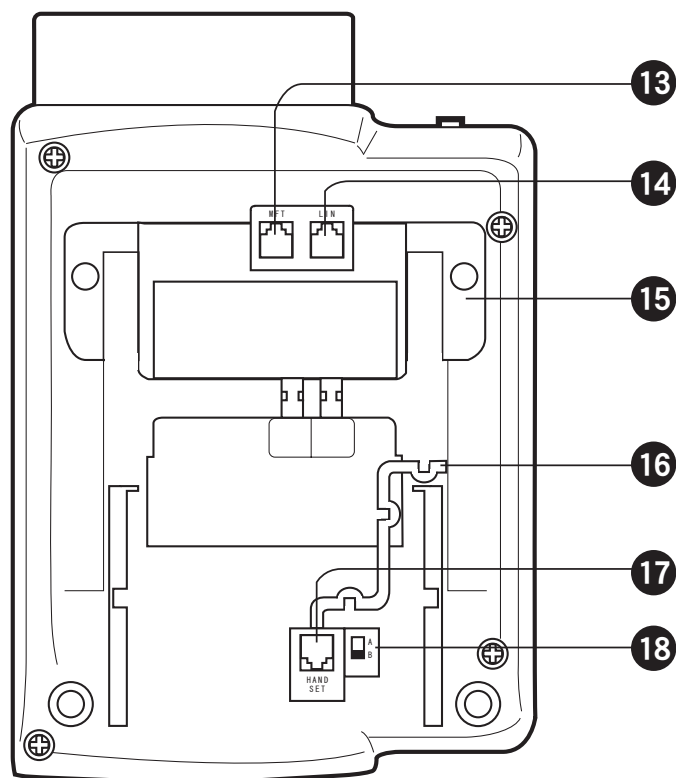
各部の名称と機能

☒はRI-24D-TELS D

正面




裏面



1 表示器
入力した電話番号や、かかってきた電話番号などを表示します。

2 着信ランプ
着信時に赤点滅します。

3  フリーファンクションボタン
外線を受容します。空きボタンは設定により特殊ボタンとして使用できます。

4 機能ボタン (5個)

文字
再ダイヤル **再ダイヤル/文字ボタン**

直前にかけた相手に再度かけるときや、文字入力時に文字種切替るときに使用します。

大文字/小文字
短縮 **短縮/大文字/小文字ボタン**

短縮ダイヤルで電話をかけるとき、文字入力時に大文字/小文字を切替るときに使用します。

終了
◇ **◇/終了ボタン**

ダイヤルを間違えた際に捕捉している回線を一旦切るときや、電話帳操作を終了するときに使用します。

クリア
不在 **不在/クリアボタン**

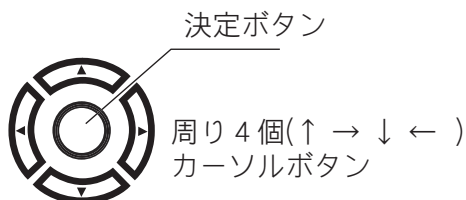
自席にかかってくる電話を行先の内線に転送するときや、電話帳操作時文字を消去するときに使用します。

戻る
代理応答 **代理応答/戻るボタン**

近くの電話機の着信に応答するときや、電話機能メニューの1つ上の階層に戻るときに使用します。

5  十字ボタン

電話帳登録時などのメニューを呼び出すときや各種音量調節するときに使用します。



詳細：十字ボタンの機能(P.98)

6 マイク
ハンズフリー通話を利用する場合のマイクです。

7 機能ボタン (3個)

オンフック **オンフックボタン**

受話器を置いたままダイヤルするときなどに使用します。

転送 **転送ボタン**

通話中の電話を他の内線にまわすときなどに使用します。

保留 **保留ボタン**

通話中の相手を一時待たせるときなどに使用します。

8  ~  *  **ダイヤルボタン**
電話番号や文字、記号を入力するときに使用します。

9 カールコード

10 スピーカ
オンフックダイヤルを利用時、相手を呼出す音などが聞こえます。

11 ハンドセット
相手と通話するときに使用します。

12 ハンドセットフック
電話機が壁掛式の場合、通話中の相手を一時待たせる際にハンドセットを掛けておく所です。

13 MFT
ブランチ接続する場合に、一方の電話機の回線コードを接続します。

14 LIN
回線コードを接続します。

15 角度アダプタ
電話機の角度を変えるときに使用します。

16 ハンドセットコード固定溝

17 HANDSET
ハンドセットコードを接続します。

18 切替スイッチ
ブランチ接続されているとき、一方の電話機はA側、もう一方はB側に設定するものです。(設定は販売店が行いますので設定を変えないでください。)

MEMO



第1章

基本操作

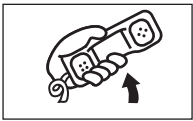


この章は、基本的な電話機の使い方についての説明です。

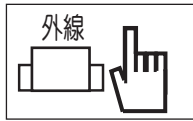
外線 基本操作

受話器を上げてかける

ソフト
オフフックダイヤル

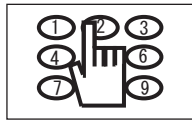


1. 受話器を上げる。



2. 空いている外線ボタンを押す。

・外線ランプが緑点灯になります。



3. 相手番号をダイヤルする。

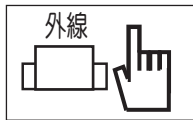
受話器を置いたままかける

ソフト
オンフックダイヤル



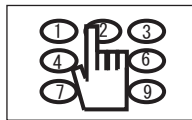
1. オンフックボタンを押す。

・オンフックランプが赤点灯します。



2. 空いている外線ボタンを押す。

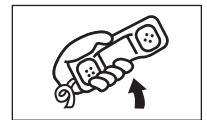
・外線ランプが緑点灯になります。



3. 相手番号をダイヤルする。



4. スピーカで相手の応答を確認する。

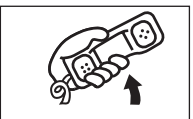


5. 受話器を上げる。

システム短縮ダイヤルでかける

ソフト
システム短縮ダイヤル

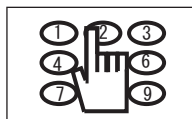
全内線が共通で使える短縮ダイヤルです。



1. 受話器を上げる。



2. 短縮ボタンを押す。



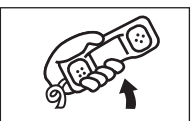
3. 短縮番号を押す。

- あらかじめシステム短縮ダイヤルに相手先を登録してください（登録P.71）。
- 操作3. の短縮番号は、「システム短縮ダイヤル100箇所」の場合は「00～99」、「システム短縮ダイヤル1000箇所」の場合は「000～999」です（登録P. 71）。
- 外線を指定して発信する場合は、短縮ボタンを押す前に、希望の外線ボタンを押してください。

個人短縮ダイヤルでかける

ソフト
個人短縮ダイヤル

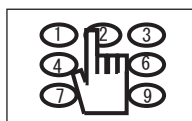
各内線が独自に使用できる短縮ダイヤルです。システム短縮ダイヤルとは別枠で使用できます。



1. 受話器を上げる。



2. 短縮ボタンを押す。



3. 短縮番号を押す。

- あらかじめ個人短縮ダイヤルに相手先を登録してください（登録P.58）。
- 操作3. の短縮番号は、「システム短縮ダイヤル100箇所」の場合は「80～99」、または「*80～*99」、「システム短縮ダイヤル1000箇所」の場合は「*80～*99」です（登録P. 58）。
- 外線を指定して発信する場合は、短縮ボタンを押す前に、希望の外線ボタンを押してください。

ワンタッチオートダイヤルでかける

ワンタッチオートダイヤル



1. 受話器を上げる。
2. ワンタッチボタンを押す。

- 外線が収容されていない空きボタンをワンタッチボタンとして使用します（登録P.61）。
- あらかじめワンタッチボタンに外線相手を登録してください（登録P.61）。
- 外線を指定して発信する場合は、ワンタッチボタンを押す前に、希望の外線ボタンを押してください。

最後にかけた相手に再度かける

ソフト
ラストナンバーダイヤル

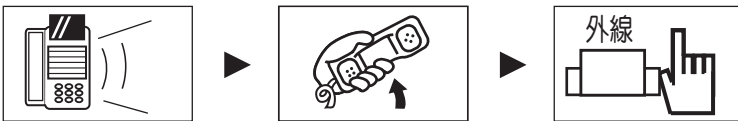


1. 受話器を上げる。
2. 再ダイヤルボタンを押す。

電話を受ける

ソフト
外線応答

① 回線対応ごとのボタンで受ける（ストレートライン応答）



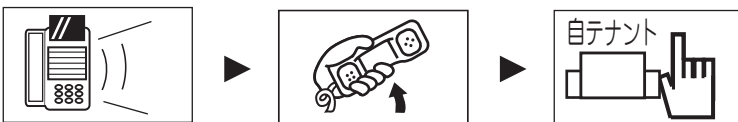
着信音が鳴り、外線ランプが赤の速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。
2. 赤の速い点滅をしている外線ボタンを押す。

・ 外線ランプが緑点灯になります。

- 着信時、外線ランプが緑の速い点滅のときは、受話器を上げると即応答になります。
- 操作2. で外線ボタンの代わりに8ボタンを押しても応答できます。
- 外線ボタンが収容されていない場合は、外付け用の着信ブザーが設置されます。ブザーが鳴ったら8ボタンを押してください。応答できます。

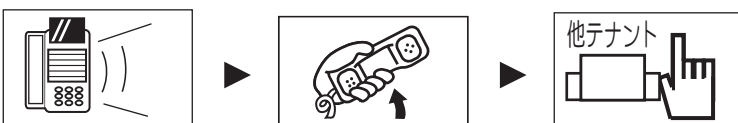
② 自テナントの着信を1つのボタンで集中して受ける（自テナントバーチャルライン応答）



着信音が鳴り、自テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。
2. 赤の速い点滅をしている自テナントの応答ボタンを押す。

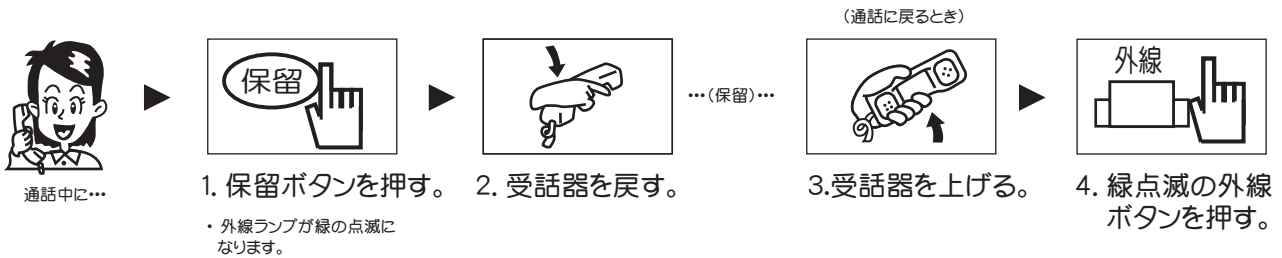
③ 他テナントの着信をボタンで受ける（他テナントバーチャルライン応答）



着信音が鳴り、他テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。
2. 赤の速い点滅をしている他テナントの応答ボタンを押す。

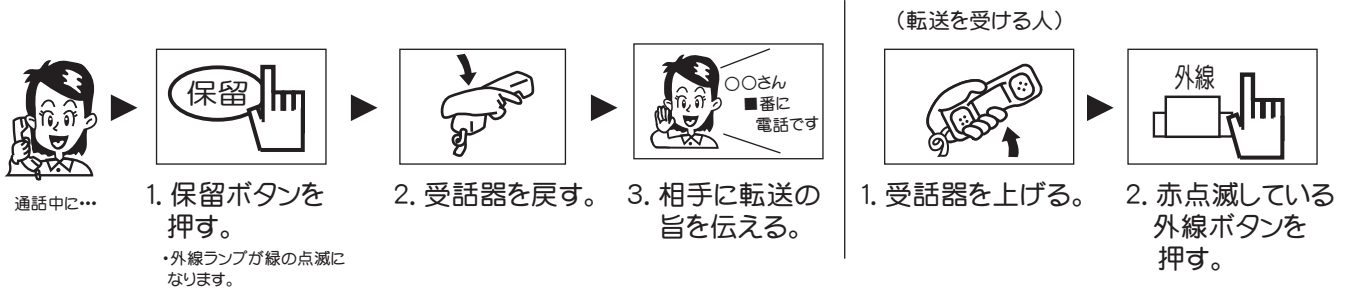
通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする



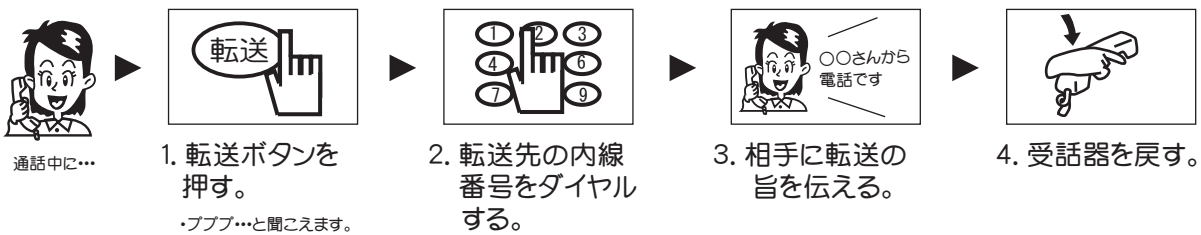
- この方法で保留すると、保留した電話機以外の電話機からでも保留を解除できます。
- 保留中は、相手にメロディが流れます。
- 保留が一定時間(取付時設定)を超えるとスピーカから警報音が鳴ります。

通話中の相手を他の内線に転送する

① 近くの人に転送する (保留転送)

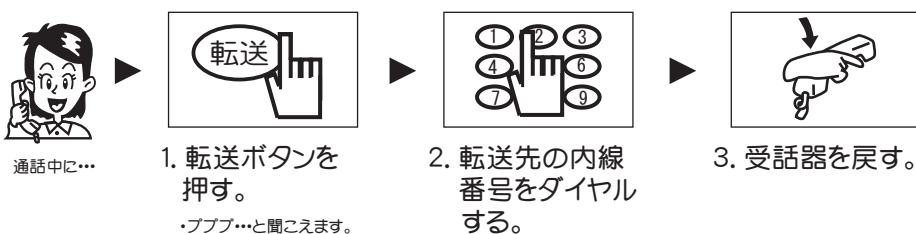


② 遠くの人に用件を伝えた後転送する (自動転送)



- 操作3. で、相手が話中、または応答がないときは、再度、転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

③ 遠くの人に転送時 相手が応答する前に受話器を戻す (簡易転送)

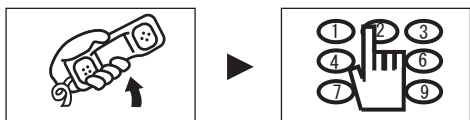


- 操作3. の後、約20秒経っても相手が応答しないと、転送した側に速い呼び出し音が鳴って電話が戻ってきますので、受話器を上げてください。待たせていた相手との通話になります。

内線 基本操作

受話器を上げてかける

オンフックダイヤル



1. 受話器を上げる。
2. 相手番号をダイヤルする。

受話器を置いたままかける

オンフックダイヤル

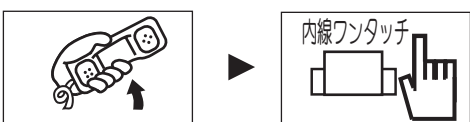


1. オンフックボタンを押す。
2. 相手番号をダイヤルする。
3. スピーカで相手の応答を確認する。
4. 受話器を上げる。

・オンフックランプが赤点灯します。

ワンタッチダイヤルでかける

ワンタッチダイヤル



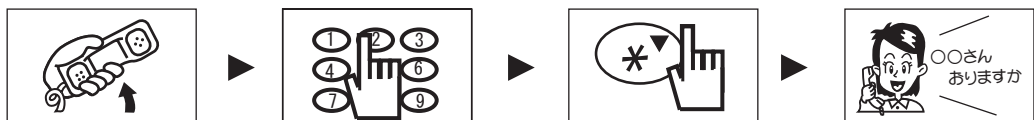
1. 受話器を上げる。
2. 内線ワンタッチボタンを押す。

- 空いている外線ボタンを内線ワンタッチダイヤルボタンとして使用します。
- あらかじめ内線相手先を登録してください（登録P.61）。

相手を音声で呼び出す

音声呼出し

相手電話機のスピーカから話しかけることができます。



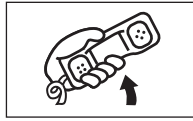
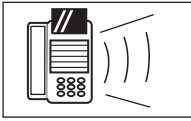
1. 受話器を上げる。
2. 相手番号をダイヤルする。
3. 呼出し音が聞こえているときに*を押す。
4. 相手を呼び出す。

・冒頭音（ブーツ）が聞こえます。

- 操作3. で*を押す毎に、音声呼び出しと信号音呼び出しとが交互に替わります。
- 本機能を利用できるのは、相手の電話機が多機能電話機の場合だけです。

電話を受ける

内線応答



着信音が鳴る。

・オンフックランプが速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。

通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする

一般保留

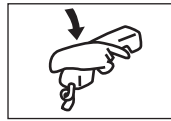
解除



通話中に...

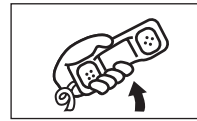


1. 保留ボタンを押す。



2. 受話器を戻す。

... この間は保留中 ...



3. 受話器を上げる。



4. 保留ボタンを押す。

通話中の相手を他の内線に転送する

転送

① 近くの人に転送する (保留転送)

応答



通話中に...



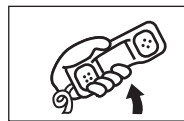
1. 保留ボタンを押す。



2. 受話器を戻す。



3. 相手に転送の旨を伝える。



1. 受話器を上げる。



2. 保留ボタンを押す。

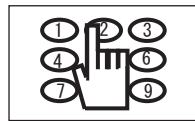
② 遠くの人に用件を伝えた後転送する (自動転送)



通話中に...



1. 転送ボタンを押す。
・ブブブ...と聞こえます。



2. 転送先の内線番号をダイヤルする。



3. 相手に転送の旨を伝える。



4. 受話器を戻す。

● 操作3. で、相手が話中、または応答がないときは、再度、転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

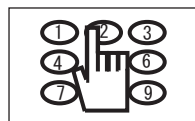
③ 遠くの人に転送時 相手が応答する前に受話器を戻す (簡易転送)



通話中に...



1. 転送ボタンを押す。
・ブブブ...と聞こえます。



2. 転送先の内線番号をダイヤルする。



3. 受話器を戻す。

● 操作3. の後、約20秒経っても相手が応答しないと、転送した側に速い呼び出し音が鳴って電話が戻ってきますので、受話器を上げてください。待たせていた相手との通話になります。



第2章

応用操作



この章は、電話機をさらに使いこなすための応用操作（便利な機能）についての説明です。

外線 応用操作

外線発信した電話番号を一時記憶させる

セーブダイヤル

外線にかけたとき、再度その相手にかける可能性がある場合には、次の操作をすると、ダイヤルした番号を一時記憶させておけます。何度でも発信できるため一時的なワンタッチボタンとして便利です。

登録



相手呼出中、
相手話し中、
または通話中に...

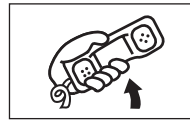


1. 再ダイヤルボタンを押す。

・再ダイヤルランプが赤点灯します。

- 記憶できる相手先数は1箇所です。
- 本機能とラストナンバーリダイヤル(P.17)はどちらか選択です。
- 本機能を利用すると「発着信履歴発信」(P.35)は利用できません。発着信履歴発信機能を利用する場合は、本機能を解除してください。

発信



1. 受話器を上げる。



2. 再ダイヤルボタンを押す。

・再ダイヤルランプは、ダイヤル中は遅い点滅になり、相手につなぐと点灯します。

解除



1. 受話器を置いたまま再ダイヤルボタンを押す。

・再ダイヤルランプが消えます。

通話中に電話番号を記憶させる

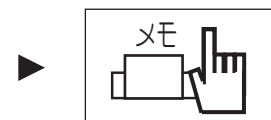
メモダイヤル

外線と通話中に相手から聞いた電話番号を記憶させ、通話後、ワンタッチで発信できます。

登録

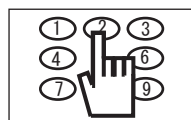


通話中に...

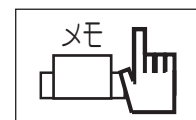


1. メモボタンを押す。

・メモランプが赤の遅い点滅になります。



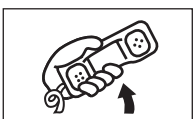
2. 記憶させる電話番号を押す。



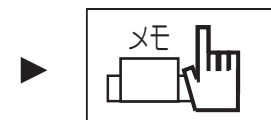
3. メモボタンを押す。

・メモランプが赤の点灯になり、受話器を戻すと消えます。

発信



1. 受話器を上げる。



2. メモボタンを押す。

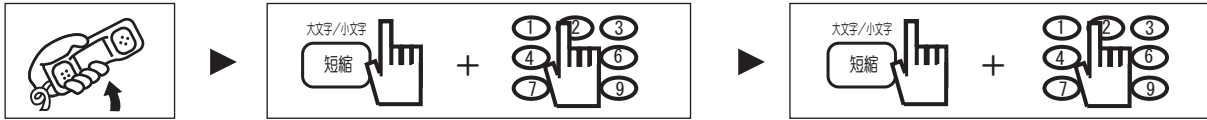
- 外線が収容されていない空きボタンをメモボタンとして使用します（登録P.61）。
- 記憶できる相手先数は1箇所です。電話番号は最大16桁です。
- 新たな電話番号を記憶させると、その前に記憶されている番号は消去されます。
- 受話器を置いたままメモボタンを押すと、記憶されている電話番号が表示されます。もう一度押すと待機表示に戻ります。

電話番号を組合わせてかける

ソフト
チェーンダイヤル

短縮ダイヤルと短縮ダイヤル、短縮ダイヤルと任意の電話番号などを組合わせてかけることができます。

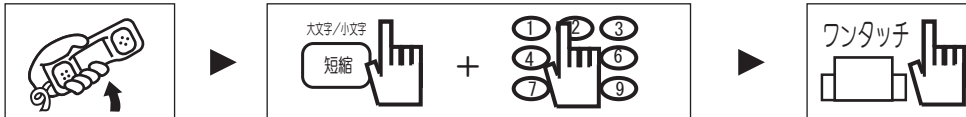
① 短縮ダイヤルどうしの組合わせ



1. 受話器を上げる。
2. 短縮ボタン+短縮番号をダイヤルする。
3. 短縮ボタン+短縮番号をダイヤルする。

- 後に付く短縮番号の登録は、チェーンダイヤルの登録(P.63)で行います。
- 発信ダイヤル最大桁数は合計で48桁です。

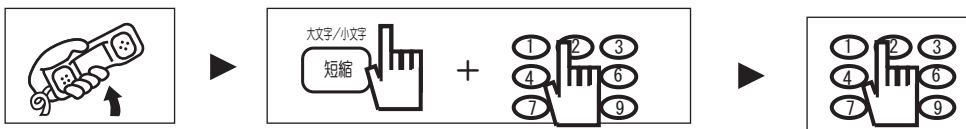
② 短縮ダイヤルとワンタッチダイヤルの組合わせ



1. 受話器を上げる。
2. 短縮ボタン+短縮番号をダイヤルする。
3. ワンタッチボタンを押す。

- ワンタッチダイヤルどうしの組合わせ発信もできます。なお、後に付くワンタッチダイヤルの登録は、チェーンダイヤルの登録(P.63)で行います。
- 発信ダイヤル最大桁数は合計で48桁です。

③ 短縮ダイヤルと任意電話番号の組合わせ



1. 受話器を上げる。
2. 短縮ボタン+短縮番号をダイヤルする。
3. 任意の電話番号をダイヤルする。

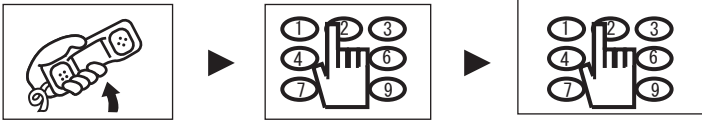
- ワンタッチダイヤルと任意の電話番号の組合わせ発信もできます。
- 発信ダイヤル最大桁数は合計で48桁です。

NCC (新電電各社) 回線を利用してかける

ソフト
NCC発信

① LCR機能を利用する (国内LCR発信)

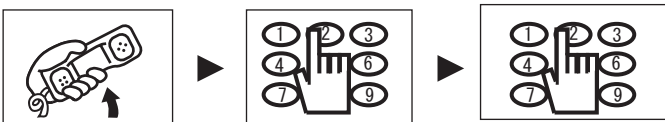
市外に電話をかけるとき、NTT、NCC各社の料金を比較し、最も安い回線を自動的に選択してダイヤルします。



1. 受話器を上げる。
2. 国内LCR発信特番をダイヤルする。
3. 相手番号をダイヤルする。

② 任意のLCR回線を選択する (NCC発信)

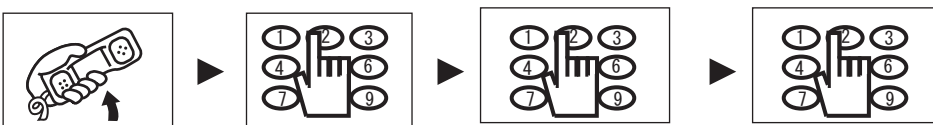
任意のNCC回線を選択するとき、NCCアクセスをダイヤルする代わりに、各社の発信特番をダイヤルするだけでNCCアクセス番号が送出されます。



1. 受話器を上げる。
2. NCC各社の発信特番をダイヤルする。
3. 相手番号をダイヤルする。

③ 国際LCR機能を利用する (国際LCR発信)

海外に電話をかけるとき、KDD、第2KDDの料金を比較し、安い方の回線を自動的に選択してダイヤルを送出します。



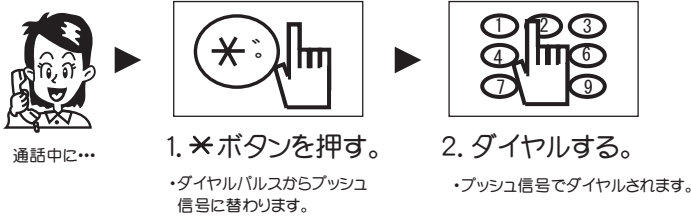
1. 受話器を上げる。
2. 国際LCR発信特番をダイヤルする。
3. 国番号をダイヤルする。
4. 相手番号をダイヤルする。

● 通話料金は第2KDD回線を選択しても、KDD回線を使ったものとして表示されます。

通話中にプッシュ(PB)信号を出す

PB信号送出

ダイヤル回線を利用している場合でも、銀行の残高照会など、プッシュ(PB)信号を必要とするサービスを利用できます。



通話中にフッキング信号を出す

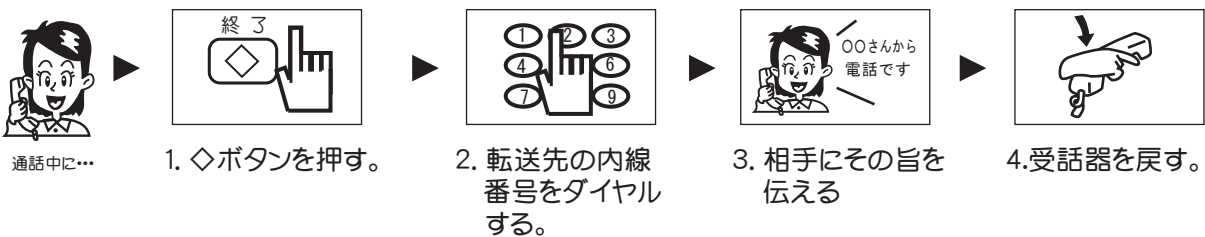
ソフト
フッキング

キャッチホンサービスを受けるときや、本装置が親交換機に接続されているとき、通話中の相手を親交換機の内線に転送するときにフッキング信号を使います。

① キャッチホンを受ける



② 通話中の相手を親交換機の内線に転送する



通話料金を確認する

ソフト
通話料金表示

① 通話中の料金確認(通話料金即知表示)

外線に電話をかけると通話料金が刻々と表示されます。

通話料金	50円
15日(月) 12:00	400
着信音量	■■■■□□□

- 相手につながると、応答がなくても一定時間経過後に料金表示を開始します。その後、応答があった時点で初期料金に戻って再課金します。
- 専用線にかけたときは、料金表示はしません。
- 親交換機およびCESを通じて外線にかけ、その通話を親交換機およびCESの内線に転送した場合は、その時点で課金を終了します。
- 設定した料金予算額を超えると外線発信はできなくなり(予算オーバー発信規制:設定要)、受話器を戻した状態では"OVER"と表示されます。

② 最後にかけた通話料金の確認(最終通話料金表示)



前回料金	99999円
累積 999%	999999円
15日(月) 12:00	400
着信音量	■■■■□□□

1. 受話器を置いたまま 保留ボタンを押す。
2. 料金が表示される。
・料金表示は5秒間です。

- 表示の上段が最終料金です。中段が合計料金です。
- 最大料金表示は上段が99,999円、下段が999,999円です。これを超えると0円に戻り再課金します。
- 外線発信した電話が転送されてきた場合も対象になります。
- 料金が表示されているときに受話器を上げると、料金表示は消えます。
- 最終料金をクリアすることはできません。

内線 応用操作

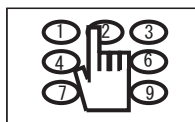
相手が話中のため別の内線にかける

リセットコール

かけた先の内線が話し中または応答がないとき、別の末尾番号1桁をダイヤルすると、末尾番号の違う内線を呼び出せます。一旦電話を切って再度かけ直す手間が省けます。



相手が話し中
または
応答がない...



1. 末尾1桁をダイヤルする。

〈例〉 内線310が話中 → 2をダイヤル → 内線312を呼び出します。

相手が話中のためそのまま通話終了を待つ

ソフト
オフフックキャンブオン

かけた先の内線が話し中のとき、そのまま待っていると相手が受話器を戻した時点で自動的に呼び出しを開始します。



話中音が
聞こえている...



1. 待合せ登録音に変わる。



2. そのまま待つ。



3. 相手が受話器を戻すと呼び出し音に変わる。



4. 相手が応答したら通話する。

- 操作2. での待ち合わせ時間は最大約2分です。これを超えると本機能は解除されます。
- 本機能と「オフフックキャンブオン」(下記)はどちらか選択です。

相手が話し終わったら自動的に呼出す

ソフト
オンフックキャンブオン

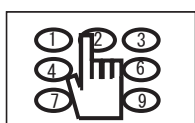
かけた先の内線が話し中のとき、この登録をしておくと相手が話し終り次第呼び出します。



話中音が
聞こえている...



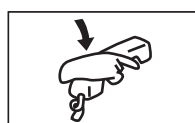
1. 転送ボタンを押す。



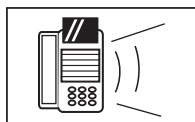
2. 待合せ特番を押す。



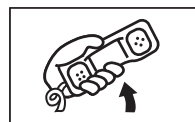
3. 登録音が聞こえる。



4. 受話器を戻す。



5. 相手が話し終わると呼返し音がします。



6. 受話器を上げる。
・ 呼び出し音が聞こえます。
相手の応答を待ってください。

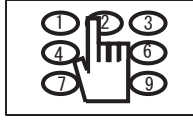
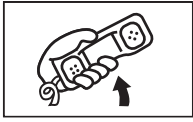
- 待合せ時間は最大約5分です。これを超えると本機能は解除されます。
- 本機能と「オフフックキャンブオン」(上記)はどちらか選択です。

グループの電話機に対して音声呼出しをする

ソフト

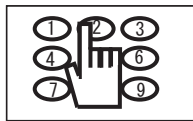
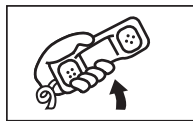
グループ音声呼出し

グループ内すべての電話機を一斉起動させ、スピーカから音声で呼び出しできます。



1. 受話器を上げる。
2. グループ音声呼出し特番を押す。
3. 冒頭音が聞こえる。
4. 相手呼び出す。
5. 相手の応答を待つ。

応答



- スピーカから音声
が聞こえる。
1. 受話器を上げる。
 2. 応答特番を押す。

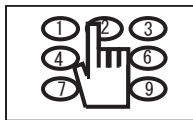
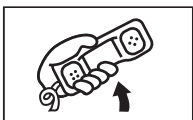
- 本機能を起動できるのは、他のグループが利用していないときです。
- 本機能のグループは最大8グループです。また、1グループ当たりの電話機数は最大8台です。

すべての電話機に対して音声呼出しをする

ソフト

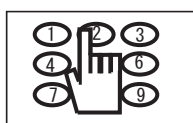
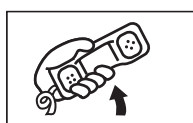
音声一斉呼出し

すべての電話機を一斉起動させて、スピーカから音声で呼び出しできます。



1. 受話器を上げる。
2. 音声一斉呼び出し特番を押す。
3. 冒頭音が聞こえる。
4. 相手呼び出す。
5. 相手の応答を待つ。

応答



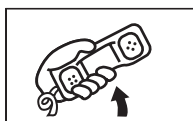
- スピーカから音声
が聞こえる。
1. 受話器を上げる。
 2. 応答特番を押す。

グループ内の電話着信を自席の電話で受ける

ソフト

代理応答

代理応答グループ内にかかってきた電話は、自席の電話機で応答できます。



- 代理応答ランプが
早い点滅になる。
1. 受話器を上げる。
 2. 代理応答ボタンを押す。

- 代理応答グループは取付け時に設定されます(販売店設定)。

相手が席に戻ったら相手から電話をもらう

留守中着信表示

内線に電話をかけた際に応答がないとき、次の操作をしておくで相手の電話機にこちらの内線番号を表示させておくことができます。相手が席に戻ったら、相手から電話をかけてもらうことができます。

登録



呼び出し中に..



1. 転送ボタンを押す。

・転送ランプが点灯します。



2. 受話器を戻す。

- 本機能が登録されると自分の電話機の転送ランプが点灯します。点灯しない場合は登録されていません。



相手の電話機



・転送ランプが遅い点滅になります。

解除



1. 受話器を置いたまま転送ボタンを押す。

・転送ランプが消えます。



相手の電話機



・転送ランプが消えて待機表示になります。

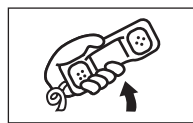
連絡を待っている相手に簡単な操作でかける

留守中着信自動呼出し

「電話してください」と表示されている場合は、内線相手が電話を待っているときです。このとき簡単な操作でその相手に電話をかけることができます。



・転送ランプが遅い点滅になり、相手の内線番号が表示されます。



1. 受話器を上げる。



2. 転送ボタンを押す。



- 本機能の最大受付件数は3件です。
- 2件以上の受付がある場合、上記の発信操作をすると、右端の電話番号がダイヤルされます。
- 2件以上の受付がある場合、受話器を置いたまま転送ボタンを押すと、2件目の内線番号が右側にスライドします。
- 受付している内線番号表示を消すときは、受話器を置いたまま不在ボタンを押してください。

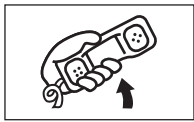
内線 応用操作(つづき)

相手の電話機に伝言を表示させる

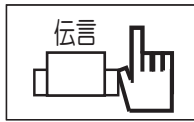
ソフト
伝言サービス

内線相手の電話機に伝言を表示させることができます。

登録

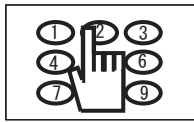


1. 受話器を上げる。

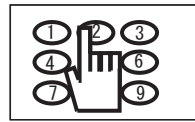


2. 伝言ボタンを押す。

・伝言ランプが点灯します。

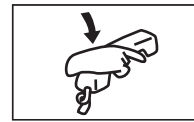


3. 伝言番号(1~5)を押す。



4. 内線相手番号を押す。

・希望の伝言番号を押し、伝言内容に数字を入力する場合は、続けて番号を押してください。

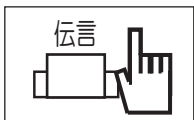


5. 登録音を確認して受話器を戻す。

・伝言ランプは点灯したままです。

- 外線が収容されていない空きボタンを伝言ボタンとして使用します(登録P.64)。
- 操作3.の伝言内容は取り付け時に設定されます。販売店にお問い合わせください。

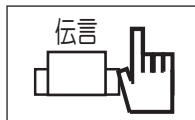
確認



1. 受話器を置いたまま伝言ボタンを押す。

- ・登録先の内線番号と伝言内容が表示されます。
- ・再度伝言ボタンを押すと待機表示になります。
- ・複数の伝言を登録してあれば、伝言ボタンを押すごとに表示されます。

解除



1. 受話器を置いたまま伝言ボタンを押す。



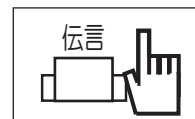
2. 不在ボタンを押す。

・伝言ランプが消えます。

伝言を受けた側

内容を確認したら表示を消してください。

消去



1. 受話器を置いたまま伝言ボタンを押す。

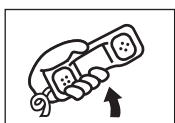
・伝言ランプが消えます。

不在中にかけてきた内線にメッセージで知らせる

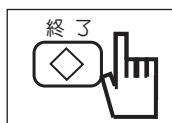
不在メッセージ

席を外すときや出張などの際に次の操作をしておくと、この間に電話をかけてきた相手電話機の表示器にメッセージで知らせることができます。

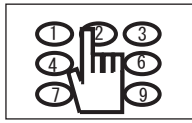
登録



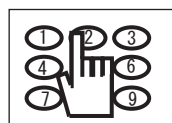
1. 受話器を上げる。



2. ◇ボタンを押す。
・◇ランプが赤点灯します。



3. 不在メッセージ番号(1~6)を押す。



4. 表示にそって時・分・日付などを入力する。



5. 登録音が聞こえたら受話器を戻す。

・不在ランプは点灯したままです。

●操作3.の入力

●操作4.の入力

不在メッセージ番号	表示内容
1	「 \times 時 \times 分」まで 不在
2	「 \times 時 \times 分」に 戻ります
3	「 \times 日付」日 まで 休み
4	「 \times 日付」日 まで 出張
5	「 \times 日付」日 に 出社
6	「 \times 内線番号 \times 」で 会議中

解除



1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。

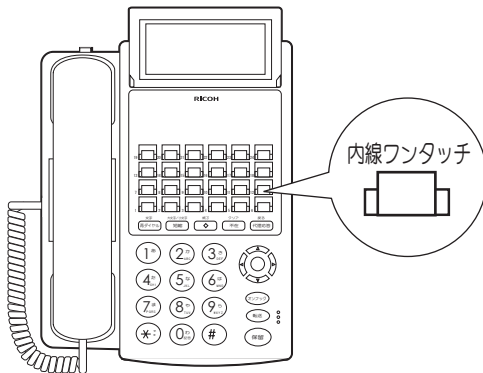
・不在ランプが消えます。

相手が話中か不在中かを確認する

ソフト
内線話中／不在表示

ワンタッチボタンに内線番号を登録しておく、そのボタンのランプ表示で相手が話し中か不在中かが分かります。

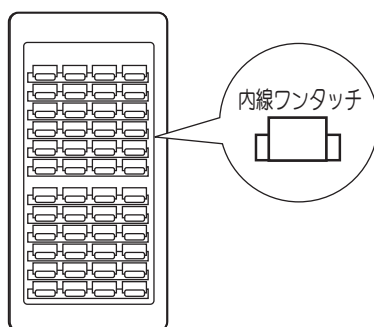
電話機に登録してある場合



ランプ表示	意味
点 灯	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤル中 ・通話中
速い点滅	<ul style="list-style-type: none"> ・着信中
遅い点滅	<ul style="list-style-type: none"> ・可変不在転送(P.32)を登録してあるとき ・着信拒否(P.34)を登録してあるとき
滅 灯	<ul style="list-style-type: none"> ・電話が待機状態

- あらかじめ内線ワンタッチを登録してください(登録P.61)。

DSSに登録してある場合



ランプ表示	意味
点 灯	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤル中 ・通話中 ・着信中
遅い点滅	<ul style="list-style-type: none"> ・可変不在転送(P.32)を登録してあるとき ・着信拒否(P.34)を登録してあるとき
滅 灯	<ul style="list-style-type: none"> ・電話が待機状態

- あらかじめ内線ワンタッチを登録してください(登録P.65)。

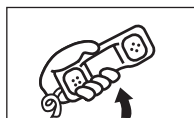
外線・内線 応用操作

不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する

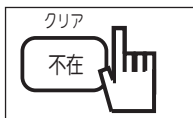
可変不在転送

他の場所で打合わせなどをするときに、本操作をしておくと、自席にかかってくる電話は自動的に登録先の内線に転送されます。

登録

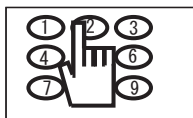


1. 受話器を上げる。



2. 不在ボタンを押す。

・不在ランプが点灯します。



3. 行先の内線番号をダイヤルする。



4. 登録音を確認する。

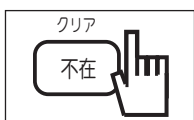


5. 受話器を戻す。

・不在ランプは赤点灯したままです。

● 操作4. の後、そのまま待っていると登録先の相手を呼び出します。

解除



1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが消えます。

通話保留時その電話機からしか戻れないようにする

自己保留

自分が保留した通話を、他の人が間違えて取らないようにしておくことができます。

登録



通話中に…



1. 自己保留ボタンを押す。

・自己保留ランプが緑点滅になります。



2. 受話器を外しておく。

… この間は保留中 …

解除



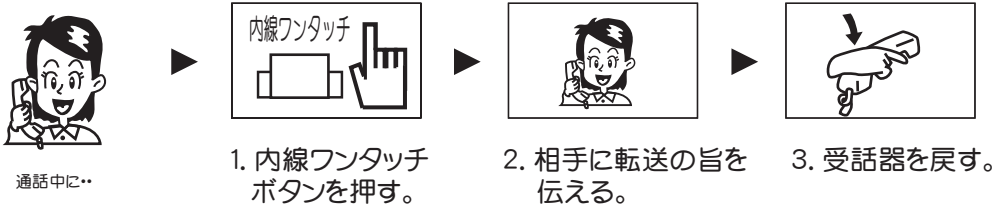
3. 自己保留ボタンを押す。

- 外線が収容されていない空きボタンを、自己保留ボタンとして使用します(登録P.61)。
- この方法で保留すると、保留した電話機からのみ保留を解除できます。
- 保留中は相手にメロディが流れます。
- 操作2. で受話器を戻してしまうと呼び返し音が鳴ります。このときは、受話器を上げて、再度保留操作をしてください。

通話中の相手を内線にワンタッチで転送する

ワンタッチ転送

<該当:相手内線番号がワンタッチボタンに登録されている場合>
通話中の相手を他の内線に転送するときは、ワンタッチで転送できます。

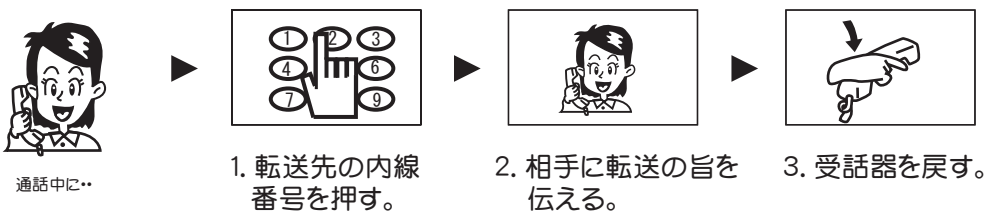


- 外線が収容されていない空きボタンを内線ワンタッチボタンとして使用します(登録P.61)。
- 転送先が応答する前に受話器を戻すこともできます(簡易転送P.20)。
- 転送先が話し中または応答がないときは転送ボタンを押してください。待たせている相手との通話になります。

通話中の相手を内線に簡単な操作で転送する

ソフト
クイック転送

通話中の相手を他の内線に転送するとき、転送ボタンを押さなくても、直接内線番号をダイヤルして転送できます。

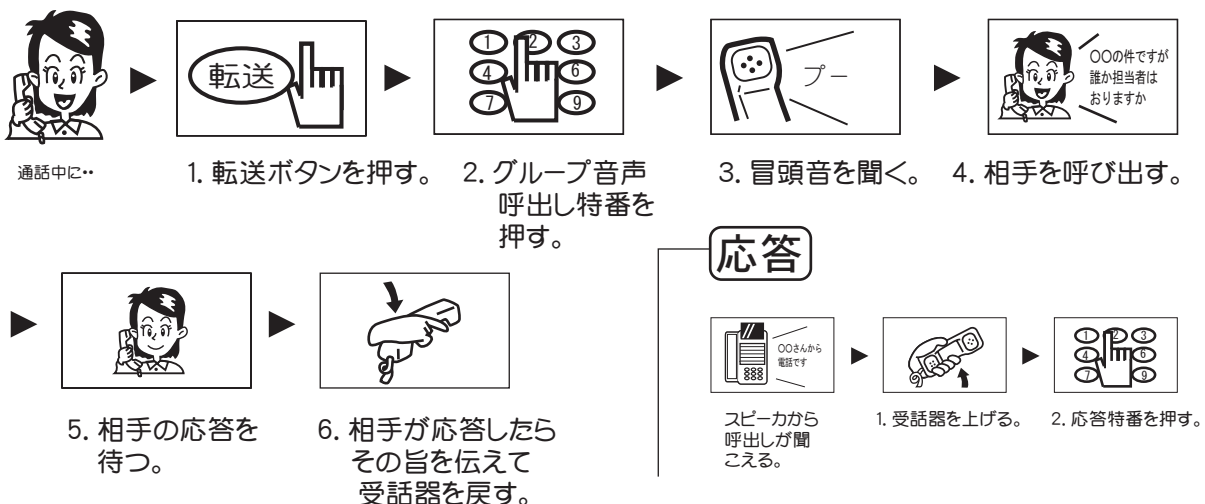


- 転送先が応答する前に受話器を戻すこともできます(簡易転送P.20)。
- 転送先が話し中または応答がないときは転送ボタンを押してください。待たせている相手との通話になります。

音声呼出し後に転送する

ソフト
グループ音声呼出転送

通話中の相手を転送するとき、内線を特定しないで、電話機のグループに対して音声呼び出しをして、応答した内線に転送することができます。

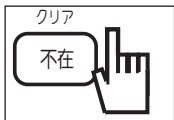


一時電話がかかってこないようにする

着信拒否

電話を一時受けたくないとき、これを登録しておく、その間は着信を拒否できます。

登録



1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが点灯します。

解除



1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。

・不在ランプが消えます。

- 着信拒否を登録中に、電話をかけてきた相手には下記の音が聞こえます。

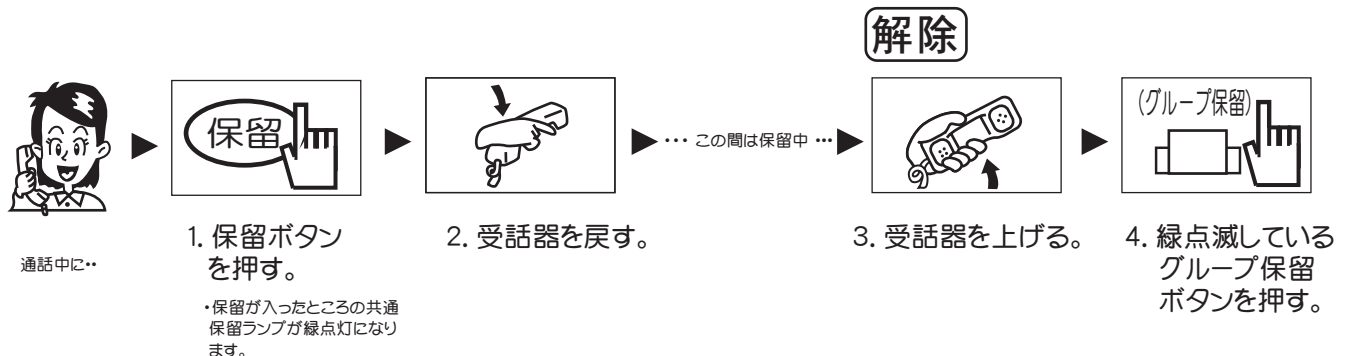
着信の種類	相手が聞こえる音
内線着信	話中音またはリオード音
外線転送着信	
個別着信	呼び出し音
プライベート着信	呼び出し音
DI(ダイヤルイン)着信	呼び出し音または話中音
DIL(ダイレクトインライン)着信	呼び出し音
DID(ダイレクトインダイヤル)着信	呼び出し音または話中音

通話を個別に保留する

ソフト
グループ保留

<該当:グループ保留ボタンが設定されている場合>

通話を個別に保留できるため、複数の通話が保留されていても間違えずに目的の相手に戻れます。



- 外線が収容されていない空きボタンを、グループ保留ボタンとして使用します(販売店設定)。

以前にかけた相手やかけてきた相手にかける

ソフト
発信履歴発信

かけた相手、かけてきた相手の電話番号をそれぞれ、直前のものから10件記憶していますので、その番号を選択して電話をかけることができます。

① 以前にかけた相手にかける（発信履歴発信）

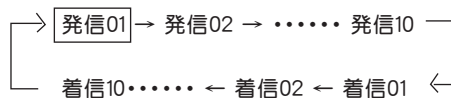


1. 再ダイヤルボタンを押す。
2. 受話器を上げる。

・発信履歴表示になりますので、ボタンを断続的に押して相手先を選択してください。

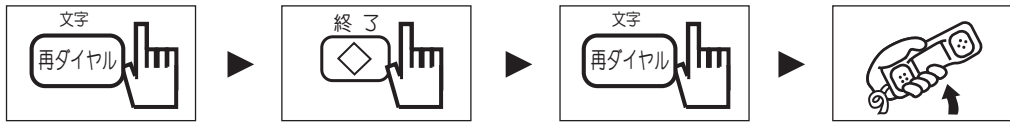
相手番号	履歴番号	着信日時
0123456789	01	08/01 10:05
	02	02日(火) 09:33
		4321
着信音量 ■■■□□□		

- 操作1. で、発信履歴表示になります。
- 履歴番号は01～10です。01が直前にかけてきた相手先です。
- 相手先を名称登録してある場合は、電話番号の代わりに名称がカタカナまたは漢字で表示されます。転送ボタンを押すと、名称表示と電話番号表示が切り替わります。
- 再ダイヤルボタンを断続的に押すと履歴が順次表示されます。



- 特定の履歴を消去するときは、目的の履歴を表示させて不在ボタンを押してください。
- 履歴表示は約5秒後に待受画面に戻ります。

② 以前にかけてきた相手にかける (着信履歴発信)



1. 再ダイヤルボタンを押す。
・発信履歴表示になります。
2. ◇ボタンを押す。
・発信履歴が着信履歴に替わります。
3. 再ダイヤルボタンを押す。
・ボタンを断続的に押して相手先を選択してください。
4. 受話器を上げる。

● 操作1. で、発信履歴表示になります。

相手番号	履歴番号	着信日時
発信: 01 0123456789		08/01 10:05
02日(火) 09:33		4321
着信音量	■ ■ ■ □ □ □	

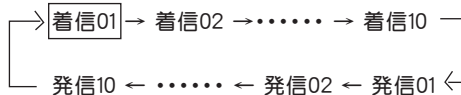
● 操作2. で着信履歴になります。

着応: 01 0123456789		08/01 10:05
02日(火) 09:33		4321
着信音量	■ ■ ■ □ □ □	

着信種別

- ・着応: 着信に回答した
- ・話着: 話中に着信があった
- ・着不: 着信に回答しなかった

- 履歴番号は01~10です。01が直前にかけてきた相手先です。
- 相手先を名称登録してある場合は、電話番号の代わりに名称がカタカナまたは漢字で表示されます。転送ボタンを押す度に、名称表示と電話番号表示が切替ります。
- 再ダイヤルボタンを断続的に押すと履歴が順次表示されます。
- 操作3. 再ダイヤルボタンを断続的に押すと履歴が順次表示されます。



- 着信履歴が記憶されると◇ランプが赤点滅になります。着信履歴をすべて確認し終わるとランプは消えます。
- 履歴を消去する場合は、目的の履歴を表示して、不在ボタンを押してください。
- 履歴表示は約5秒後に待ち受け画面に戻ります。

発着信履歴発信機能について

- 発信履歴、着信履歴はそれぞれ10件を超えると、古い履歴から消去されます。
- 発信/着信それぞれに同じ同じ番号は重複記憶されません。同じ番号の場合、最新履歴だけが記憶されます。
- 途中で履歴発信を止めるとき
方法1: *ボタンを押して、受話器を上げる。
方法2: そのまま約5秒間待つ。待受状態になります。
- 記憶される着信履歴について
 - ・代理応答(P. 28)で受けると、着信した電話機には「不応答」が記憶され、応答した電話機には「応答」が記憶されます。
 - ・可変不在応答(P. 32)を登録していると、着信履歴は転送先の電話に記憶されます。
 - ・リセットコール(P. 27)になっていると、はじめに呼び出された電話に「不応答」が記憶されます。
- 次の機能はシステム設定になります。
 - ・本機能とラストナンバーダイヤル(P. 17)またはセーブダイヤル(P. 22)。
 - ・着信履歴の対象外線(外線、内線、専用線)。
- ワンタッチオンフックダイヤル許可であっても、再ダイヤルボタンでのオンフック発信はできません。
- システムの運用形態によって表示条件が変わりますので、お客様の運用形態は販売店にご連絡ください。
- このページでの発着信履歴機能の内容は、システムに記憶されるものです。電話機自体に記憶される発着信履歴機能はP.49、50の内容になります。



第3章

付加機能



この章は、電話機の付加機能についての説明です。

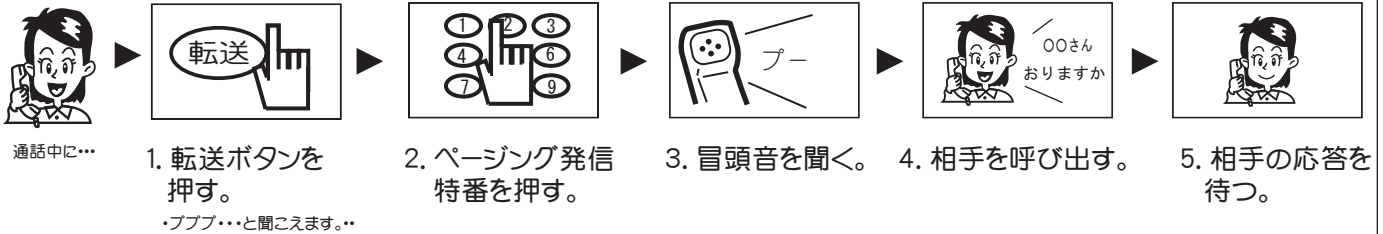
付加 機能

構内放送をする

ソフト
ページング転送/呼出し

① 放送で呼出して電話を転送する（構内ページング転送）

通話を転送する相手の居場所が分からないときは、構内放送で呼び出して転送できます。



● 操作5. で相手の応答がないときは、転送ボタンを押してください。待たせている相手との通話になります。

応答



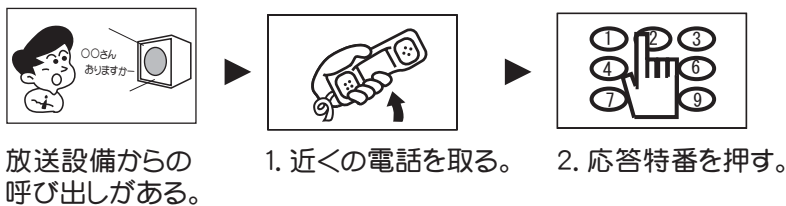
放送設備からの呼び出しがある。

② 放送で呼出す（ページング呼出し）

通話したいが、相手の居場所が分からないときは、構内放送で呼び出せます。



応答



放送設備からの呼び出しがある。

転送電話機能を使う

ソフト
転送電話

① 自分の外出先にDI、DID、DILの着信を自動転送させる（自動転送）

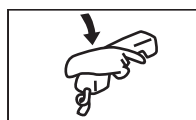
DI(ダイヤルイン)、DID(ダイレクトインダイヤル)、DIL(ダイレクトインライン)でかかってきた電話を、外出先の電話に自動転送できます。

登録



1. 受話器を上げる。
2. 不在ボタンを押す。
3. 短縮ボタンを押す。
4. 短縮番号を押す。
5. 登録音を聞く。

・不在ランプが赤点灯になります。

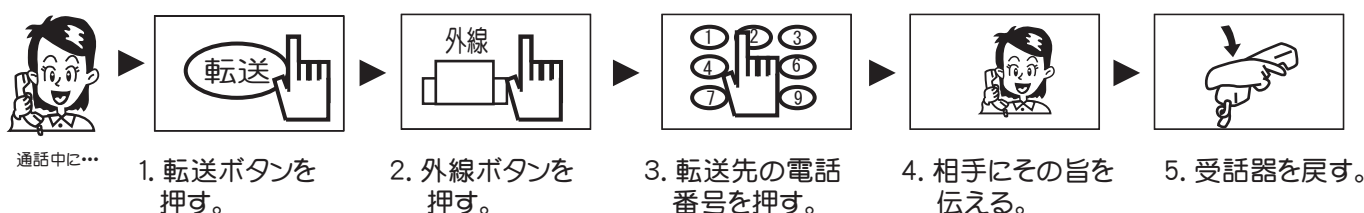


6. 受話器を戻す。

- 可能な転送先は、システム短縮ダイヤルおよび個人短縮ダイヤルに登録されている相手先のみです。
- 操作4. の後、そのまま待つと登録先の相手との通話になりますが、一定時間(1分~250分:取付時設定)になると回線は自動的に切れます。
- 他の内線が外線を受け、本機能を設定している電話機に転送した場合、この電話も転送電話に登録している先の電話に転送されます。
- 本機能は一旦主装置で着信を受けてから転送先にダイヤルするため、相手につながるまでの時間は、NTTの転送電話に比べ、多少時間がかかります。

② 外線通話を任意の外線相手に手動で転送する（手動転送）

通話中の外線相手を他の外線相手に転送できます。



通話中に…

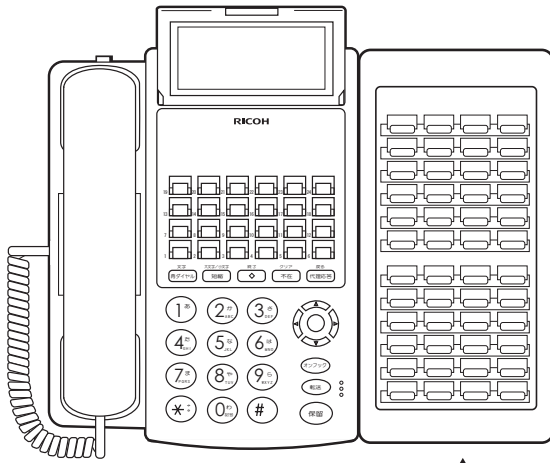
1. 転送ボタンを押す。
2. 外線ボタンを押す。
3. 転送先の電話番号を押す。
4. 相手にその旨を伝える。
5. 受話器を戻す。

- 操作3. の相手の応答がないときは、今まで通話していた外線ボタンを押してください。待たせている相手との通話になります。
- 操作4. で一定時間(1分~250分:取付時設定)になると回線は自動的に切れます。

RI-48集中受付装置について

DSS

本機器のボタン(48個)は、外線ボタン、ドアホンボタン、外線および内線のワンタッチボタンとして利用できます。



RI-48集中受付装置

外線ボタン

- ボタンの設定は取付時に販売店が行います。操作方法は本説明書中の外線ボタンの扱いと同じです。

ドアホンボタン

- ボタンの設定は取付時に販売店が行います。

外線ワンタッチボタン

- 空きボタンには任意に外線番号を登録できます(登録P.64)。

内線ワンタッチボタン

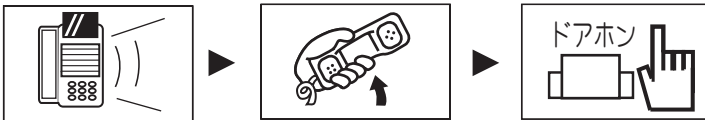
- 空きボタンには任意に外線番号を登録できます(登録P.61)。

ドアホンからの着信に应答する

ソフト

ドアホン着信应答

<該当:RI-48集中受付装置にドアホンボタンが設定されている場合>
ドアホンからの呼び出しに、電話機で应答できます。



ドアホンから着信があると、呼び出し音が鳴る。

1. 受話器を上げる。
2. ドアホンボタンを押す。

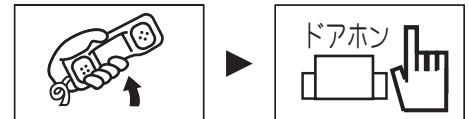
転送



1. 保留ボタンを押す。
2. 受話器を戻す。
3. 相手に伝える。

・ドアホンランプが緑の点滅になります。

应答



1. 受話器を上げる。
2. 赤点滅のドアホンボタンを押す。

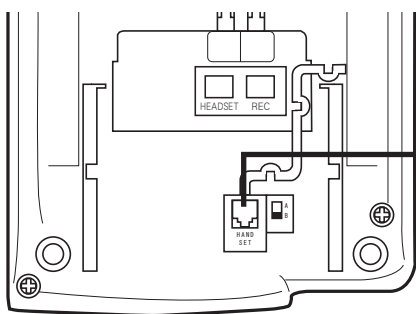
- ドアホンボタンは、取り付け時に販売店が設定します。
- 電話機からドアホンを呼び出すときは、受話器を上げてDSSのドアホンボタンを押してください。

ヘッドセットで通話する

ヘッドセット通話

受話器の代わりにヘッドセットを使って通話できます。

ヘッドセットを接続するには電話機の改造が必要です。
販売店にご用命ください。



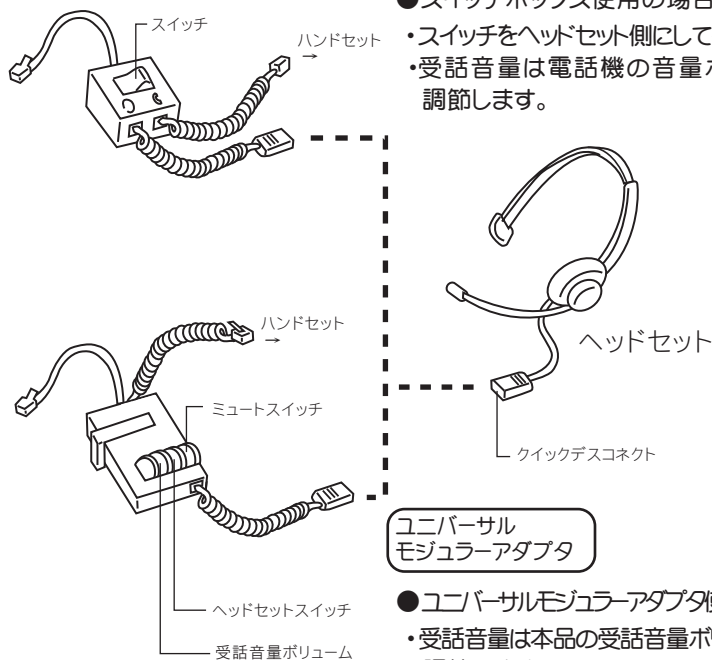
警告

スイッチボックスまたはユニバーサルモジュラーアダプタのコードを誤ってMFTまたはLINEに接続しないでください。回線電圧がコードにかかると火災・感電・故障の原因となります。

スイッチボックス

●スイッチボックス使用の場合

- ・スイッチをヘッドセット側にしてください。
- ・受話音量は電話機の音量ボタンで調節します。

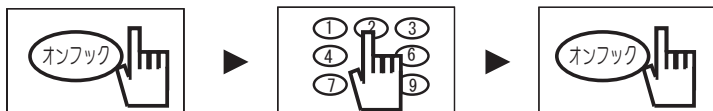


ユニバーサルモジュラーアダプタ

●ユニバーサルモジュラーアダプタ使用の場合

- ・受話音量は本品の受話音量ボリュームで調節します。

電話をかける



1. オンフックボタンを押す。
2. 相手番号を押す。
3. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

電話を受ける

■ 外線からの電話に应答する



- 着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 速い赤点滅の外線ボタンを押す。
3. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

■ 内線からの電話に应答する



- 着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 通話する。
3. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

MEMO



第 4 章

画面操作からの機能設定



この章は、各電話機から画面モードによる機能設定についての説明です。

- この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。

画面操作からの機能設定

登録項目について

各電話機から画面入力モードで下記の項目を操作できます。

システム関係

	項目	入力モード	内容
1	電話帳登録	画面入力	電話帳に相手番号を登録、変更、削除できます。
2	電話帳発信		電話帳に登録してある相手に発信する操作です。
3	発信履歴電話帳登録		発信、着信履歴に残っている相手先を電話帳に登録します。
4	短縮ダイヤル電話帳登録		システム短縮ダイヤルに登録してある相手を電話帳に登録できます。
5	グループ設定変更		グループ名称や着信音を設定できます。
6	発信履歴発信		発信履歴に残っている相手先にダイヤルできます。
7	着信履歴発信		着信履歴に残っている相手先にダイヤルできます。
8	履歴保存		発信履歴として保存する条件を設定します。

その他

	項目	入力モード	内容
9	着信音設定	画面入力	電話がかかってきたときの音色(メロディ)を選択できます。
10	着信音の停止		電話がかかってきたときの音を停止できます。
11	ボタン操作音の停止		ボタンを操作したときの音を停止できます。
12	画面コントラスト調節		画面のコントラストを調節できます。
13	省電力設定		電話機の各種ボタンランプの節電ができます。
14	アラーム設定		指定した時刻にアラーム音を鳴らせます。
15	電話機ロック		自分の電話機を他の人から操作できないようにロックできます。
16	電話機初期化		電話機の設定内容を工場出荷時に戻すことができます。
17	ヘッドセット接続設定	受話器の代わりにヘッドセットを使用するときに設定します。	
18	ハンドセット環境設定	受話器に関する内容を設定できます。	

電話帳に登録する

よくかける相手の名前、電話番号、着信音等を電話帳に登録できます。

機能メニューの表示(P.99)で「1電話帳」→「2登録」を表示させる。

! 必須項目(名前、電話番号1)は必ず入力してください。
入力がないと登録されません。

①

1	名前 (必須)	「1名前」選択→
2	読み仮名 (必須)	(決定) 押す。
3	電話番号	
4	グループ	
5	着信音	
6	確認	

②

名前 ?	名前を入力→
田中 一郎	(決定) 押す。
漢全	☞ 文字入力(P.106)

③

読み仮名 ?	読み仮名を入力→
タナカイロウ	(決定) 押す。
カナ半	

④

電話番号1の特番 ?	電話番号の特番を入力→
0	(決定) 押す。

- ・電話番号1の特番を入力します。
- ・特番は外線等にかける際に電話番号の前に付ける番号です。電話番号とは分けて入力してください。最大5桁です。
- ・特番は管理者にお問い合わせください。

⑤

電話番号1	電話番号を入力→ (決定) 押す。
0249441554	

- ・電話番号は最大32桁です。

⑥

1 グループ登録へ	電話番号1件だけの登録時は「1グループ登録へ」を選択→ (決定) 押す。
2 電話番号2	
3 電話番号3	

- 1つの電話帳に3件まで電話番号を登録できます。
- ・複数登録の場合は操作④⑤を繰り返してください。

⑦

1 グループ 0 1	保存先のグループを選択→ (決定) 押す。
2 グループ 0 2	
3 グループ 0 3	
4 グループ 0 4	
5 グループ 0 5	
← (1 / 4) →	

- ・グループ数は20(01~20)です。
- ・グループ名称を登録してあるとその名称が表示されます。

⑧

1 なし	着信音を選択→ (決定) 押す。
2 キャットスル	
3 ファンファーレ	
4 セレナーデ	
5 ユモレスク	
← (1 / 3) →	

- ・電話帳に登録しておく、個別に着信音を登録できます。
- ・「1なし」にすると、着信音はグループ着信音設定や着信形態で鳴ります。

⑨

001	内容を確認→ (決定) 押す。
田中 一郎	
タナカイロウ	
1 00249441554	
2	
3	

- ・ここで (決定) 押すと登録されます。

! (決定) を押さないで操作を終了すると入力した内容は登録されずに消去されます。

- 電話帳への登録は最大500件(メモリ番号:001~500)です。空いているメモリ番号へ自動的に登録されます。
- 1件の電話帳に電話番号を3件まで登録できます。なお、3件登録しても電話帳の件数は減りません。
- 電話帳をグループに分けて管理できます。グループには「会社」「部」などの名前をつけることができます。電話帳を登録する前にグループ名を登録しておくとう便利です。
- 名前と電話番号を入力するだけで登録できます。ただし、検索条件が減ることになります。

画面操作からの機能設定(つづき)

電話帳に登録した内容の変更・削除操作です。

機能メニューの表示(P.99)で「1電話帳」を表示させる。

変更

変更する詳細画面を表示する。☞電話帳検索(P.47)

- ①

001	田中 一郎
	タナカイチロウ
1	00249441554
2	00249441221
3	00364040514

 (決定) 押す。
- ②

1	発信番号選択
2	変更
3	削除
4	全削除
5	グループ削除

 「2変更」を選択→ (決定) 押す。
- ③

1	名前 (必須)
2	読み仮名 (必須)
3	電話番号
4	グループ
5	着信音
6	確認

 電話帳の登録(P.45)と同様に内容変更→登録画面を表示→ (決定) 押す。

消去

消去する詳細画面を表示する。☞電話帳検索(P.47)

- ①

001	田中 一郎
	タナカイチロウ
1	00249441554
2	00249441221
3	00364040514

 (決定) 押す。
- ②

1	発信番号選択
2	変更
3	削除
4	全削除
5	グループ削除

 「3消去」を選択→ (決定) 押す。
 - ・「消去」…選択した電話帳1件を消去します。
 - ・「全消去」…すべての電話帳を消去します。
 - ・「グループ消去」…選択した電話帳が含まれるグループの全電話帳を消去します。
- ③

田中 一郎	
を消去しますか？	
1	いいえ
2	はい

 「2はい」を選択→ (決定) 押す。
 - ・消去に時間がかかる場合があります。

電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録されている相手先をいくつかの検索方法で呼び出して発信できます。

機能メニューの表示(P.99)で「1電話帳」→「1検索」を表示させる。

検索画面

①

1	名前検索	検索
2	前モル検索	検索
3	メグ電話	検索
4	読み仮名	検索
5	グループ	検索

いずれかを選択→
 押す。

●「1名前検索」を選択時

名前？

漢全

<検索キーワードを入力>

先頭数文字を入力する。
 ●ソート：シフトJSコード順

●「2メモリ番号検索」を選択時

メモリ番号？

メモリ番号を入力する。
 ●ソート：メモリ番号順

●「3グループ検索」を選択時

1	グループ	01
2	グループ	02
3	グループ	03
4	グループ	04
5	グループ	05

← (1 / 4) →

グループを選択する。
 ●ソート：メモリ番号順

●「4電話番号検索」を選択時

電話番号？

先頭数桁を入力する。
 ●ソート：電話番号順
 (特番は除く)

●「5読み仮名検索」を選択時

読み仮名？

カナ半

先頭数文字を入力する。
 ●ソート：五十音順

検索結果が無い場合と電話帳未登録の場合は、「データがありません」と表示されます。

<検索結果が表示されます>

②

1	田中一郎
2	田中工業所
3	田中商事
4	田中事務
5	田中運輸

← (1 / 2) →

選択→ 押す。

- ・この時点で発信する場合(電話番号1のみ)は、選択→受話器を上げるか、 押す。
- ・相手と通話中に転送する場合 押す。



<電話帳の詳細が表示されます>

③

001	田中一郎
	タナカイチロウ
1	00249441554
2	002494412212345678
3	00364040514

押す。

- ・ここでは電話番号(特番含む)の表示桁数は18桁までです。
- ・この時点で発信する(電話番号1のみ)場合は受話器を上げるか 押す。
- ・対応するダイヤルボタンを押すとその番号で発信します。
- ・ で検索条件を満たした次候補と前候補を表示します。

001	田中一郎
	00249441554
	田中工業所
	キャッスル

④

1	発信番号選択
2	変更
3	消去
4	全消去
5	グループ消去

「1発信番号選択」を選択→
 押す。



<詳細な電話番号が表示されます>

1	00249441554
2	002494412212345678
	9012345
3	00364040514

発信先を選択→
 押す。
 ダイヤルされます。

- ・ここでは電話番号(特番含む)を最大の37桁まで表示します。
- ・ の代わりに受話器を上げるか、 押しても発信できます。
- ・相手と通話中に転送する場合 押す。

- 相手と通話中のときに、各電話番号に対応するダイヤルボタンを押すと各電話番号がダイヤル情報として送出されます。

画面操作からの機能設定(つづき)

発着信履歴から電話帳に登録する

発着信履歴に保存されている相手先番号を電話帳に登録できます。

機能メニューの表示(P.99)で「2履歴」→「1発信履歴」または「2着信履歴」を表示させる。

<発信履歴画面>

①

発信履歴	NO. 01	登録したい履歴を
04月28日(火)	15:44	表示させて→
00249441554		(決定) 押す。

②

1 発信	「2電話帳登録」選択→
2 電話帳登録	
3 1件削除	
4 全削除	

(決定) 押す。

③

1 名前(必須)	必須の名前を入力する。
2 読み仮名	
3 電話番号(必須)	
4 グループ	
5 着信音	
6 確認	

- 履歴に表示されている電話番号は自動的に「電話番号1」に登録されますので、ここでは最低でも必須の名前を入力してください(発信履歴画面で名称表示がある場合は、名前入力を省略できます。)
- 必要に応じて「電話帳登録」(P.45)と同様に入力してください。
- 名前入力だけで登録する場合は、名前を決定後、^{戻る}「戻る」を押して上記画面に戻り「6 確認」を選択して (決定) 押す。

<確認画面>

④

010	登録して→
田中一郎	(決定) 押す。
1 00249441554	
2	
3	

- この画面で (決定) 押すと登録されます。

短縮ダイヤルを電話帳に登録する

システム短縮ダイヤル(P.71)に登録されている相手先を電話帳に登録できます。

機能メニューの表示(P.99)で「1電話帳」→「4ダウンロード」→「1短縮ダイヤル」を表示させる。

①

1 グループ 0 1	保存先のグループを選択→
2 グループ 0 2	
3 グループ 0 3	
4 グループ 0 4	
5 グループ 0 5	

← (1 / 4) →

(決定) 押す。

- グループ数は20(01~20)です。
- グループ名称を登録してあるとその名称が表示されます。

②

短縮番号 ?	短縮ダイヤルを入力→
--------	------------

(決定) 押す。

- 短縮番号は2桁または3桁です。
- 登録されている短縮番号は管理者に問い合わせてください。

<短縮ダイヤルの情報表示>

③

短縮番号 :	50	確認して→
グループ :	01	
発信特番 :	0	(決定) 押す。
0249441554		
田中工業		
タナコウキョウ		

- 読み仮名や電話番号を追加するときは、「電話帳」から編集してください。
- 名称が登録されていない短縮ダイヤルはメモリ番号が名前に仮登録されます。

グループ設定を変更する

電話帳に登録してある、グループ名およびグループ毎の着信音色の変更ができます。

機能メニューの表示(P.99)で「1電話帳」→「3グループ」を表示させる。

名称

<グループ選択画面>

①

1	グ	ル	ー	プ	0	1
2	グ	ル	ー	プ	0	2
3	グ	ル	ー	プ	0	3
4	グ	ル	ー	プ	0	4
5	グ	ル	ー	プ	0	5

グループ選択→
 決定 押す。
 (例) 1グループ01
 ← (1 / 4) →

②

1	名	称	変	更
2	着	信	音	色

「1名称変更」選択→
 決定 押す。

③

名	称	?
漢 全		

読み仮名を入力→
 決定 押す。
 文字入力(P.106)

・全角10文字、半角20文字まで入力できますが、グループ選択画面時に表示されないため全角9文字、半角18文字までの入力をおすすめします。

着信音

<グループ選択画面>

①

1	グ	ル	ー	プ	0	1
2	グ	ル	ー	プ	0	2
3	グ	ル	ー	プ	0	3
4	グ	ル	ー	プ	0	4
5	グ	ル	ー	プ	0	5

グループ選択→
 決定 押す。
 (例) 1グループ01
 ← (1 / 4) →

②

1	名	称	変	更
2	着	信	音	色

「2着信音色」選択→
 決定 押す。

③

1	なし
2	キャッスル
3	ファンファーレ
4	セレナーデ
5	ユモレスク

着信音を選択→
 決定 押す。
 (例) 2キャッスル
 ← (1 / 3) →

・「1なし」に登録すると着信音は着信形態で鳴ります。

! ここで設定した着信音よりは、各電話帳に設定した方が優先されます。

発信履歴を使って電話をかける

一度かけた先の電話番号が、発信履歴として最新の分から最大30件まで記憶されています。これらを表示させて電話をかけることができます。

機能メニューの表示(P.99)で「2履歴」→「1発信履歴」を表示させる。

発信

<発信履歴画面>

①

1	発	信	履	歴
2	着	信	履	歴

「1発信履歴」選択→
 決定 押す。

・発信履歴が無い場合は「発信履歴未登録です」と表示されます。

②

1	発	信	履	歴	N0.01
04月28日(火) 15:44					
田中一郎					
00249441554					

履歴が表示されます。
 でかける先の電話番号を選択→
 決定 押す。

↓

1	発	信
2	電	話
3	1	件
4	全	消

「1発信」選択→
 決定 押す。

消去

発信操作②の画面を表示させ

①

1	発	信	履	歴	N0.01
04月28日(火) 15:44					
田中一郎					
00249441554					

消去する履歴を選択→
 決定 押す。



1	発	信
2	電	話
3	1	件
4	全	消

「消去」を選択→
 決定 押す。
 (例) 3 1件消去

②

履歴を消去しますか?			
1	い	い	え
2	は	い	

「2はい」選択→
 決定 押す。

・「1件消去」…選択した履歴1件を消去します。
 ・「全消去」…すべての発信履歴を消去します。
 ・消去に時間がかかる場合があります。

画面操作からの機能設定(つづき)

着信履歴を使って電話をかける

かけてきた先の電話番号が、着信履歴として最新の分として最大30件まで記憶されています。これらを表示させて電話をかけることができます。

機能メニューの表示(P.99)で「2履歴」→「2着信履歴」を表示させる。

発信

<着信履歴画面>

- ①
- | |
|--------|
| 1 発信履歴 |
| 2 着信履歴 |
- 「2着信履歴」選択→
 押す。
- ・発信履歴が無い場合は「発信履歴未登録です」と表示されます。
- ②
- | | |
|-------------|-------|
| 着信履歴 | N0.01 |
| 04月28日(火) | 12:11 |
| 田中一郎 | |
| 00249441554 | |
| 不在着信 | |
- 履歴が表示されます。
/▼でかける先の電話番号を選択→
 押す。

- ↓
- | |
|---------|
| 1 発信 |
| 2 電話帳登録 |
| 3 1件消去 |
| 4 全消去 |
- 「1発信」選択→
 押す。

消去

発信操作②の画面を表示させ

- ①
- | | |
|-------------|-------|
| 発信履歴 | N0.01 |
| 04月28日(火) | 15:44 |
| 田中一郎 | |
| 00249441554 | |
- 消去する履歴を選択→
 押す。
- ↓
- | |
|---------|
| 1 発信 |
| 2 電話帳登録 |
| 3 1件消去 |
| 4 全消去 |
- 「消去」を選択→
 押す。
 (例) 2 1件消去

- ②
- | |
|------------|
| 履歴を消去しますか? |
| 1 いいえ |
| 2 はい |
- 「2はい」選択→
 押す。

- ・「1件消去」…選択した履歴1件を消去します。
- ・「全消去」…すべての着信履歴を消去します。
- ・消去に時間がかかる場合があります。

履歴を保存する

発信/着信履歴として保存する条件を設定できます。

機能メニューの表示(P.99)で「3電話機設定1」→「3履歴保存条件」を表示させる。

発信履歴

<発信履歴保存条件画面>

- ①
- | |
|-----------|
| 1 外線発信履歴 |
| 2 専用線発信履歴 |
| 3 内線発信履歴 |
- いずれか選択→
 押す。
 (例) 1外線発信履歴
- ・「外線発信履歴」…外線に発信したとき
 - ・「専用線発信履歴」…専用線に発信したとき
 - ・「内線発信履歴」…内線に発信したとき

- ②
- | |
|---------|
| 外線発信履歴 |
| 保存する |
| 1 保存する |
| 2 保存しない |
- いずれか選択→
 押す。
 (例) 1保存する

着信履歴

<着信履歴保存条件画面>

- ①
- | |
|----------|
| 1 着信通話履歴 |
| 2 不在着信履歴 |
- いずれか選択→
 押す。
 (例) 1着信通話履歴
- ・「着信通話履歴」…着信に回答して通話したとき
 - ・「不在着信履歴」…着信に回答できなかったとき

- ②
- | |
|---------|
| 着信通話履歴 |
| 保存する |
| 1 保存する |
| 2 保存しない |
- いずれか選択→
 押す。
 (例) 1保存する

着信音を設定する

好みの着信音を選択できます。

各着信音の優先順位は下記のとおりです。

「電話帳着信音」>「グループ着信音」>「ボタン着信毎音色」>「着信種別毎音色」

着信種別毎

機能メニューの表示(P.99)で「3 電話機設定 1」→「1サウンド設定」→「1着信種別毎音色」を表示させる。

<着信種別選択画面>

①

1	内線着信音
2	外線着信音
3	専用線着信音
4	保留着信音
5	保着信音

← (1 / 3) →

いずれか選択→
Ⓢ 押す。
(例) 1内線着信音

- ・「内線着信音」…内線からの着信
- ・「外線着信音」…外線からの着信
- ・「専用線着信音」…専用線からの着信

※その他にもシステムで設定した着信種別毎に着信音を設定できます。詳細は管理者にお問い合わせください。

②

1	なし
2	キャッスル
3	ファンファーレ
4	セレナーデ
5	ユモレスク

← (1 / 3) →

いずれか選択→
Ⓢ 押す。
(例) 2キャッスル

- ・ Ⓢ 押すと確認画面が出ますので、設定するときは Ⓢ 押します。

ボタン毎 ソフト

機能メニューの表示(P.99)で「3 電話機設定 1」→「1サウンド設定」→「2ボタン着信毎音色」を表示させる。

<着信毎音色画面>

①

フリーファンクションボタンを押下して下さい

設定するフリーファンクションボタンを押す。

- ・フリーファンクションボタンに設定されている機能によらず設定できますので、設定が無効な場合もあります。

②

1	なし
2	キャッスル
3	ファンファーレ
4	セレナーデ
5	ユモレスク

← (1 / 3) →

いずれか選択→
Ⓢ 押す。
(例) 2キャッスル

- ・ Ⓢ 押すと確認画面が出ますので、設定するときは Ⓢ 押します。

❗ もともとボタンを押しても音が鳴らないような設定(システムで停止設定している)の場合、本設定は無効です。

着信音を鳴らさない

着信音が鳴らないように設定できます。

機能メニューの表示(P.99)で「3 電話機設定 1」→「1サウンド設定」→「3 最小着信音」を表示させる。

<最小着信音画面>

最小着信音
最小
1 最小
2 消音

「2消音」選択→ Ⓢ 押す。

- ・「最小」…着信音量を最小にしたとき着信音が鳴る。
- ・「消音」…着信音量を最小にしたとき着信音が鳴らない。

ボタン操作音を出さない

ボタンを操作したときに鳴るボタンタッチ音を停止することができます。

機能メニューの表示(P.99)で「3 電話機設定 1」→「1サウンド設定」→「4 ボタンタッチ音」を表示させる。

<ボタンタッチ音画面>

ボタンタッチ音
有り
1 無し
2 有り

「1無し」選択→ Ⓢ 押す。

- ・「有り」…音を鳴らす。
- ・「無し」…音を鳴らさない。

画面操作からの機能設定(つづき)

画面コントラストを調節する

ボタンを操作したときに鳴るボタンタッチ音を停止することができます。

機能メニューの表示(P.99)で「3 電話機設定 1」→「2 LCD設定」→「1 コントラスト」を表示させる。

<コントラスト画面>



画面を見ながら▲▼ 押す。

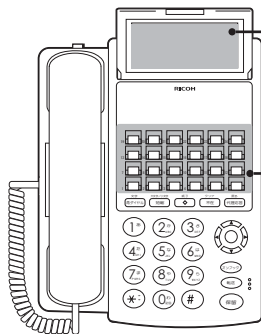
・コントラストは20段階です。

▲ …濃くなる。

▼ …淡くなる。

省電力モードを使う

待機状態のとき、画面のバックライトを消したり、フリーファンクションボタンランプの点灯を止めるなどができます。



バックライト系： ● 電話機を使用しているときの明るさを2段階に設定できます。

● 発信操作をしないで10秒以上経過すると明度が落ちます。

● 一定時間経過するとバックランプが消えるように設定できます。さらに、バックライトの再点灯条件を制限できます。

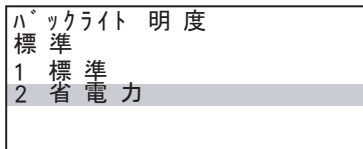
ボタンランプ系： ● 一定時間経過するとフリーファンクションボタンのランプを消すことができます。

バックライト系

機能メニューの表示(P.99)で「3 電話機設定 1」→「2 LCD設定」を表示させる。

■明るさ調節

<バックライト明度画面>



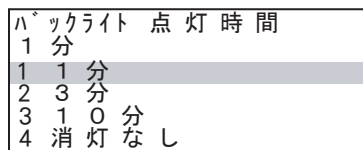
「3バックライト明度」を選択で左記画面を表示させ

「2省電力」選択→

(決定) 押す。

■着信時のバックライト点灯条件

<バックライト点灯時間画面>



「4バックライト点灯時間」を選択で左記画面を表示させ

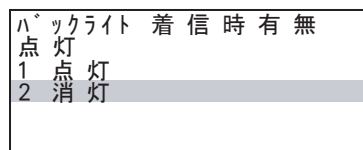
いずれかを選択→

(決定) 押す。

・消灯までの時間の選択です。「消灯なし」で点灯したままです。

■一定時間経過後にバックライト消灯

<着信時バックライト有無画面>



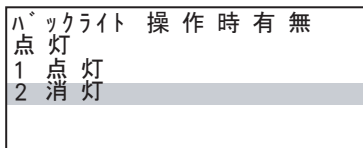
「5バックライト着信時有無」を選択で左記画面を表示させ

「2消灯」選択→

(決定) 押す。

■電話機操作時のランプ点灯条件

<操作時バックライト有無画面>



「6バックライト操作時有無」を選択で左記画面を表示させ

「2消灯」選択→

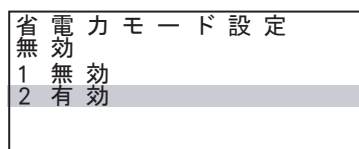
(決定) 押す。

省電力系

機能メニューの表示(P.99)で「3 電話機設定 1」→「4 拡張機能」を表示させる。

■省電力モード

<省電力モード設定画面>



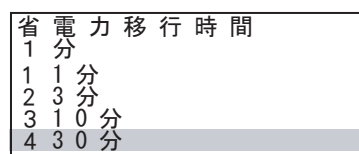
「2省電力モード設定」を選択で左記画面を表示させ

「2有効」選択→

(決定) 押す。

■省電力モードへの時間

<省電力モード移行時間画面>



「3省電力移行時間」を選択で左記画面を表示させ

「4 30分」選択→

(決定) 押す。

- 省電力モードが起動すると、LCDのバックライトとフリーファンクションボタンのランプが消灯します。
- 「省電力移行時間」<「バックライト点灯時間」のときは、「省電力移行時間」でバックライトが消灯します。
- フリーファンクションボタンランプが消灯状態にあるときに、着信があったり、ボタン操作をすると点灯状態に戻ります。

アラームを使う

指定した時刻にアラーム音でお知らせすることができます。
機能メニューの表示(P.99)で「6 アラーム」を表示させる。

設定

<アラーム設定画面>

- ①

現在	時分
設定	15:30
	00:00
1	設定時間の変更
2	アラームの設定
3	アラームの解除

 「1設定時間の変更」選択→
(決定) 押す。
- ②

時分
2000

 時刻を入力→
(決定) 押す。
- ↓
- ③

現在	時分
設定	15:30
	20:00
1	設定時間の変更
2	アラームの設定
3	アラームの解除

 「2アラームの設定」選択→
(決定) 押す。
- ③

100	時分
04月27日(水)	15*30
着信音量	■■■■□□□

・設定すると時分間の「:」が「*」に変わります。

解除

<アラーム設定画面>

- ①

現在	時分
設定	15*00
	00*00
1	設定時間の変更
2	アラームの設定
3	アラームの解除

 「3アラームの解除」選択→
(決定) 押す。
- ↓
- | | |
|-----------|---------|
| 100 | 時分 |
| 04月27日(水) | 15:00 |
| 着信音量 | ■■■■□□□ |

・解除すると時分間の「*」が「:」に戻ります。

電話機をロックする

電話機の設定内容を他の人が操作できないようロックできます。

暗証番号

機能メニューの表示(P.99)で「3 電話機設定1」→
「4 拡張機能」→「4 パスワード登録」を表示させる。

<パスワード登録画面>

- ①

パスワード？

 現在のパスワードを入力→
(決定) 押す。
- ・初期値は「0000」に設定されています。
ロックする場合、このパスワードは必ず変更してください。
パスワードの桁数は4～8桁です。
・パスワードは忘れないよう記録しておいてください。
万一忘れた場合には管理者にお問い合わせください。
- ②

新パスワード入力？

 新しいパスワードを入力→
(決定) 押す。
- ③

新パスワード再入力？

 確認のため再度
新しいパスワードを入力→
(決定) 押す。

ロック

機能メニューの表示(P.99)で「5 ロック」を表示させる。

<パスワードロック画面>

- | |
|----------|
| ロック解除中です |
| 1 解除する |
| 2 ロックする |
- 「2ロックする」選択→
-
- (決定) 押す。

・ロックすると待機画面から次の画面呼出す際に
パスワード入力が必要です。
「電話機メニュー」「電話帳検索」「発信履歴」

解除

機能メニューの表示(P.99)で「5 ロック」を表示させ、
「1 解除する」を選択する。

画面操作からの機能設定(つづき)

電話機を初期化する


電話機を初期化すると、各種設定内容が工場出荷時の状態になります。

機能メニューの表示(P.99)で「3 電話機設定 1」→「4 拡張機能」→「5 初期化」を表示させる。

<電話機初期化画面>

初期化しますか？

- 1 いいえ
- 2 はい

「2 はい」選択→ 押す。

- ・初期化に時間がかかる場合があります。
- ・初期化前に戻すことはできません。
- ・電話帳、履歴も消去されます。

ヘッドセットを使う

■ 本設定を変えるときは管理者等にご連絡ください。


ハンドセットの代わりにヘッドセットを使って通話できます。

機能メニューの表示(P.99)で「3 電話機設定 1」→「4 拡張機能」→「1 ヘッドセット付加」を表示させる。

<ヘッドセット付加画面>

ヘッドセット付加

- 無し
- 1 無し
- 2 有り

「2 有り」選択→ 押す。

ハンドセットの条件を変える

受話器の各種レベル設定ができます。

■ 本設定を変えるときは管理者等にご連絡ください。

機能メニューの表示(P.99)で「3 電話機設定 1」→「1 サウンド設定」→「5 レベル設定」を表示させる。



■ 受話器からの送話レベル変更するとき

<送話レベル設定画面>

送話レベル

- 1 小さく
- 2 大きく
- 3 初期化

■□□


/ で調節します。3段階です。

■ フロアノイズが気になるとき

<フロアノイズ設定画面>

フロアレベル抑圧

- 無効
- 1 無効
- 2 有効

どちらか選択→ 押す。



■ 受話器から聞こえる自身の声が気になるとき

<側音設定画面>

側音

- 1 小さく
- 2 大きく
- 3 初期値

■■■■■■□□□□

/ で調節します。10段階です。



第 5 章

登録操作



この章は、各電話機からの登録操作についての説明です。

- この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。
- この章の内容を操作している場合に、オンフックランプが速い点滅になったときは、第9章「こんなメッセージが出たら」(P. 98)をご覧ください。

各電話機からの登録操作

登録項目について

下記の項目を操作できます。

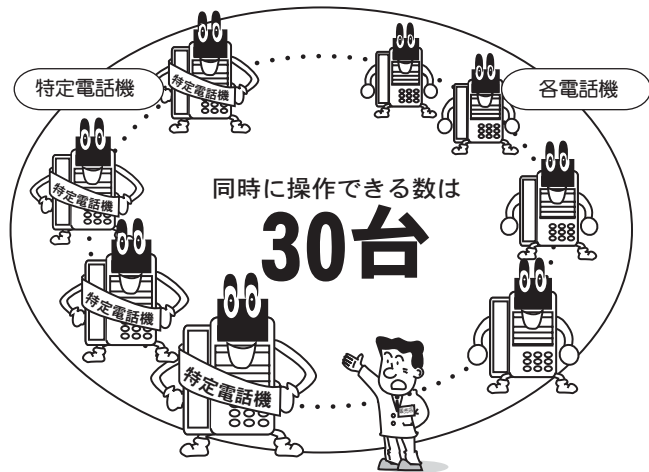
操作は、画面から入る画面入力モードと、保留ボタンから入るキー入力モードの2つの方法(P.57)があります。

	項目	入力モード	内容
1	個人短縮ダイヤルの登録	画面入力	各内線が独自に使用できる短縮ダイヤルの登録です。 それぞれの独自ボタンとして使う登録です。
2	オートダイヤルボタンの登録/確認/消去	画面入力	
3	内線ワンタッチボタンの登録/確認/消去	画面入力	
4	自己保留ボタンの登録/確認/消去	画面入力	
5	メモダイヤルボタンの登録/確認/消去	画面入力	
6	短縮ダイヤルボタンの登録/確認/消去	キー入力	
7	伝言メッセージボタンの登録/確認/消去	キー入力	
8	専用線バーチャル発信ボタンの登録/確認/消去	キー入力	
9	他グループ代理応答ボタンの登録/確認/消去	キー入力	
10	転送完了ボタンの登録/確認/消去	キー入力	
11	PB遠隔ボタンの登録/確認/消去	キー入力	
12	トーン鳴動条件ボタンの登録/確認/削除	キー入力	
13	オートメッセージウェイトボタンの登録/確認/消去	キー入力	
14	ステイミュラス操作ボタンの登録/確認/消去	キー入力	
15	登録ボタン内容の確認	画面入力	登録してあるボタン内容の確認です。
16	ワンタッチボタンに短縮ダイヤルを登録する	キー入力	ワンタッチダイヤルボタンに短縮ダイヤルを登録します。
17	チェーダイヤルボタンに相手先を登録する	キー入力	チェーンダイヤルに相手先を登録します。

操作可能な電話機台数について

本章（各電話機からの操作）および第6章（特定電話機からの操作）の内容を操作する場合、同時に操作できる電話機の台数は最大30台です。

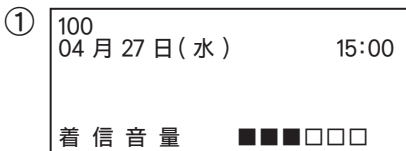
制限台数を超えた電話機から操作しようとした場合、登録モードになりません。この場合はしばらく待ってから操作してください。



まず登録モードにする

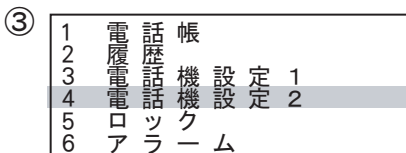
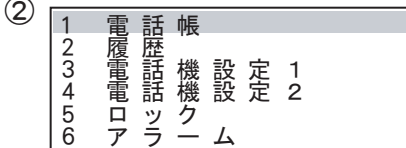
画面入力 からの場合

待機画面



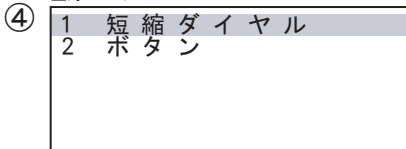
待機画面で を押す。

トップメニュー



で「4 電話機設定2」を選び を押す。

登録モード



この画面が登録モードです。

ここからP.58へ進んでください。

キー入力 からの場合

待機画面



待機画面からただちに登録モードに入れます。

ここからP.63へ進んでください。

各電話機からの 登録操作(つづき)

個人短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する"システム短縮ダイヤル"と各内線が独自に使用できる"個人短縮ダイヤル"があります。個人短縮ダイヤルの使用条件は、システム短縮ダイヤルの使用条件が決定するとそれに準じて決まります。個人短縮ダイヤルの使用条件が下記のどの設定になっているか販売店にご確認ください。

短縮種別	相手先登録数	システム短縮ダイヤル	個人短縮ダイヤル
00	100箇所	① 80箇所までの登録(00~79)	④ 20箇所(80~99)
		② 100箇所までの登録00~99)	⑤ 20箇所(*80~*99)
01	1000箇所	③ 1000(000~999)	⑥ 20箇所(*80~*99)

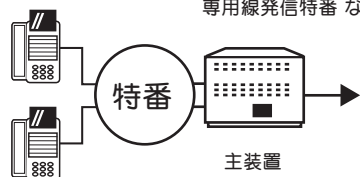
カッコ内の番号が短縮番号です。
(*も含む)

発信種別を確認する

システムが下記のどの発信種別になっているかを販売店にお確かめください。

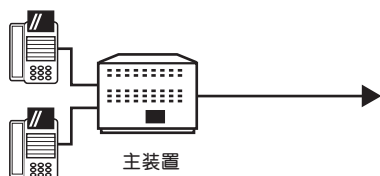
かけるときに特番が必要

- 特番発信 (例) 外線発信特番
LCR発信特番
専用線発信特番 など



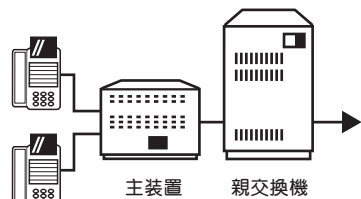
外線に直接かけられる

- 外線発信



親交換機を介してかける

- 親PBX発信



①

1 短縮ダイヤル
2 ボタン

「1短縮ダイヤル」を選択→
(決定) 押す。

②

短縮番号? (*80~*99)
■

・短縮種別00時：80~99または*80~*99
・短縮種別01時：*80~*99

③

短縮番号? (*80~*99)
*80

短縮番号を入力→
(決定) 押す。

④

1 登録
2 編集
3 消去

「1登録」選択→
(決定) 押す。

⑤ 発信種別？

1 特番発信
2 外線発信
3 親PBX発信

いずれか選択→
(決定) 押す。
(例)「1 特番発信」選択

⑥ 電話番号？

■

⑦ 電話番号？

00249441221■

電話番号を入力→
(決定) 押す。
(例)0249441221
発信特番0
相手番号0249441221

・ポーズを入力する場合は  を押してください。
表示は「P」になります。

※入力最大桁数
特番発信：32桁
外線発信：30桁
親PBX発信：30桁

⑧ 名称？

■

漢全

⑨ 名称？

田中 ■

漢全

名称を入力→
(決定) 押す。
 文字入力(P.106)

⑩ 読み仮名？

■

カナ半

⑪ 読み仮名？

タナカ■

カナ半

読み仮名入力→
(決定) 押す。

⑫ 個人短縮
短縮番号：*80
特番発信
00249441221
田中
タナカ

内容を確認する。

内容OKで
続けて登録なら→ (決定) 押す。 → 操作③に戻るので続けて登録。

内容OKで
登録終了なら→ (決定) 押す。 → 操作③に戻るので  押す。
待受画面に替ります。

内容修正なら→  押す。 →  押す毎に1画ずつ
さかのぼります。
目的の画面を表示させて修正する。

各電話機からの 登録操作(つづき)

登録内容を編集する

- ①
- | |
|----------|
| 1 短縮ダイヤル |
| 2 ボタン |
- 登録モードから「1短縮ダイヤル」選択→(決定)押す。
- ②
- | |
|-------------------------|
| 短縮番号?
(*80~*99)
■ |
|-------------------------|
- 短縮種別00時:(80~99)または(*80~99)
短縮種別01時:(*80~99)
- ③
- | |
|---------------------------|
| 短縮番号?
(*80~*99)
*80 |
|---------------------------|
- 短縮番号を入力→(決定)押す。
(例) *80
- ④
- | |
|------|
| 1 登録 |
| 2 編集 |
| 3 消去 |
- 「2編集」選択→(決定)押す。
- ⑤
- | |
|--------------------|
| 個人短縮
短縮番号 : *80 |
| 1 特番発信 |
| 2 00294441221 |
| 3 田中 |
| 4 タナカ |
- 「1特番発信」選択→(決定)押す。
・内容修正→(戻る)押す。操作④に戻ります。
- ⑥
- | |
|----------|
| 発信種別? |
| 1 特番発信 |
| 2 外線発信 |
| 3 親PBX発信 |
- ⑦
- | |
|----------|
| 発信種別? |
| 1 特番発信 |
| 2 外線発信 |
| 3 親PBX発信 |
- 目的の種別を選択→(決定)押す。
(例)「2外線発信」
- ⑧
- | |
|--------------------|
| 個人短縮
短縮番号 : *80 |
| 1 外線発信 |
| 2 00294441221 |
| 3 田中 |
| 4 タナカ |
- (決定)押す。
・内容修正→(戻る)押す。操作④に戻ります。
- ⑨
- | |
|----------------------|
| 電話番号?
00249441221 |
| 00249441221■ |
- ⑩
- | |
|----------------------|
| 電話番号?
00249441221 |
| 0249441359■ |
- 電話番号を修正(P.106)して→(決定)押す。
(例) 0294441359
- ⑪
- | |
|--------------------|
| 個人短縮
短縮番号 : *80 |
| 1 外線発信 |
| 2 20294441359 |
| 3 田中 |
| 4 タナカ |
- (決定)押す。
・内容修正→(戻る)押す。操作④に戻ります。
- ⑫
- | |
|-----|
| 名称? |
| 田中 |
| 田中■ |
| 漢全 |
- ⑬
- | |
|-----|
| 名称? |
| 田中 |
| 佐藤■ |
| 漢全 |
- 名前を変更(P.106)→(決定)押す。
(例) 佐藤
- ⑭
- | |
|--------------------|
| 個人短縮
短縮番号 : *80 |
| 1 外線発信 |
| 2 0294441359 |
| 3 佐藤 |
| 4 タナカ |
- (決定)押す。
・内容修正→(戻る)押す。操作④に戻ります。
- ⑮
- | |
|-------|
| 読み仮名? |
| タナカ |
| タナカ■ |
| カナ半 |
- ⑯
- | |
|-------|
| 読み仮名? |
| タナカ |
| サトウ |
| カナ半 |
- 名前を変更→(決定)押す。
(例) サウ
- ⑰
- | |
|--------------------|
| 個人短縮
短縮番号 : *80 |
| 外線発信 |
| 02494441359 |
| 佐藤 |
| サトウ |
- (決定)押す。
・内容修正→(戻る)押す。操作④に戻ります。
- 内容OKで
続けて登録なら→(決定)押す。→操作②に戻る。
- 内容OKで
登録終了なら→(決定)押す。→操作②に戻るので→(終了)押す。

機能ボタンを登録する

オートダイヤル、内線ワンタッチ、自己保留、メモダイヤルのボタン登録です。

①

1	短縮ダイヤル
2	ボタン

登録モードから「2ボタン」選択→
 押す。

② 設定するボタンを押してください

③ 空いているフリーファンクションボタンを押す。
 (例) ボタン01

・すでにこのボタンに機能が登録されているとその内容が表示されます(機能ボタン一覧P.62)。
 なお、ここで登録・変更できるのは、オートダイヤル、内線ワンタッチ、自己保留、メモダイヤルのみです。

④

ボタン番号 : 01
未登録

押す。

1	未登録	ダイヤル
2	オートダイヤル	ダイヤル
3	内線ワンタッチ	ダイヤル
4	自己保留	ダイヤル
5	メモダイヤル	ダイヤル

選択して 押す

・ボタン登録の中止は未登録を選択します。

ボタン番号 : 01
未登録

選択して 押す。

⑤

ボタン番号 : 01
オートダイヤル
登録番号 ?
(1 ~ 6桁)
■

⑥

ボタン番号 : 01
オートダイヤル
登録番号
(1 ~ 6桁)
123456

番号(最大6桁)を入力する。
 押す。
 (例)123456

・ポーズを入力する場合は を押してください。
 表示は「P」になります。

⑦

ボタン番号 : 01
オートダイヤル
登録番号 : 123456

押して
 操作②に戻ります。

・入力し直すときは 押す。

⑤

ボタン番号 : 01
内線ワンタッチ
内線番号 ?
■

内線番号を入力する。
 (例)200

⑥ 押す。

ボタン番号 : 01
内線ワンタッチ
内線番号 ?
200

⑦ 押して
 操作②に戻ります。

ボタン番号 : 01
内線ワンタッチ
内線番号 : 200

・入力し直すときは 押す。

⑤

ボタン番号 : 01
自己保留

押して
 操作②に戻ります。

⑤

ボタン番号 : 01
メモダイヤル

押して
 操作②に戻ります。

! 登録のために を押しても画面表示が変わらない場合は、登録内容が重複または誤りがあるときです。内容を確認してください。

各電話機からの登録操作(つづき)

登録機能ボタン一覧 機能ボタンの内容は下記のように表示されます(これらは一例です)。

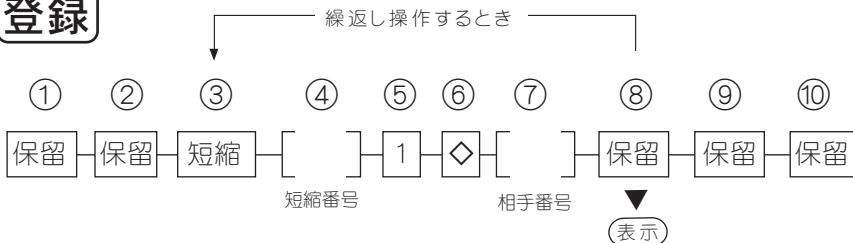
ボタンの番号 : 0 1
録音ボタンの番号 : 0 1
メモボタンの番号 : 0 1
取消ボタンの番号 : 0 1
終了ボタンの番号 : 0 1
社員パスポート番号 : 2 0 0
社員番号 : 1
社員番号 : 0ボタンの番号 : 0 1
社員パスポート番号 : 2 0 1
社員番号 : 1
社員番号 : 0ボタンの番号 : 0 1
夜間切替番号 : 0 0
テボタンの番号 : 0 1
DIY着信切替 (なし)
テ (パスポート番号 : 0 1)ボタンの番号 : 0 1
テ ナン ト 番号 : 0 2
テ ナン ト 番号 : 0 2ボタンの番号 : 0 1
聴話ボタンの番号 : 0 1
ボイスメッセージボタンの番号 : 0 1
ボボタンの番号 : 0 1
再録ボタンの番号 : 0 1
メッセージ転送ボタンの番号 : 0 1
ボオウエボタンの番号 : 0 1
ステイミュラス操作ボタンの番号 : 0 1
ボ指令グループ番号 : 0 1ボタンの番号 : 0 1
ボ非内線番号 : 2 0 2ボタンの番号 : 0 1
迷惑電話お断りボタンの番号 : 0 1
転送キヤンセルボタンの番号 : 0 1
ボ再生グループ番号 : 0 1ボタンの番号 : 0 1
戻りボタンの番号 : 0 1
送ボタンの番号 : 0 1
保ボタンの番号 : 0 1
留守切替番号 : 0 3
テボタンの番号 : 0 1
ボモーター番号 : 0 1
ボモーター番号 : 0 1ボタンの番号 : 0 1
ボ転送先番号 : 0 4ボタンの番号 : 0 1
ス受信位置 : 0 8 0ボタンの番号 : 0 1
ボ局線バーチャル発信ボタンの番号 : 0 1
ボ局線バーチャル着信ボタンの番号 : 0 1
ボグール番号 : 留 9 9ボタンの番号 : 0 1
ボ飯飯番号 : 4 0 0
ボ飯飯番号 : 0 0ボタンの番号 : 0 1
ボ他テナントバーチャル
ボ他テナント番号 : 0 5

チェーンダイヤルに登録する

チェーンダイヤル登録

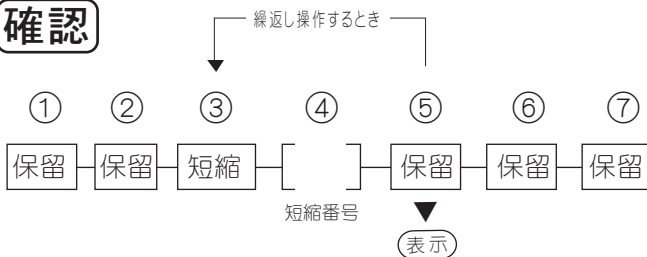
①後に付ける短縮番号の場合

登録

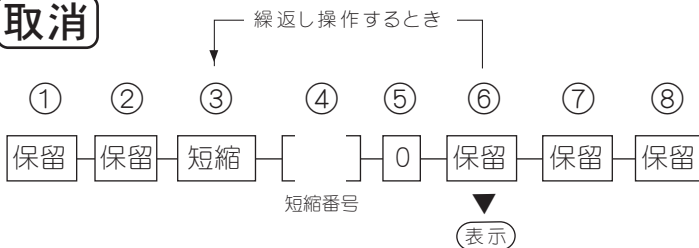


● 操作7. は、最大30桁です。

確認

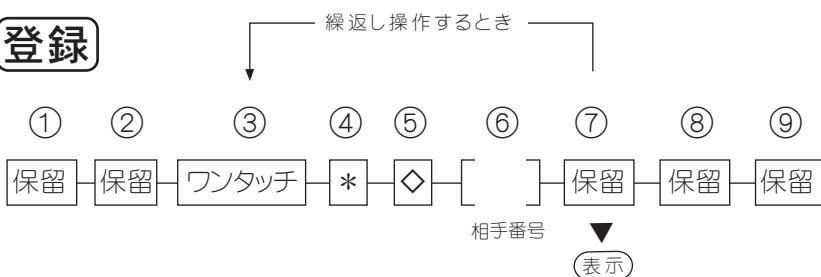


取消



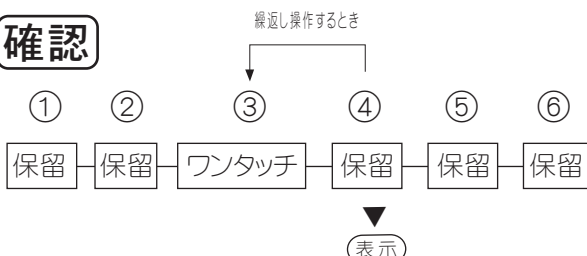
②後に付けるワンタッチの場合

登録

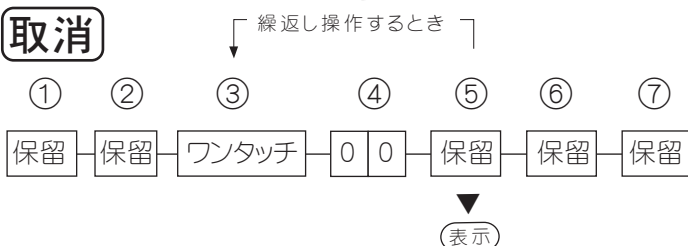


- 空いている外線ボタンをワンタッチボタンとして使用します。
- 操作6. は最大5桁です。

確認



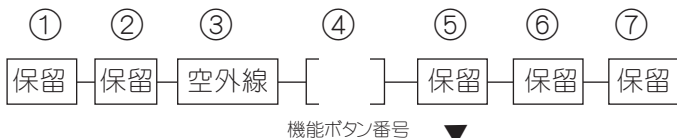
取消



機能ボタンを登録する

機能ボタン

登録



機能ボタン番号

● 操作4. は、機能ボタン番号です。

● 機能ボタン番号

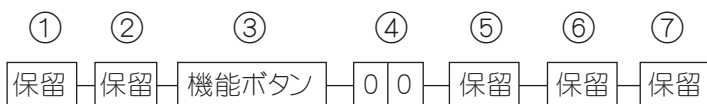
機能ボタン	番号と種別番号
専用線バーチャル発信	03とルート番号(1~9)
伝言メッセージ	04
他グループ代理応答	05とルート番号(01~99)
転送完了	06
PB遠隔	24
トーン鳴動条件	49とトーン種別(0~9)
オートメッセージウェイト	51
ステイミュラス操作	52

確認



表示

取消



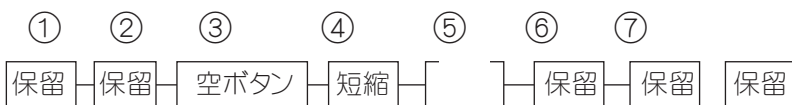
表示

外線相手をワンタッチボタンに登録する

外線ワンタッチボタン

システム短縮ダイヤルおよび個人短縮ダイヤルに登録されている相手先は、ワンタッチボタンに登録できます。

登録

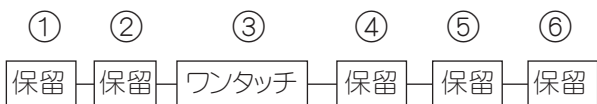


短縮番号

表示

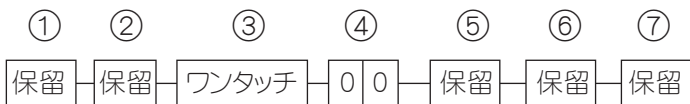
● 空いている外線ボタンをワンタッチボタンとして使用します。

確認



表示

取消

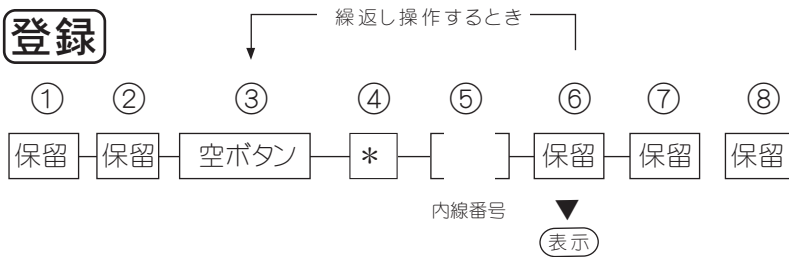


表示

内線相手をDSSのワンタッチボタンに登録する

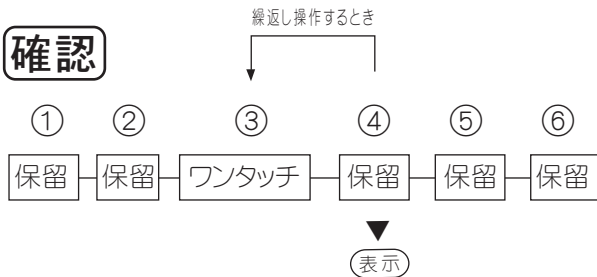
DSS内線ワンタッチボタン

登録

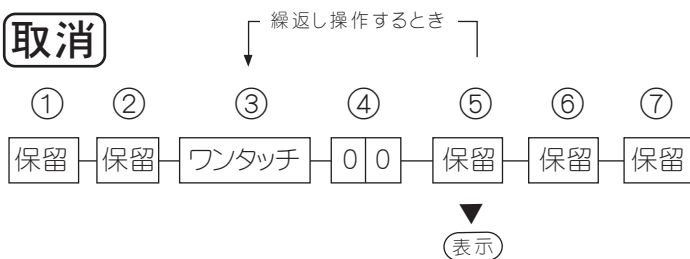


- 空いている外線ボタンをワンタッチボタンとして使用します。
- 操作5. の入力は最大6桁です。
- 内線話中／不在表示(P.31)をさせるときは、操作4. で27を入力します。
- 内線番号以外に特番なども登録できます。

確認



取消



MEMO



第6章

特定電話機



この章は、特定電話機からの登録内容についての説明です。

- この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。
- この章の内容を操作している場合に、オンフックランプが速い点滅になったときは、第9章「こんなメッセージが出たら」(P. 98)をご覧ください。

特定電話機からの登録操作

特定電話機について

通常の電話機能以外に下記の項目を操作できます。
操作は、画面から入る画面入力モードと、保留ボタンから入るキー入力モードの2つの方法(P.69)があります。



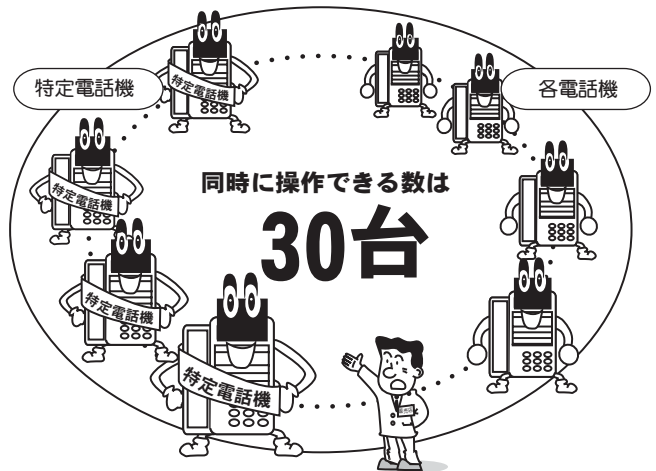
項目	入力モード	内容
1 日付設定	画面入力	画面に表示されるカレンダーの、年、月、日、曜日の設定です。
2 時刻設定	画面入力	画面に表示される時刻の設定です。
3 システム短縮ダイヤル登録	画面入力	全内線が共通で使用するシステム短縮ダイヤルの登録と、システム短縮ダイヤルでかけた際に表示される相手先番号の代わりに、相手先名称を表示させる登録です。
4 内線名称登録	画面入力	・内線にかけた際、相手側に表示される発信側の内線番を、かけた側の名称を表示させる登録です。
5 内線データコピー登録	キー入力	内線電話機に登録されているデータを他の内線電話機にコピーする登録です。 ■コピー項目 1. ワンタッチダイヤルの内容 2. 特殊機能ボタンの種別内容 3. 外線着信音を、鳴らす／鳴らさないの内容
6 内線データ移動登録	キー入力	席替で、内線のデータを移動先の内線に移動する登録です。 ■登録項目 1. ワンタッチダイヤルの内容 2. 特殊機能ボタンの種別内容 3. 外線着信音を、鳴らす／鳴らさないの内容 4. 内線データ ・規制クラス ・代理応答グループ ・ワンタッチオンフックダイヤルクラス ・料金即知／通話時間表示クラス ・一般着信自動応答クラス／着信音識別 ・ハウラ送出クラス ・予算オーバークラス切替クラス ・端末属性クラス ・内線対応発信サブアドレス付加クラス ・テナント番号 ・クイック転送クラス
7 DSS外線着信音色登録	キー入力	DSSに外線を収容している場合に、外線着信時の音色を変える登録です。
8 支店番号によるシステム短縮ダイヤル発信登録	キー入力	支店番号をシステム短縮ダイヤルに登録してある場合、短縮番号の代わりに支店番号で発信できるための登録です。
9 昼夜・深夜サービス機能タイマー切替登録	キー入力	昼夜・深夜サービス機能を切り替える時刻の登録です。
10 内線毎通話料金の管理	画面入力 キー入力	内線電話機毎の通話料金の確認と取消操作。予算の登録です。
11 グループ毎通話料金の管理	画面入力 キー入力	グループ毎の通話料金の確認と取消操作。予算の登録です。
12 システム通話料金の管理	画面入力	システム全体の通話料金の確認と取消操作です。

操作可能な電話機台数について

本章(特定電話機からの操作)および第5章(各電話機からの操作)の内容を画面入力操作から行う場合、同時に操作できる電話機の台数は最大30台です。なお、キー入力からの操作の場合は最大10台になります。

制限台数を越えた電話機から操作しようとした場合は、登録モードになりません。このときはしばらく待ってから操作してください。

まず登録モードにする



画面入力 からの場合

待機画面

①

100	04月27日(水)	15:00
着信音量	■■■■□□□	

決定 押す。

トップメニュー

②

1	電話帳	
2	履歴	
3	電話機設定	1
4	電話機設定	2
5	ロック	
6	アラーム	

③

1	電話帳	
2	履歴	
3	電話機設定	1
4	電話機設定	2
5	ロック	
6	アラーム	

▽ で「4 電話機設定 2」を選び 決定 押す。

④

1	短縮ダイヤル
2	ボタン

を長押し(3秒以上する)

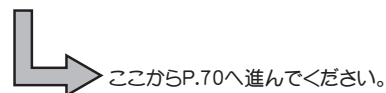
特定電話機モード

⑤

1	日付
2	時刻
3	短縮ダイヤル
4	内線名称
5	通話料金



この画面が特定電話機モードです。



キー入力 からの場合

① 保留

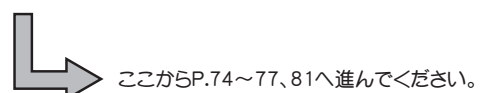
② ◇

③

特定 TELモード	
#でヘルプ表示	
15日(月)12:00	100
着信音量	■■■■□□□




この画面が特定電話機モードです。



特定電話機からの登録操作(つづき)

日付を設定する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 日付 |
| 2 | 時刻 |
| 3 | 短縮ダイヤル |
| 4 | 内線名称 |
| 5 | 通話料金 |

特定電話機モード
表示から「1日付」
選択→を押す。


- ②
- | | | | |
|------|---------|-----|-----|
| 年月日曜 | 0510017 | | |
| 曜日入力 | 0510017 | | |
| 1:日 | 2:月 | 3:火 | 4:水 |
| 5:木 | 6:金 | 7:土 | |

現在設定されている日付
が表示されます。
設定エリアに日付を入
力する。

確認エリア：設定されている日付です。
設定エリア：日付を設定するエリアです。



ヒント 確認エリアと設定エリアは同日付を表示します。

- ③
- | | | | |
|------|---------|-----|-----|
| 年月日曜 | 0510017 | | |
| 曜日入力 | 0510017 | | |
| 1:日 | 2:月 | 3:火 | 4:水 |
| 5:木 | 6:金 | 7:土 | |


を押してカーソル
を変更箇所へ当てる。

- ④
- | | | | |
|------|---------|-----|-----|
| 年月日曜 | 0510017 | | |
| 曜日入力 | 0 | | |
| 1:日 | 2:月 | 3:火 | 4:水 |
| 5:木 | 6:金 | 7:土 | |

^{クリア}
・を6回押して消す。

- ^{クリア}
・を押すと1桁消えます。
^{クリア}
・長押し(3秒以上)で全桁消えます。

- ⑤
- | | | | |
|------|---------|-----|-----|
| 年月日曜 | 0510017 | | |
| 曜日入力 | 0603235 | | |
| 1:日 | 2:月 | 3:火 | 4:水 |
| 5:木 | 6:金 | 7:土 | |



日付を入力する。
を押す。

(例) 2006年3月23日(木曜日)
年 月 日 曜
(2桁) (2桁) (2桁) (1桁)
06 03 23 5

- ⑥
- | | | | |
|------|---------|-----|-----|
| 年月日曜 | 0603235 | | |
| 1:日 | 2:月 | 3:火 | 4:水 |
| 5:木 | 6:金 | 7:土 | |


を押す。

- ⑦
- | |
|-------------|
| 06年03月23日木曜 |
|-------------|

- ⑧
- で待ち受け画面に戻る。
または
で特定電話機モード画面に戻る。

時刻を設定する

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 日付 |
| 2 | 時刻 |
| 3 | 短縮ダイヤル |
| 4 | 内線名称 |
| 5 | 通話料金 |

特定電話機モード
表示から「2時刻」
選択→を押す。


- ②
- | | |
|----|------|
| 時分 | 1325 |
| 時分 | 1325 |

現在設定されている時刻
が表示されますので、
設定エリアに時刻を入
力する。

確認エリア：設定されている時刻です。
設定エリア：時刻を設定するエリアです。



ヒント 確認エリアと設定エリアは同時刻を表示します。

- ③
- | | |
|----|------|
| 時分 | 1325 |
| 時分 | 1325 |


を押してカーソル
を変更箇所へ当てる。

- ④
- | | |
|----|------|
| 時分 | 1325 |
| 時分 | 1 |

^{クリア}
・を3回押して消す。

- ^{クリア}
・を押すと1桁消えます。
^{クリア}
・長押し(3秒以上)で全桁消えます。

- ⑤
- | | |
|----|------|
| 時分 | 1325 |
| 時分 | 1455 |



時刻を入力して
を押す。

(例) 14時55分
時 分
(2桁) (2桁)
14 55

- ⑥
- | | |
|----|------|
| 時分 | 1455 |
|----|------|

を押す。

- ⑦
- | |
|--------|
| 14時55分 |
|--------|

- ⑧
- ^{終了}
で待ち受け画面に戻る。
または
^{戻る}
で特定電話機モード画面に戻る。

システム短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する"システム短縮ダイヤル"と各内線が独自に使用できる"個人短縮ダイヤル"があります。種別は2つで、どちらかの設定になります。なお、システム短縮ダイヤルの使用条件が決定すると、個人短縮ダイヤルの使用条件が決まります。

カック内の番号
が短縮番号です。
(*も含む)

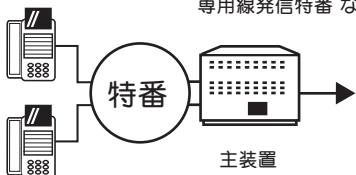
短縮種別	相手先登録数	システム短縮ダイヤル	個人短縮ダイヤル
00	100箇所	① 80箇所までの登録(00~79)	④ 20箇所(80~99)
		② 100箇所までの登録00~99)	⑤ 20箇所(*80~*99)
01	1000箇所	③ 1000(000~999)	⑥ 20箇所(*80~*99)

発信種別を確認する

システムが下記のどの発信種別になっているかを販売店にお確かめください。

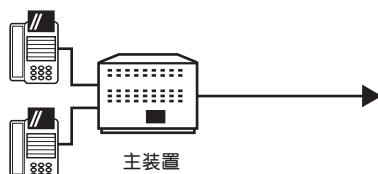
かけるときに特番が必要

- 特番発信 (例) 外線発信特番
LCR発信特番
専用線発信特番 など



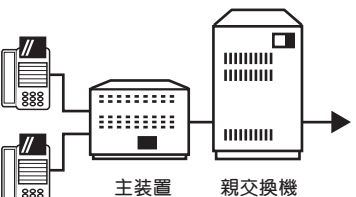
外線に直接かけられる

- 外線発信



親交換機を介してかける

- 親PBX発信



- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 日付 |
| 2 | 時刻 |
| 3 | 短縮ダイヤル |
| 4 | 内線名称 |
| 5 | 通話料金 |
- 特定電話機モード
表示から「3短縮ダイヤル」
選択→ (決定) 押す。

- ②
- | | |
|---|---------|
| 1 | 100 箇所 |
| 2 | 1000 箇所 |
- どちらか選択
→ (決定) 押す。

- ③
- 短縮番号?
(000~999)

100箇所選択時：(00~99)
1000箇所選択時：(000~999)

- ④
- 短縮番号?
(000~999)
000
- 短縮番号を入力
→ (決定) 押す。

(例) 000

- ⑤
- | | |
|---|----|
| 1 | 登録 |
| 2 | 編集 |
| 3 | 消去 |
- 「1登録」選択→
(決定) 押す。

特定電話機からの登録操作(つづき)

⑥ 発信種別？
 1 特番発信
 2 外線発信
 3 親PBX発信

いずれか選択→
 (決定) 押す。
 (例)「1 特番発信」選択

⑦ 電話番号？
 ■

⑧ 電話番号？
 00249441221■

電話番号を入力→
 (決定) 押す。
 (例)0249441221
 発信特番0
 相手番号0249441221

・ポーズを入力する場合は を押してください。
 表示は「P」になります。

※入力最大桁数 特番発信：32桁 外線発信：30桁
 親PBX発信：30桁

⑨ 名称？
 ■
 漢全

⑩ 名称？
 田中一郎■

名称を入力→
 (決定) 押す。
 文字入力(P.106)

⑪ 読み仮名？
 ■
 カナ半

⑫ 読み仮名？
 タナカイチロウ

読み仮名入力→
 (決定) 押す。

⑬ システム短縮1000箇所
 短縮番号：000
 特番発信
 00294441221
 田中一郎
 タナカイチロウ

内容を確認する。

内容OKで
 続けて登録なら→ (決定) 押す。 → 操作③に戻るので続けて登録。

内容OKで
 登録終了なら→ (決定) 押す。 → 操作③に戻るので 押す。
 待受画面に替ります。

内容修正なら→ 押す。
 押す毎に1画ずつ
 さかのぼります。
 目的の画面を表示させて修正する。

内線名称を登録する

① 1 日付
 2 時刻
 3 短縮ダイヤル
 4 内線名称
 5 通話料金

特定電話機モード
 表示から「4内線名称」
 選択→ (決定) 押す。

② 内線番号？
 ■

③ 内線番号？
 200

内線番号入力→ (決定) 押す。

④ 内線番号：200
 1 登録
 2 消去

「1登録」選択→ (決定) 押す。

・すでに名称が登録されている場合は内線
 名称が表示されます。

⑤ 内線番号：200
 ■
 漢全

⑥ 内線番号：200
 鈴木■
 漢全

名前入力する→ (決定) 押す。

⑦ 内線番号：200
 鈴木

内容を確認する。

内容OKで
 続けて登録なら→ (決定) 押す。 → 操作②に戻るので→続けて登録

内容OKで
 登録終了なら→ (決定) 押す。 → 操作②に戻るので→ 押す。
 待受画面に替ります。

内容修正なら→ 押す。 → 操作⑥に戻るので修正する。

登録内容を編集する

①

1	日付時刻
2	短縮ダイヤル
3	内線名称
4	通話料金
5	

登録モードから「3短縮ダイヤル」選択→
(決定) 押す。

②

1	100 箇所
2	1000 箇所

どちらか選択→ (決定) 押す。

③

短縮番号?
(000~999)
■

④

短縮番号?
(000~999)
000

短縮番号を入力→ (決定) 押す。
(例) 000

⑤

1	登録
2	編集
3	消去

「2編集」選択→ (決定) 押す。

⑥

システム短縮1000箇所	
短縮番号: 000	
1	特番発信
2	00294441221
3	田中
4	タナカ

「1特番発信」選択→ (決定) 押す。

⑦

発信種別?	
1	特番発信
2	外線発信
3	親PBX発信

⑧

発信種別?	
1	特番発信
2	外線発信
3	親PBX発信

目的の種別を選択→ (決定) 押す。
(例) 「2外線発信」

⑨

システム短縮1000箇所	
短縮番号: 000	
1	外線発信
2	00294441221
3	田中
4	タナカ

(決定) 押す。
内容修正→ (戻る) 押す。操作④に戻ります。

⑩

電話番号?
00249441221
00249441221■

⑪

電話番号?
00249441221
0249441359■

電話番号を修正→ (決定) 押す。
(例) 0294441359

⑫

システム短縮1000箇所	
短縮番号: 000	
1	外線発信
2	0294441359
3	田中
4	タナカ

(決定) 押す。
内容修正→ (戻る) 押す。操作④に戻ります。

⑬

名称?
田中
田中■
漢全

⑭

名称?
田中
佐藤■
漢全

名前を変更(P.106)→ (決定) 押す。
(例) 佐藤

⑮

システム短縮1000箇所	
短縮番号: 000	
1	外線発信
2	0294441359
3	佐藤
4	タナカ

(決定) 押す。
内容修正→ (戻る) 押す。操作④に戻ります。

⑯

読み仮名?
タナカ
タナカ■
カナ半

⑰

読み仮名?
タナカ
サトウ
カナ半

名前を変更→ (決定) 押す。
(例) サウ

⑱

システム短縮1000箇所	
短縮番号: 000	
外線発信	
02494441359	
佐藤	
サトウ	

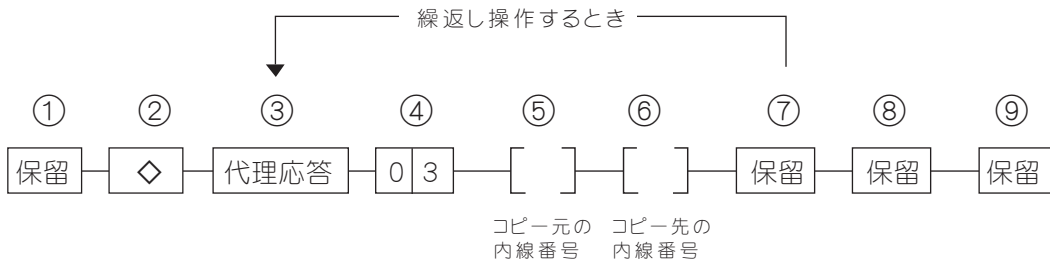
内容修正→ (戻る) 押す。操作⑤に戻ります。

内容OKで
続けて登録なら→ (決定) 押す。 → 操作③に戻る。

内容OKで
登録終了なら→ (決定) 押す。 → 操作③に戻るのので→ (終了) 押す。

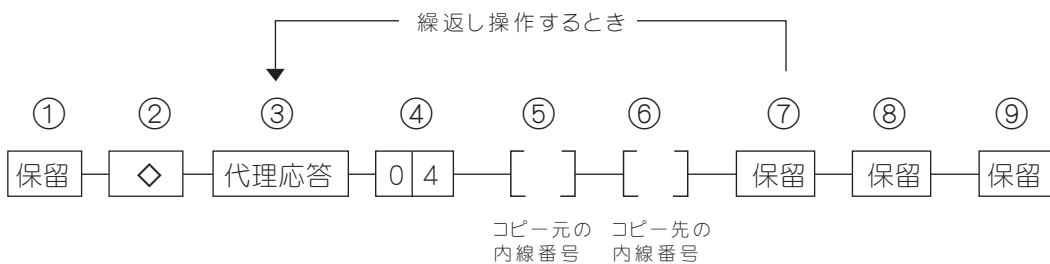
内線電話機のデータを他の電話機にコピーする

① ワンタッチダイヤル、特殊機能ボタンの内容コピー



- コピー先の内線が使用していないことを確認してから操作してください。使用中の場合はデータのコピーはできません。

② 外線着信音を鳴らす／鳴らさないのコピー



- コピー先の内線が使用していないことを確認してから操作してください。使用中の場合はデータのコピーはできません。

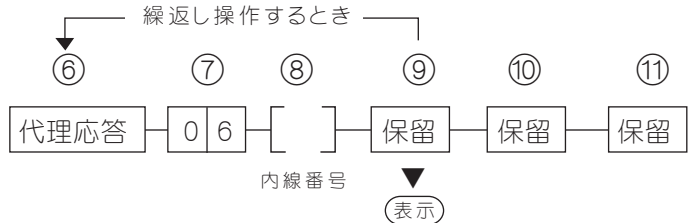
席移動先に移動前の電話機データを移す

ご注意 本操作をする場合は、席替え対象の電話機が使用していないことを確認してください。
更に、この間は対象の内線を使用しないよう注意を促してください。

1. まず、席替モードにする

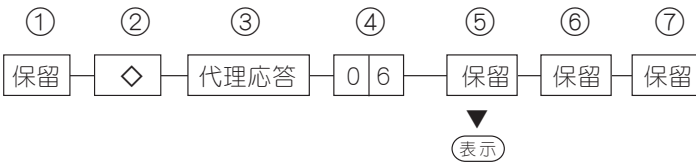


2. 次に、席替え対象の内線をロックする



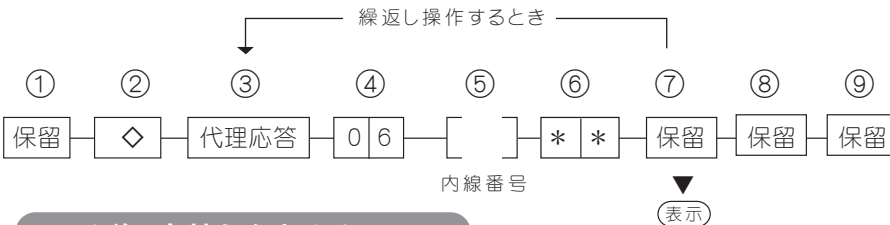
●この操作で対象の内線電話機を個々にロックします。
<ロック例>
データを内線100→101へ。101→102へ。102→100へ移す場合、
この操作で100、101、102を個々にロックします。

ロックした内線を確認する

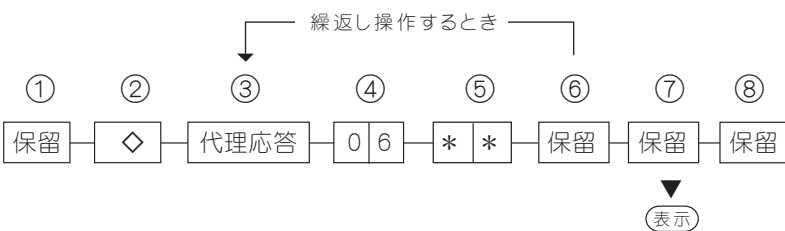


●操作5.での表示では一度に2内線だけの表示です。
転送ボタンを押すと次の内線を表示します。

ロック後、一部の席替えを止める

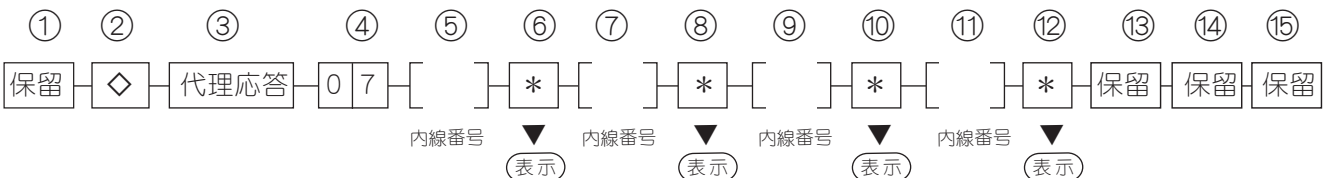


ロック後、席替えを止める



3. 最後にこの操作で席替えの登録になります

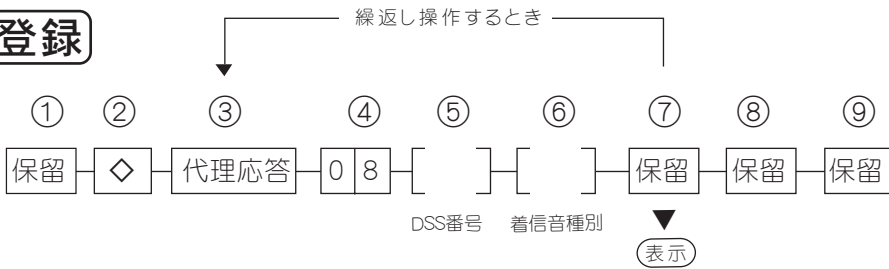
●この操作で対象の内線電話機を登録します。 <例>内線番号100のデータを101へ。101を102へ。102を100へ移す場合
100→101→102→100の順に入力します。



●操作13.で保留に換わって転送ボタンを押す毎に、席替えした内線の内容が順次表示されます。

DSSに收容した外線の着信音を変える

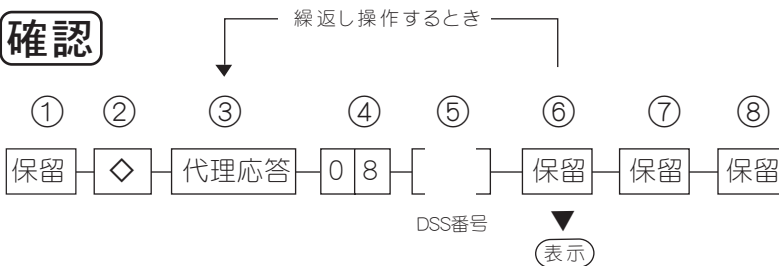
登録



- 操作5. に入力する番号は販売店に確認してください。
- 操作6. への入力。

着信音種別	周波数Hz
1	600/800/16
2	800/1000/16

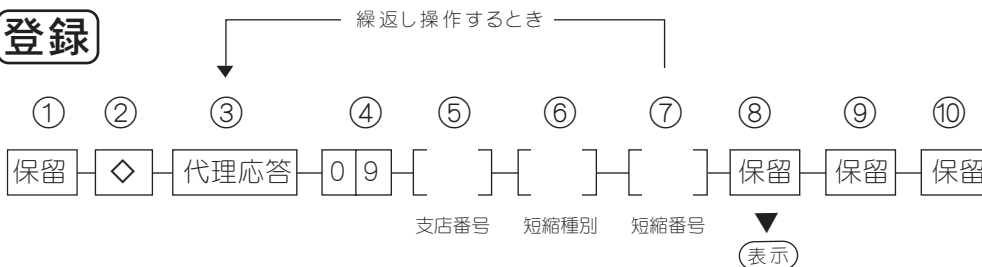
確認



短縮番号の代わりに支店番号でかける

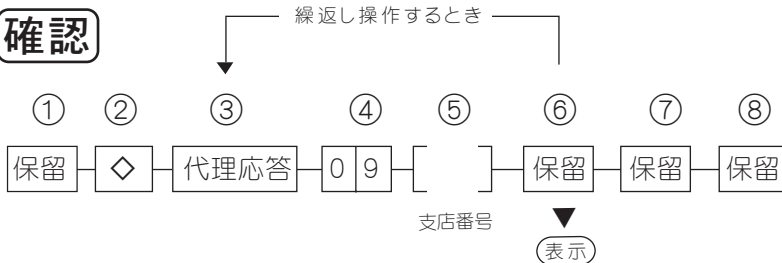
システム短縮ダイヤルに支店の番号を登録してある場合、短縮番号の代わりに支店番号(4桁)でかけることができます。

登録

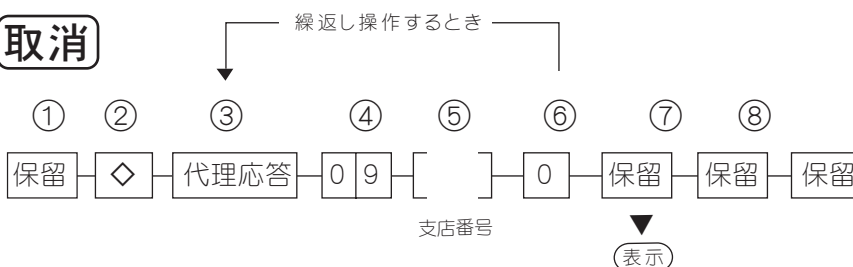


- システム短縮ダイヤルに登録されている支店だけが対象です。登録数は最大500箇所です。
- 操作5. への入力は、「0000～9999」です。
- 操作6. への入力は、短縮100箇所の場合は「1」、短縮1000箇所の場合は「2」です。
- 操作7. への入力は、短縮100箇所の場合は「00～99」、短縮1000箇所の場合は「000～999」です。

確認



取消



夜間・深夜サービス機能の切替時刻を設定する

① 夜間サービスの場合

登録

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

保留 ◇ 代理応答 1 3 [] [] [] 保留 保留 保留

曜日 開始時刻 終了時刻
時分 時分

▼
表示

確認

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

保留 ◇ 代理応答 1 3 [] 保留 保留 保留

曜日

▼
表示

- 操作5. への入力値は、毎日=0 月=1 火=2 水=3 木=4 金=5 土=6 日=7 です。
- 登録操作の開始/終了時刻は24時間制(4桁)で入力してください。
- 取り消す場合は、登録操作の開始時刻と終了時刻に同じ数字を入力してください。取り消しになります。

② 深夜サービスの場合

登録

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

保留 ◇ 代理応答 1 4 [] [] [] 保留 保留 保留

曜日 開始時刻 終了時刻
時分 時分

▼
表示

確認

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

保留 ◇ 代理応答 1 4 [] 保留 保留 保留

曜日

▼
表示

- 操作5. への入力値は、毎日=0 月=1 火=2 水=3 木=4 金=5 土=6 日=7 です。
- 登録操作の開始/終了時刻は24時間制(4桁)で入力してください。
- 取り消す場合は、登録操作の開始時刻と終了時刻に同じ数字を入力してください。取り消しになります。

特定電話機からの登録操作(つづき)

電話機毎の通話料金を操作する

今月、先月の内線毎累積通話料金を確認・クリアできます。

確認

- ①
- | | |
|---|--------|
| 1 | 日付 |
| 2 | 時刻 |
| 3 | 短縮ダイヤル |
| 4 | 内線名称 |
| 5 | 通話料金 |
- 特定電話機モード表示から「5通話料金」選択→(決定)押す。
- ②
- | | |
|---|------|
| 1 | 内線 |
| 2 | グループ |
| 3 | システム |
- 「1内線」選択→(決定)押す。
- ③
- | |
|-------|
| 内線番号？ |
| ■ |
- ④
- | |
|-------|
| 内線番号？ |
| 200■ |
- 内線番号を入力。(例) 200(決定)押す。
- ⑤
- | |
|------------|
| 内線番号 : 200 |
| 1 確認 |
| 2 消去 |
- 「1確認」選択→(決定)押す。
- ⑥
- | |
|------------|
| 内線番号 : 200 |
| 1 今月 |
| 2 先月 |
- 確認する月選択→(決定)押す。
(例) 今月
- ⑦
- | |
|------------|
| 内線番号 : 200 |
| 今月料金 |
| 1980 円 |

終了
(決定) で待ち受け画面に戻ります。

戻る
(決定) 押す毎に1画ずつさかのぼります。

クリア

この操作で今月の料金だけがクリアされます。
クリアされた料金については先月分扱いになります。

- ①
- | |
|------------|
| 内線番号 : 200 |
| 1 確認 |
| 2 消去 |
- <確認操作⑤まで進む>
- ②
- | |
|------------|
| 内線番号 : 200 |
| 1 登録 |
| 2 消去 |
- 「2消去」選択→(決定)押す。
- ③
- | |
|--------|
| パスワード？ |
| ■ |
- パスワードを入力→(決定)押す。
・パスワードの初期値は「0000」です。
- ④
- | |
|------------|
| 内線番号 : 200 |
| 消去しました |
- 終了
(決定) 押すと待受画面に戻ります。

- 料金表示は999,999円までです。これを超えると0円に戻って再課金します。
- 予算使用率を確認するにあたっては予算額を登録してください。予算使用率の表示は0~999%です。999%を超えてもそのままです。

グループ毎通話料金を操作する

今月、先月のグループ毎累積通話料金を確認・クリアできます。

確認

①

1	日付
2	時刻
3	短縮ダイヤル
4	内線名称
5	通話料金

特定電話機モード表示から「5通話料金」選択→ 押す。

②

1	内線
2	グループ
3	システム

「2グループ」選択→ 押す。

③

グループ番号？
(00~20)
■

④

グループ番号？
(00~20)
00

グループ番号を入力。
(例) 00
 押す。

⑤

グループ番号 : 00

1	確認
2	消去

「1確認」選択→ 押す。

⑥

グループ番号 : 00

1	今月
2	先月

確認する月選択→ 押す。
(例) 今月

⑦

グループ番号 : 00
今月料金 12500円

終了
 で待ち受け画面に戻ります。

戻る
押す毎に1画ずつさかのぼります。

- 料金表示は999,999円までです。これを超えると0円に戻って再課金します。
- 予算使用率を確認するにあたっては予算額を登録してください。予算使用率の表示は0~999%です。999%を超えてもそのままです。

クリア

この操作で今月の料金だけがクリアされます。
クリアされた料金については先月分扱いになります。

①

グループ番号 : 00

1	確認
2	消去

<確認操作⑤まで進む>

②

グループ番号 : 00

1	確認
2	消去

「2消去」選択→ 押す。

③

パスワード？
■

パスワードを入力→ 押す。

・パスワードの初期値は「0000」です。

④

グループ番号 : 00
消去しました





終了
押すと待受画面に戻ります。

特定電話機からの登録操作(つづき)

システム通話料金を操作する

今月、先月のシステム累積通話料金を確認・クリアできます。

確認

- ①
- | | | |
|---|-------|------|
| 1 | 日付 | ダイヤル |
| 2 | 時刻 | |
| 3 | 短縮線名称 | |
| 4 | 内線料金 | |
| 5 | 通話料金 | |
- 特定電話機モード表示から「5通話料金」選択→ 押す。
- ②
- | | |
|---|--------|
| 1 | 内線グループ |
| 2 | システム |
| 3 | |
- 「3システム」選択→ 押す。
- ③
- | |
|------|
| システム |
| 1 確認 |
| 2 消去 |
- 「1確認」選択→ 押す。
- ④
- | |
|------|
| システム |
| 1 今月 |
| 2 先月 |
- 確認する月選択→ 押す。
(例) 今月
- ⑤
- | | |
|------|---------|
| システム | |
| 今月料金 | 58152 円 |




 押すと待受画面に戻ります。

 押す毎に1画ずつさかのぼります。

- 料金表示は999,999円までです。これを超えると0円に戻って再課金します。
- 予算使用率を確認するにあたっては予算額を登録してください。予算使用率の表示は0~999%です。999%を超えてもそのままです。

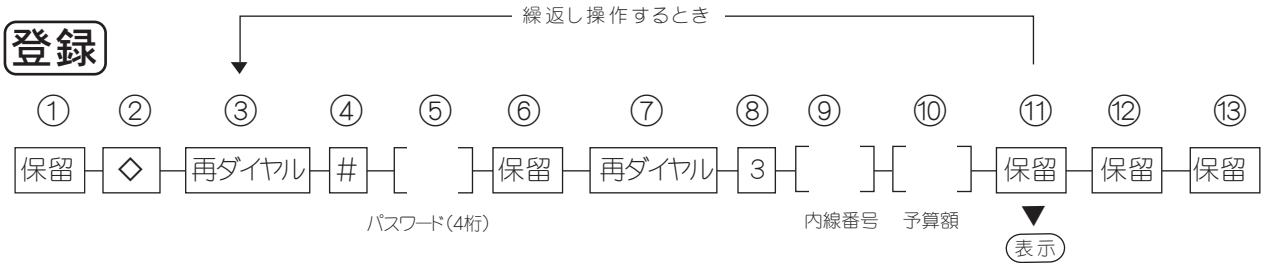
クリア

この操作で今月の料金だけがクリアされます。
クリアされた料金については先月分扱いになります。

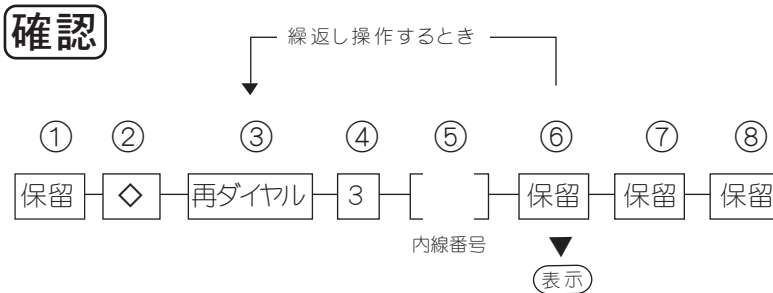
- ①
- | |
|------|
| システム |
| 1 確認 |
| 2 消去 |
- <確認操作③まで進む>
「2消去」選択→ 押す。
- ②
- | |
|--------|
| パスワード? |
| ■ |
- パスワードを入力→ 押す。
・パスワードの初期値は「0000」です。
- ③
- | |
|--------|
| システム |
| 消去しました |
-  押すと待受画面に戻ります。

通話料金予算額を登録する

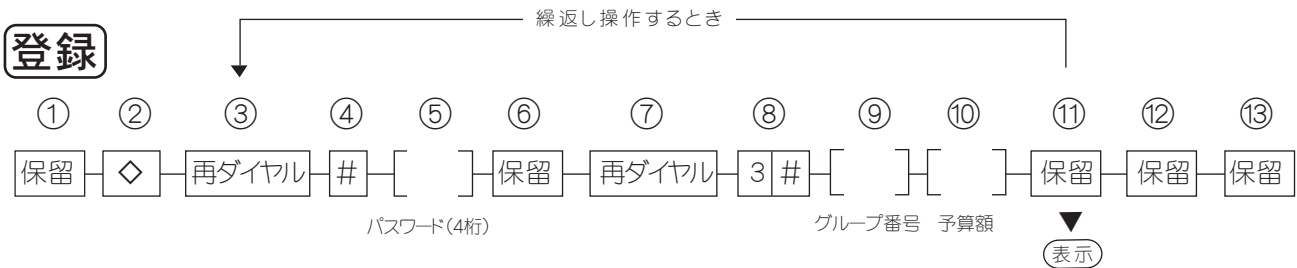
① 内線毎の予算額



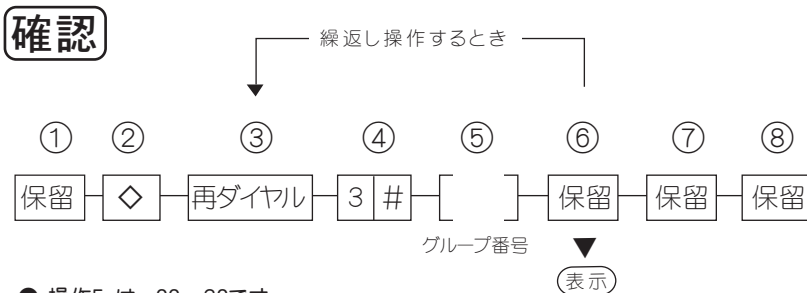
- 操作5. は、0000(初期値)です。入力してもパスワードは表示されません。
- 操作10. の入力は、最大999,900円(100円単位)です。



② グループ毎の予算額



- 操作5. は、0000(初期値)です。入力してもパスワードは表示されません。
- 操作10. の入力は、最大999,900円(100円単位)です。



- 操作5. は、00~20です。

MEMO



第 7 章

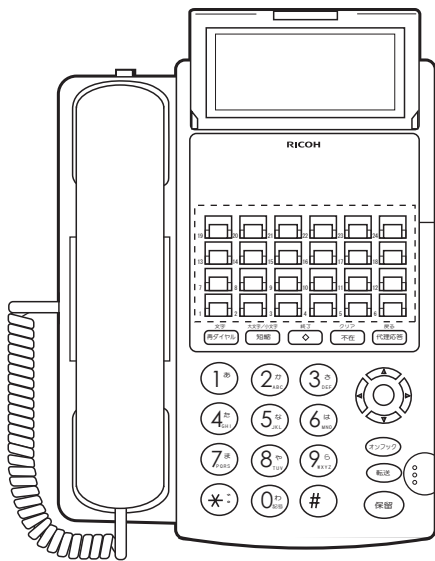
その他の電話機



この章は、ハンズフリー付電話機、停電直通用電話機の独自機能についての説明です。

RI-24Dハンズフリー電話機

この電話機は、受話器を置いたまま通話できます。



マイクボタン(1個)

マイクをON/OFFするボタンです。

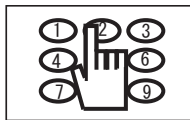
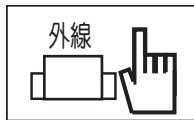
マイク

- 取付時に販売店が設定しますので位置をお確かめください。
- マイクボタンにマイクシール(添付品)を貼ってご使用ください。
- ハンズフリーで通話する場合は、あらかじめマイクボタンをONにしておいてください。

- マイクとの距離は1m以内でお話してください。

外線にかける

外線発信

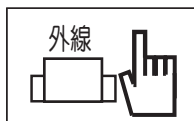
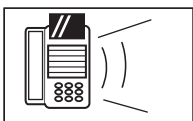


1. オンフックボタンを押す。
2. 外線ボタンを押す。
3. 相手番号を押す。

- あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

外線からの電話を受ける

外線応答

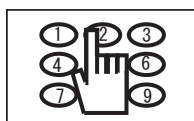


- 着信音が鳴る。
1. 速い赤点滅している外線ボタンを押す。

- あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

内線にかける

内線発信

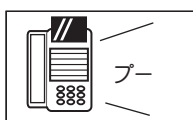


1. オンフックボタンを押す。
2. 相手内線番号を押す。

● あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

内線からの電話を受ける

内線応答



- 着信があるとすぐに
冒頭音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
 2. 通話する。

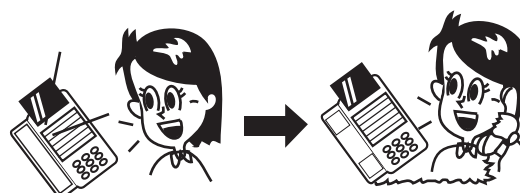
● あらかじめマイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

相手にこちらの声を聞かせたくない場合



1. マイクボタンを押す。
マイクランプが消えます。
2. 相手の声は聞こえますが、相手には
こちらの声は聞こえません。
3. 再度マイクボタンを押すと元の状態
に戻ります。

ハンズフリー通話から受話器通話にする場合



1. ハンズフリー通話中に受話器を上げる。
2. ハンズフリー通話に戻す場合はオンフック
ボタンを押してから受話器を戻す。

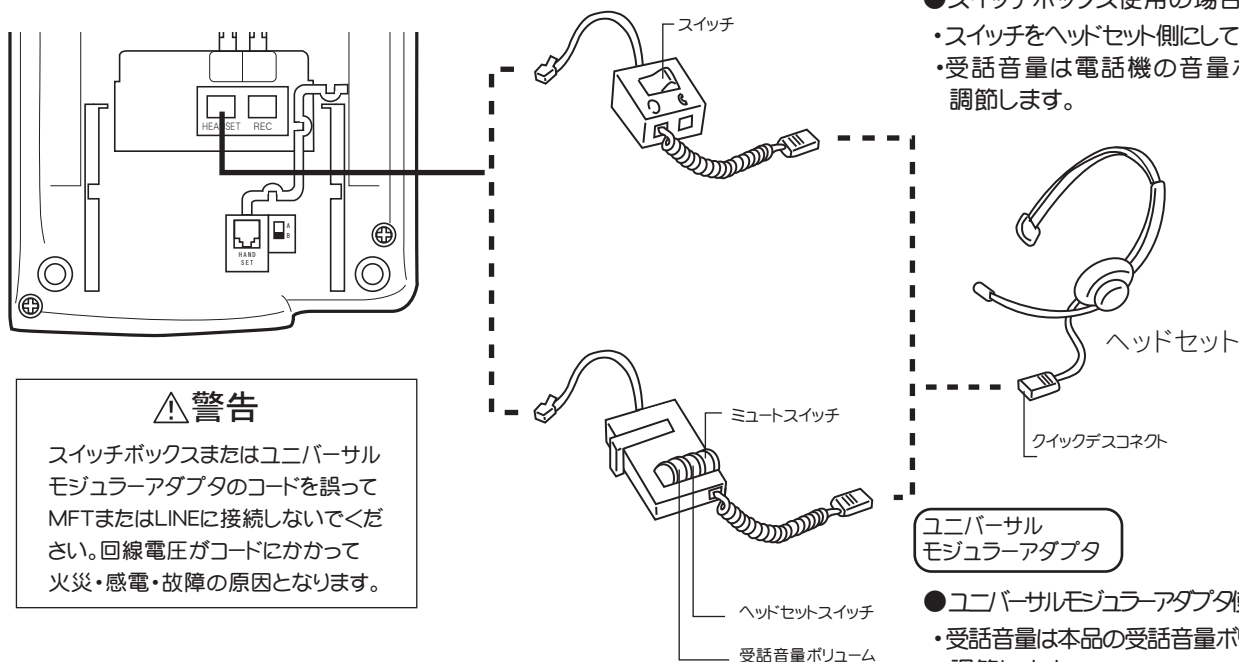
ハンズフリー通話中のご注意

- 通話は交互に行ってください。双方が同時に通話したり、相手の話しが終わらないうちに話しかけると、声かとぎれる場合があります。
- マイクとの距離は1m以内でお話してください。
- ハウリングが発生する場合は、受話器を使って通話してください。

ヘッドセットで通話する

受話器の代わりにヘッドセットを使って通話できます。

ヘッドセットを接続するには電話機の改造が必要です。
販売店にご用命ください。



スイッチボックス

- スイッチボックス使用の場合
- ・スイッチをヘッドセット側にご覧ください。
- ・受話音量は電話機の音量ボタンで調節します。

ユニバーサルモジュラーアダプタ

- ユニバーサルモジュラーアダプタ使用の場合
- ・受話音量は本品の受話音量ボリュームで調節します。

⚠警告

スイッチボックスまたはユニバーサルモジュラーアダプタのコードを誤ってMFTまたはLINEに接続しないでください。回線電圧がコードにかかって火災・感電・故障の原因となります。

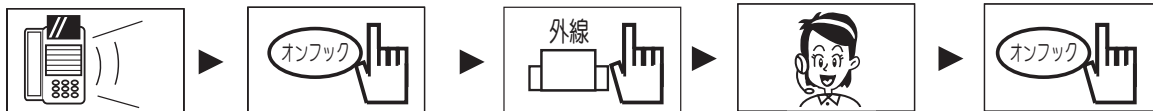
電話をかける



1. オンフックボタンを押す。
2. 相手番号を押す。
3. 通話する。
4. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

電話を受ける

■ 外線からの電話に应答する



- 着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 速い赤点滅の外線ボタンを押す。
3. 通話する。
4. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

■ 内線からの電話に应答する

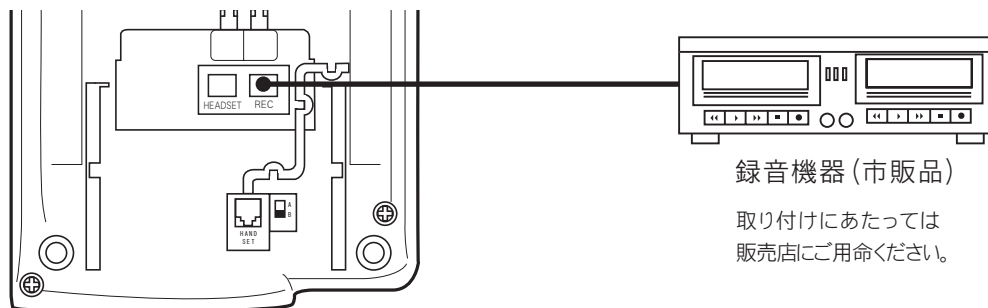


- 着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 通話する。
3. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

通話を録音する

通話録音

市販の録音機器を接続して通話を録音できます。

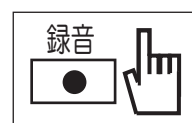


録音機器 (市販品)

取り付けにあたっては
販売店にご用命ください。



通話中に...

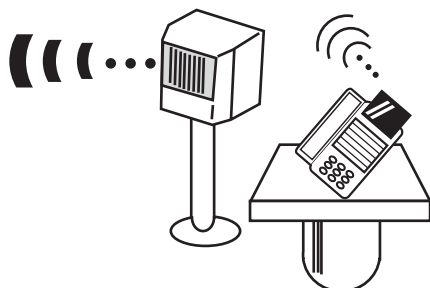


1. 録音機器の
録音ボタン
を押す。

高音量ベルを使う

高音量ベル

着信音の聞き取りにくい所に電話機が設置されているときは、着信音量を大きくできる高音量ベルを接続できます。

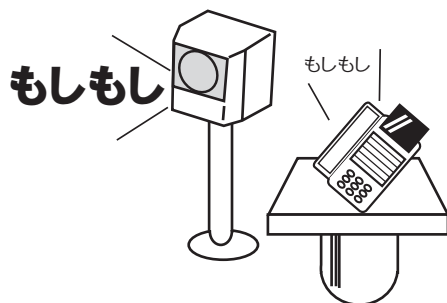


- 高音量ベルの取り付けは販売店が行います。
- 音量調節はできません。
- 音色は着信の種類に関係なく1種の音質です。

スピーカ付アンプを使う

スピーカ付アンプ

スピーカ付アンプを接続すると、電話機のスピーカモニタを大きくして聞けます。



- スピーカ付アンプの取り付けは販売店が行います。
- 音量は電話機の音量ボタンで調節できます。
- 音色は電話機そのものの音種です。

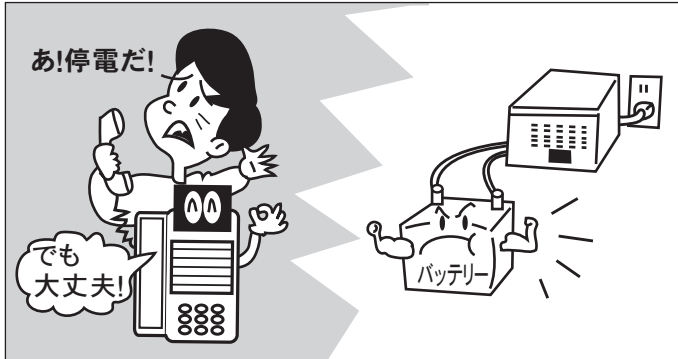
RI-24D 停電用表示付電話機

〈この電話機は"アナログ回線用"です〉

停電になると主装置に取り付けられている停電用バッテリーからの給電に切り替わります。

その後

バッテリーの保障時間が過ぎて、これが使用不能になると、この電話機は、自動的に自局の加入者回線(アナログ回線)と直結になります。直結になると、外線への発信と着信に限って使用できます。



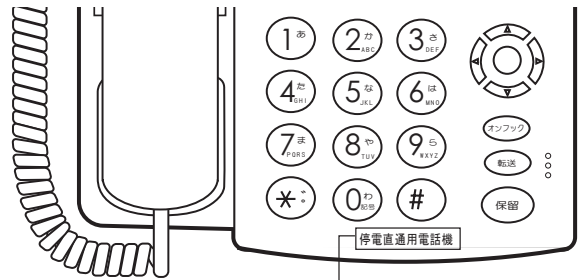
■ バッテリー保障時間

- ・内部停電用バッテリー: 約10分
- ・外部停電用バッテリー: 約3時間

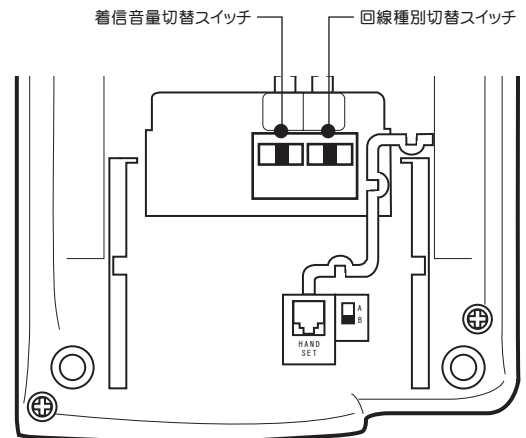
- この電話機を他の回線につなぎ替えないでください。停電時に使用できなくなります。

－ バッテリーからの給電停止後 －

- 機能するのはダイヤルボタンだけです。
- 着信音量調節は裏面の着信音量切替スイッチを切替えてください。
- 裏面の回線種別切替スイッチは販売店が設定していますので、設定を変えないでください。電話が使用できなくなります。



停電直通用電話機である旨のシールが貼ってあります。



外線にかける

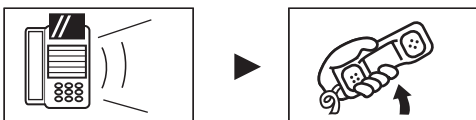
外線発信



1. 受話器を上げる。
2. 相手番号を押す。

外線からの電話を受ける

外線応答



1. 受話器を上げる。

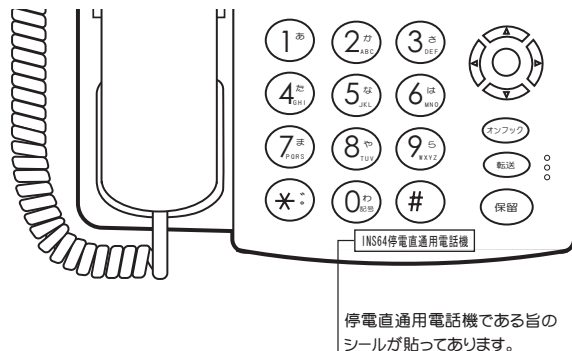
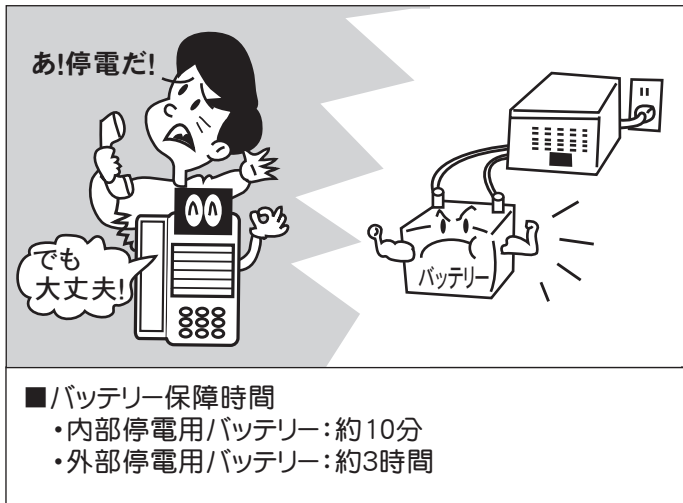
RI-24D ISDN 停電用表示付電話機

<この電話機は"ISDN回線用"です>

停電になると主装置に取り付けられている停電用バッテリーからの給電に切り替わります。

その後

バッテリーの保障時間が過ぎて、これが使用不能になると、この電話機は、自動的に自局の加入者回線 (ISDN:INS64回線) と直結になります。直結になると、外線への発信と着信に限って使用できます。



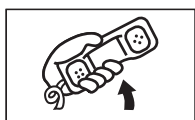
- この電話機を他の回線につなぎ替えないでください。停電時に使用できなくなります。

— バッテリーからの給電停止後 —

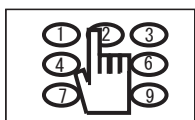
- 機能するのはダイヤルボタンだけです。

外線にかける

外線発信



1. 受話器を上げる。



2. 相手番号を押す。

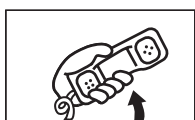
- 相手番号をダイヤル中、約4秒の間があくと、ダイヤルが終了したと見なし、その時点で発信されます。ダイヤル操作は間をあげないで行ってください。
- ダイヤルを間違えた場合は、約4秒以内に受話器を戻し、ダイヤルをし直してください。
- ダイヤルが終了してから最低4秒間は無音です。その後呼び出し音が聞こえます。
- 通話中に停電が復旧した時点で通話は切れますが、異常ではありません。

外線からの電話を受ける

外線応答



着信音が鳴る。



1. 受話器を上げる。

- 着信音量は固定です。調節はできません。
- 通話中に停電が復旧した時点で通話は切れますが、異常ではありません。

MEMO



第 8 章

システム機能



この章は、本システムに関する機能についての説明です。

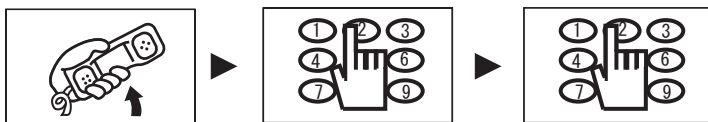
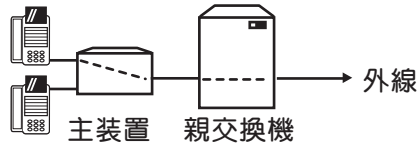
システム 基本機能

親交換機を介して外線にかける

ソフト

PBX/CES外線発信特番自動送出

主装置が親交換機の下に接続されている場合、外線発信特番をダイヤルすると、親交換機の内線を捕捉したとき親交換機の外線発信特番を自動的に送出します。



1. 受話器を上げる。
2. 外線発信特番を押す。
3. 相手番号を押す。

- 外線発信特番は取付時に販売店が設定しますので確認してください。

外線着信を特定の電話機に着信させる

ソフト

個別着信

着信した外線と着信音を鳴らす電話機を任意に複数台選択することができます。これにより、必要な箇所だけ着信音が鳴りますので静かなオフィスを実現できます。

- 1外線に対し、着信音を出す電話機を10台まで設定できます。また、10台設定した場合でも空き／話中をチェックし、優先順位の最も高い内線だけを鳴らすこともできます。
- 着信音の鳴っている電話機は受話器を上げるだけで外線着信に応答できます。

特定外線からの着信を1台の電話機に着信させる

ソフト

タイルクトインライン

特定の外線に着信があったとき、あらかじめ指定されている1台の電話機に着信させます。

- 1外線に対して1内線だけ指定できます。

特定の外線を1内線で専用にする

ソフト

プライベートライン

特定の外線に対し、指定した1内線だけが発信できます。

- プライベート外線は、指定した1内線以外からはかけられません。
- プライベート外線の着信は、指定した1内線から転送することは可能です。

外線を長時間保留している回線を強制的に切断する

ソフト

長時間保留自動解放

外線を一定時間保留し続けると保留警報(プルルル、プルルル…)が鳴ります。この保留警報が出たあと、一定時間経っても応答しないと、保留している外線を強制的に切断します。

- 外線を切るまでの時間は、保留警報が鳴りだしてから約1秒～約999秒の間で設定できます。(販売店設定)

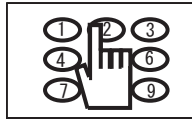
通話中にダイヤル信号(DP/PB)を出す

通話中ダイヤル送出

通話中にダイヤルを送出することができます。構内交換機に接続されている場合、構内交換機の各種サービスが利用できます。



通話中に…



1. ダイヤルする。

- 外線がダイヤル回線の場合はダイヤル信号を、プッシュホン回線の場合はプッシュ信号を出します。
- 送出されたダイヤルは電話機の表示器に表示されます。
- プッシュ信号の送出時間は、約100ミリ秒です。

内線の代表番号にかけて呼出す

ソフト
内線代表

内線電話機をグループに分け、そのグループ内の内線に分けたとき、その内線が話中の場合はグループ内の次の内線を自動的に呼び出します。

保留が長く続いたときに警報音を出す

ソフト
保留警報

外線が一定時間保留されると電話機のスピーカーから保留警報音が鳴ります。

- 警報音が鳴るまでの時間は約1秒～約999秒の間に設定できます。(販売店設定)

電話機ごとに発信できるエリアを規制する

ソフト
電話機別発信規制

電話機ごとに7段階のランクをつけ、国際発信、市外発信、市内発信ができないように規制することができます。

内容 ランク	外線発信				外線着信	内線相互	専用線	備考
	国際	市外		市内				
		全域	特定地域					
超特甲	○	○	○	○	○	○	○	規制なし
特甲	×	○	○	○	○	○	○	市外発信可
準特甲	×	×	○	○	○	○	○	特定市外発信可
甲	×	×	×	○	○	○	○	市内のみ可
準甲	×	×	×	×	○	○	○	外線着信可
乙	×	×	×	×	×	○	○	専用線、内線発信可
丙	×	×	×	×	×	○	×	内線のみ可

○: 発信/着信可

×: 発信/着信不可

- 準特甲、甲、準甲クラスにランク付けされた電話機から、システム短縮ダイヤルでかけるときのみ発信規制を無効にするようにできます。
- 規制ランクごとに昼間/夜間別々にランクを設定することもできます(夜間発信規制)。なお、規制ランクごとの切替えて、電話機ごと切替えることはできません。

夜間・休日に全着信を特定の場所で受ける

ソフト

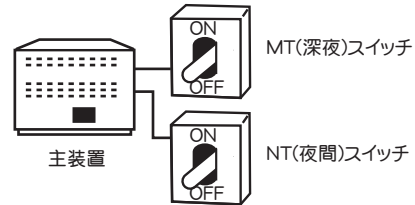
夜間着信切替

テナント分けをしている場合、夜間、休日はテナントに関係なく全ての電話機にかかってきた着信を守衛所などの特定の場所で受けることもできます。

一括切替

主装置の外部に取り付けられたMT(深夜)スイッチとNT(夜間)スイッチで行います。

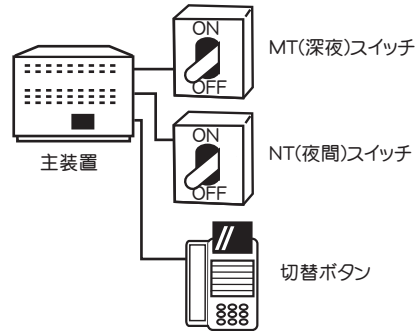
機能	NTスイッチ	MTスイッチ
昼	OFF	OFF
夜間	ON	OFF
深夜	—	ON



テナント毎の切替

電話機に設定された切替ボタンで行います。

機能	切替ボタン	NTスイッチ	MTスイッチ
昼	OFF (ランプ滅灯)	OFF	OFF
夜間	ON (ランプ赤点灯)	OFF	OFF
深夜	— (ランプ緑点灯)	—	ON



- 外線が収容されていない空きボタンを切替ボタンとして使います。
- 切り替え操作は、◇ボタンを押してから切替ボタンを押します。

外線ボタン毎に着信音を変える

ソフト

外線別着信音設定

外線ボタンごとに音質の違う着信音が選べます。

着信音種別	1	2	3	4	5
周波数(Hz)	無音	400/1000/16	400/800/16	600/800/16	800/1000/16

通話中に着信があると自動的に着信音が小さくなる

通話中着信音自動低減

通話中に着信があった場合、着信音の音量が自動的に小さくなります。

受話器が外れていると警報音を出す

ソフト

ハウラ音送出

受話器を上げたまま一定時間経過すると警報音(ハウラー音)を送出します。

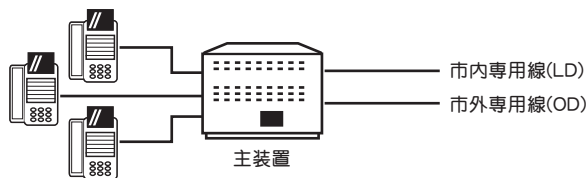
- 警報音を出さないようにも設定できます。

システム 付加機能

市内／市外専用線を接続する

ソフト
専用線

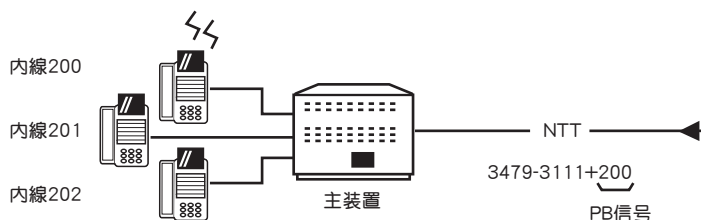
市内と市外専用線の接続ができます。



ダイレクトインダイヤル(DID)回線で受ける

ソフト
ダイレクトインダイヤル

DID回線は着信時、一旦自動的に応答し、そのあと続けて送られてくるプッシュ(PB)信号の内線ダイヤルにより、直接、指定内線に着信する回線です。社内の人で内線番号を知っている場合に便利です。

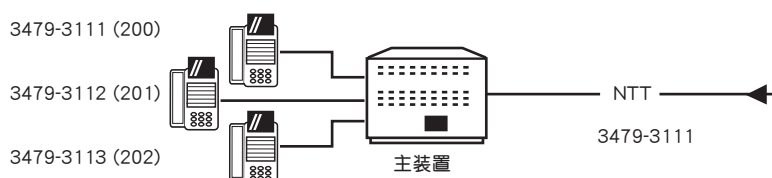


- 内線番号が正しく送られてこない場合や話し中または不応答のとき、一般着信またはNTTの話中音を返すことができます。

ダイヤルイン(DI)回線で受ける

ソフト
ダイヤルイン

DI回線は、各内線にNTTの外線番号をつけ、外から直接内線呼び出すことができる回線です。



- NTTから送られてくるDI加入者番号を主装置で任意に変換することができます。この番号変換は昼／夜2つの条件(ダイヤルイン夜間番号変換)で変更することができます。
- ダイヤルイン夜間番号変換への切替は、自動切替と手動切替の2通りの方法があります。切替方法など、詳しくは昼夜自動切替(P.68)、昼夜手動切替(P.88)をご覧ください。

ISDN回線を接続する

ソフト
ISDN

ISDN回線は通話以外にテレビ電話、G4ファクシミリ通信、データアダプタを介した高速データ通信ができます。

- ISDN回線の付加サービスで、発信者番号通知、発サブアドレス通知の表示は、DI通信、DIL通信、着サブアドレス指定着信時のみ表示します。
- 停電時、停電用バッテリーからの給電が停止すると、ISDN回線からの発着信はできません。
- ISDN回線の各種サービス(発信者番号通知、発サブアドレス通知等)の利用詳細についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

MEMO



第 9 章

付録



この章は、参照内容や電話機の仕様などについての説明です。

十字ボタン機能

十字キーの機能は右記のような内容です。



電話機の状態	カーソル機能
待機状態と通話中	電話帳検索 発信履歴
発信履歴を利用中 (着信履歴)	着信履歴 (発信履歴)
メニュー画面表示中	メニュー選択 前候補表示 次候補表示
文字入力中	カーソル左移動 カーソル右移動
漢字変換時	末尾の候補 先頭候補
待機状態／着信中	着信音量 (: 大きく / : 小さく)
スピーカモニタ中	スピーカ音量 (: 大きく / : 小さく)
相手と通話中	受話音量 (: 大きく / : 小さく)

こんなメッセージが出たら

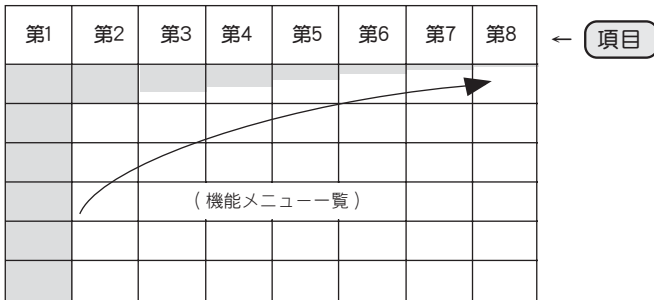
第4章と第5章の内容を操作しているとき、操作に間違いがあるとオンフックランプが早い点滅になり、表示器に右記のメッセージが表示されます。その意味は次のとおりです。

メッセージ	意味
ERR-01	これ以上は入力できません。
ERR-02	指定した番号の桁数が足りません。
ERR-03	指定した番号の桁数が多すぎます。
ERR-04	種別番号が間違っています。
ERR-05	入力した番号は使われていません。
ERR-06	指定した短縮番号は使用できません。
ERR-08	この電話機からは、登録・取消しはできません。
ERR-09	このボタンには登録できません。
ERR-10	このボタンにはすでに登録されています。
ERR-11	指定した内線は話中です。
ERR-12	指定した内線にはコピーできません。
ERR-13	「席替え」対象の内線番号を指定してください。
ERR-14	「席替え」する先頭の内線番号まで指定してください。
ERR-20	パスワードが間違っています。
ERR-21	内線番号が間違っています。
ERR-22	グループ番号が間違っています。
ERR-23	パスワードを入力してください。
ERR-24	プリンタを接続してください。
ERR-25	リストを出力中です。
ERR-26	プリンタが故障中です。

機能メニューの表示

機能メニュー一覧(P.100)の内容を画面に表示させる操作概要です。

第1項目(トップメニュー)から順にその下の階層の項目(第2→第3・・・)を選択しています。選択していくにつれて階層が深くなっていきます。



●各画面では▲で上段、▼で下段の項目にカーソルが移動します。

<待機画面>

①

100	04月27日(水)	15:00
着信音量 ■■■□□□		

(決定) 押す。

↓ この画面が表示されたときは電話機がロックされています。(ロック登録P.53)

パスワード ?

パスワードを入力→ (決定) 押す。

第1項目 <トップメニュー画面>

②

1	電話帳	
2	履歴	
3	電話機設定	1
4	電話機設定	2
5	ログ	
6	アラーム	

項目選択して→ (決定) 押す。
(例)1電話帳

第2項目

③

1	検索	
2	登録	
3	グループ	
4	ダウンロード	

項目選択して→ (決定) 押す。
(例)1検索

第3項目

④

1	名前検索	
2	メモ検索	
3	グループ検索	
4	電話履歴検索	
5	着信履歴検索	

項目選択して→ (決定) 押す。
(例)名前検索

第4項目

⑤

名前 ?
■
漢全



名前 ?	名前を入力→ (決定) 押す。
田中	文字入力(P.106)
漢全	

第5項目

⑥

1	田中一郎
2	田中正
3	田中恒夫

項目選択して→ (決定) 押す。
(例)1田中一郎

← (1 / 1) →

第6項目

⑦

001	田中一郎
	タナカイチロウ
1	002494413591234567
2	00249441254
3	0090123456789

(決定) 押す。

第7項目

⑧

1	発信番号選択
2	変更
3	消去
4	全消去
5	グループ消去

項目選択して→ (決定) 押す。
(例)1発信

第8項目

⑨

1	002494413591234567
	2345678
2	00249441254
3	0090123456789

(決定) または (オンフック) 押すとダイヤルします。

機能メニュー一覧

機能メニューは次のような階層になっています。

トップメニュー	ネクストメニュー				
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目	
1 電話帳	1 検索	1 名前検索	[名前入力]	[電話帳選択]	
		2 メモリ番号検索	[メモリ番号入力]		
		3 グループ検索	[グループ選択]		
		4 電話番号検索	[電話番号入力]		
		5 読み仮名検索	[読み仮名入力]		
	2 登録	1 名前(必須)	[名前入力]		
		2 読み仮名	[読み仮名入力]		
		3 電話番号(必須)	1 電話番号1の特番		[特番入力]
			2 電話番号1(必須)		[電話番号入力]
			3 電話番号2/3へ		1 グループ登録へ 2 電話番号2
		4 グループ	[グループ選択]		
		5 着信音色	[着信音選択]		
		6 確認	[電話帳表示]		
	3 グループ	[グループ選択]	1 名称変更	[名称入力]	
			2 着信音色	[着信音選択]	
	4 ダウンロード	1 短縮ダイヤル	[グループ選択]	[短縮ダイヤル入力]	
2 履歴	1 発信履歴	[発信履歴選択]	1 発信		
			2 電話帳登録	⇒登録へ	
			3 1件消去	1 いいえ 2 はい	
			4 全消去	1 いいえ 2 はい	
	2 着信履歴	[着信履歴選択]	1 発信		
			2 電話帳登録	⇒登録へ	
			3 1件消去	1 いいえ 2 はい	
			4 全消去	1 いいえ 2 はい	

[]内は入力になります。

			初期値	備 考
第6項目	第7項目	第8項目		
[電話詳細表示]	1 発信番号選択	1 (電話番号1) 2 (電話番号2) 3 (電話番号3)		受話器を上げるか、オンフック押下で発信。 [電話帳選択]:カーソルの電話帳の電話番号1に発信。 [電話帳詳細表示]電話番号1に発信。 通話の転送。 [電話帳選択]/[電話帳詳細表示]/第8項目の電話番号の 選択中に転送ボタンを押す。 待機状態/通話中に←でも起動。
	2 変更	⇒登録へ		
	3 消去	1 いいえ 2 はい		
	4 全消去	1 いいえ 2 はい		
	5 グループ消去	1 いいえ 2 はい		
				全角10文字、半角20文字まで入力可能。
				半角カナ/英数字で10文字まで入力可能。
				5桁まで入力可能。
				32桁まで入力可能(必須入力)。
1 特番	[特番入力]			5桁まで入力可能。
2 電話番号	[電話番号入力]			32桁まで入力可能。
1 特番	[特番入力]			5桁まで入力可能。
2 電話番号	[電話番号入力]			32桁まで入力可能。
				着信音優先順位①
			グループxx (xx:01~20)	推奨:全角9文字、半角18文字まで。
			無し	着信音優先順位②
[詳細情報表示]				受話器を上げるか、オンフック押下で発信。 [発着履歴選択]/[着信履歴選択]:表示中の電話番号に発信。 通話の転送。 [発着履歴選択]/[着信履歴選択]で履歴。 表示中に転送を押す。 待機状態/通話中に→で発信履歴が起動。 発着履歴表示中に→で着信履歴起動。

機能メニュー一覧 (つづき)

トップメニュー	ネクストメニュー				
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目	
3 電話機設定1	1 サウンド設定	1 着信種別毎音色	[着信種別選択]	[着信音選択]	
		2 ボタン着信毎音色	[フリーファンクションボタン押下]	[着信音選択]	
		3 最小着信音	1 最小 2 消音		
		4 ボタンタッチ音	1 無し 2 有り		
		5 レベル設定	1 送話レベル		1 小さく 2 大きく 3 初期値
			2 側音		1 小さく 2 大きく 3 初期値
			3 フロアレベル抑圧		1 無効 2 有効
		2 LCD設定	1 コントラスト	1 淡く 2 濃く 3 初期値	
			2 バックライト明度	1 標準 2 省電力	
	3 バックライト点灯時間		1 1分 2 3分 3 10分 4 消灯なし		
	4 バックライト着信時有無		1 点灯 2 消灯		
	5 バックライト操作時有無		1 点灯 2 消灯		
	3 履歴保存条件	1 発信履歴	1 外線発信履歴		1 保存する 2 保存しない
			2 専用線発信履歴		1 保存する 2 保存しない
			3 内線発信履歴		1 保存する 2 保存しない
		2 着信履歴	1 着信通話履歴		1 保存する 2 保存しない
			2 不在着信履歴		1 保存する 2 保存しない
	4 拡張機能	1 ヘッドセット付加	1 無し 2 有り		
		2 省電力モード設定	1 無効 2 有効		
		3 省電力移行時間	1 1分 2 3分 3 10分 4 30分		
		4 パスワード登録	[現パスワード入力]	[新パスワード入力]	
		5 初期化	1 いいえ 2 はい		

[]内は入力になります。

			初期値	備 考
第6項目	第7項目	第8項目		
[登録内容表示]			無し	着信音優先順位④
[登録内容表示]			無し	着信音優先順位③
			最小	着信音を消すことができます。
			有り	ボタン操作時の音の有無を切替えます。
			3段目 (3段階)	3段階 設定時は管理者にお問い合わせください。
			6段目 (10段階)	10段階 設定時は管理者にお問い合わせください。
			無効	設定時は管理者にお問い合わせください。
			10段目 (20段階)	20段階
			標準	バックライト点灯時の明度を切替えます。
			消灯なし	無操作後、設定時間が経過すると、バックライトが消灯します。 (設定有無によらず無操作後10秒で、省電力点灯になります。)
			点灯	着信時のバックライト点灯有無を設定します。
			点灯	ボタン操作時のバックライト点灯有無を設定します。
			保存する	発信履歴に外線発信を保存するかどうかを切替えます。
			保存する	発信履歴に専用線発信を保存するかどうかを切替えます。
			保存する	発信履歴に内線発信を保存するかどうかを切替えます。
			保存する	着信履歴に着信後に通話した相手を保存するかどうかを切替えます。
			保存する	着信履歴に着信に回答できなかった相手を保存するかどうかを切替えます。
			無し	設定時は管理者にお問い合わせください。
			無効	省電力モードの有効/無効を切替えます。
			30分	無操作後、設定時間が経過すると、バックライトとフリーファンクションボタンのランプが消灯します。
[新パスワード入力]			0000	4~8桁(初期値:0000)。
				電話機の設定が初期化されます。

機能メニュー一覧 (つづき)

トップメニュー	ネクストメニュー			
第1項目	第2項目	第3項目	第4項目	第5項目
4 電話機設定2	1 短縮ダイヤル	[短縮ダイヤル入力]	1 登録	1 特番発信 2 外線発信 3 親PBX発信
			2 編集	1 発信種別選択
				2 電話番号 3 名称 4 読み仮名
	3 消去	[詳細情報表示]		
	2 ボタン	[フリーファンクションボタン押下]	[登録内容表示]	1 未登録
				2 オートダイヤル
3 内線ワンタッチ				
4 自己保留				
5 メモダイヤル その他				
5 ロック	1 解除する 2 ロックする			
6 アラーム	1 設定時間の変更			
	2 アラームの設定			
	3 アラームの解除			

[]内は入力になります。

			初期値	備 考
第6項目	第7項目	第8項目		
[電話番号入力]	[名称入力]	[読み仮名入力]		電話番号は32桁まで。 名称は全角10文字、半角20文字まで。 読み仮名は半角カナ／英数字で10文字まで。
1 特番発信 2 外線発信 3 親PBX発信				
[電話番号入力]				32桁まで。
[名称入力]				全角10文字、半角20文字まで。
[読み仮名入力]				半角カナ／英数字で10文字まで。
1 キャンセル 2 消去				
[登録内容表示]				未登録に戻さないと機能設定はできません。
[電話番号入力]	[登録内容表示]			6桁まで。
[外線番号入力]	[登録内容表示]			
[登録内容表示]				
[登録内容表示]				
				上記4機能を除いては変更できません。
			解除する	メニュー、電話機、履歴起動時にパスワードが要求されるようになります。
			00:00	00:00～23:59

文字入力

各ボタンの文字割り当て(P.107)を参照してください。

漢字／ひらがな

入力モードを「漢全」にする。

漢全

① 名前？
■

漢全

入力モード

② さと [う]

漢全

"読み"を入力する。
(例) さとう

- ・入力した読みを"ひらがな"で確定するときは 押す。
- ・同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは でカーソルを移動させてから入力する。
- ・入力した読みを漢字変換するときは / で候補を表示させる。

③ さとう

1	佐藤
2	砂糖
3	サトウ
4	さとう

漢全

候補を選択して→
 押す。
(例) 1佐藤

④ 名前？
佐藤 ■

漢全

・操作②③を繰り返して文字を入力する。

濁点、半濁点の入力

(例) が

1. カーソルを合わせる。
2. 押して濁点、半濁点を付ける。
3. これで、「が」になりました。

・カタカナ半角の場合は濁点、半濁点も半角1文字が使われますので、通常通りの入力になります。

スペース入力

スペースは半角だけです。全角はありません。

1. 「か」を入力してカーソルを右に移す。
 2. 再度カーソルを右に移す。
 3. これで、半角スペースができました。
- 半角スペース

直接入力文字

入力モードを「漢全」以外にする。

加全 英全 数全 加半 英半 数半

① 名前？
■

加全

任意の文字を入力する。

② 名前？
サトウ A B C 1 2 [3]

数半

・同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは でカーソルを移動させてから入力する。

文字削除

■ 1文字削除

① 名称？
田中一郎 A B C 1 2 3

漢全

削除する文字にカーソル
合わせ→ 押す。

名称？
田中 [] A B C 1 2 3

漢全

・1文字削除されて文字間が詰まります。

■ 全削除

① 名称？
田中一郎 A B C 1 2 3

漢全

クリア
 を
長押し(3秒以上)する。

名称？
■

漢全

・全文字削除されます。

各ボタンの文字割り当て

文字

再ダイヤルを押すと次の順に入力モードが換わります。



始めに入力モードを選択し、下表にしたがって各ボタンを必要回数押して目的の文字を入力します。

文字種 ボタン	漢全 (漢字全角)	加全 (加加全角)	英全 (英字全角)	数全 (数字全角)	加半 (加加半角)	英半 (英字半角)	数半 (数字半角)
	漢 あ	ア	A	1	ア イ	AB	12
1 あ	→ あいうえお	→ アイウエオ	—	1	→ アイウエオ	—	1
2 あ ABC	→ かきくけこ	→ カキクケコ	→ ABC	2	→ カキクケコ	→ ABC	2
3 さ DEF	→ さしすせそ	→ サシスセソ	→ DEF	3	→ サシスセソ	→ DEF	3
4 た GHI	→ たちつてと	→ タチツテト	→ GHI	4	→ タチツテト	→ GHI	4
5 な JKL	→ なにぬねの	→ ナニヌネノ	→ JKL	5	→ ナニヌネノ	→ JKL	5
6 は MNO	→ はひふへほ	→ ハヒフヘホ	→ MNO	6	→ ハヒフヘホ	→ MNO	6
7 ま PQRS	→ まみむめも	→ マミムメモ	→ PQRS	7	→ マミムメモ	→ PQRS	7
8 や TUV	→ やゆよ	→ ヤユヨ	→ TUV	8	→ ヤユヨ	→ TUV	8
9 ら WXYZ	→ らりるれろ	→ ラリルレロ	→ WXYZ	9	→ ラリルレロ	→ WXYZ	9
0 わ 記号	→ わをんー、。・	→ ワヲンー、。・	—	0	→ ワヲンー、。・	—	0
*	—	—	—	*	—	—	*
#	—	—	—	#	—	—	#

小文字を表示させるには

大文字/小文字

全角で文字種を表示させて、小文字のある文字種(下記)になったときに **短縮**を押す。

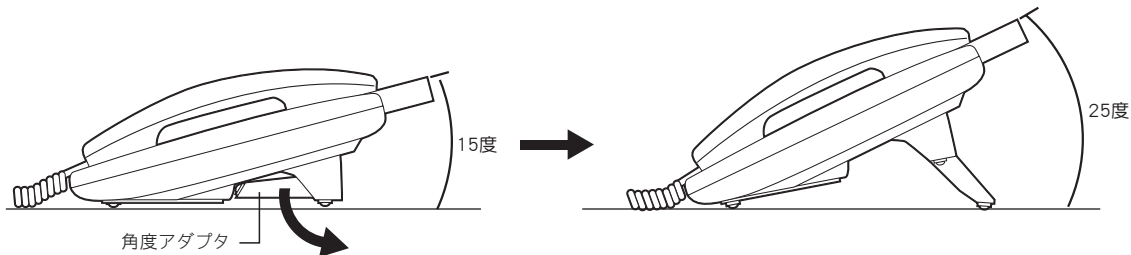
小文字の文字種

あいうえお つ やゆよ abc def ghi jkl mno pqrs atuv wxyz

電話機角度／画面角度を変える

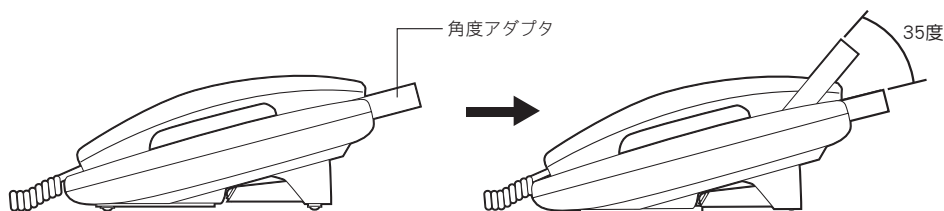
電話機の角度

角度アダプタを下記のように引き出すと電話機の角度を変えることができます。



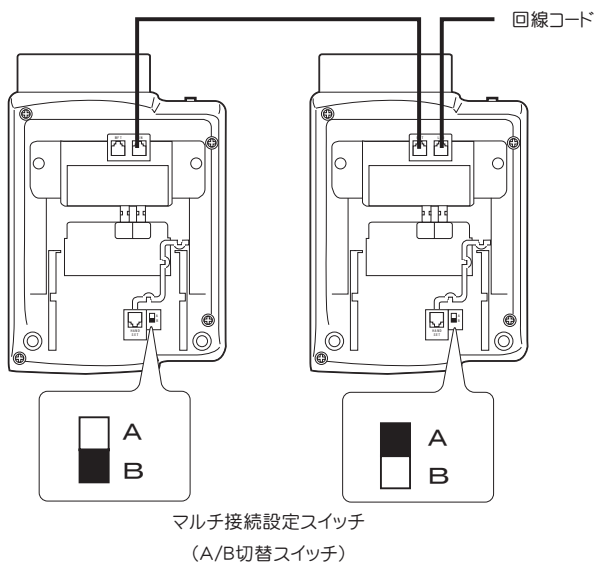
画面の角度

画面は下記の角度内で任意の位置において使用できます。



電話機のマルチ接続

本システムの電話機はマルチ接続(1回線に電話機を2台接続)でご利用になれます(取付時に販売店設定)。



〈ご注意〉

マルチ接続になっている電話機は、その底面の"A/B切替スイッチ"がお互いが逆設定になっています。この設定を変えないでください。2台とも機能しなくなります。

⚠警告

接続コードの差替えは絶対にしないでください。誤って受話器コードをMFTまたはLINEに接続すると回線の電圧が受話器に加わり火災・感電・故障の原因となります。

主な仕様

主装置

項 目		仕 様					
		CCUA	CCUB		CCUC		
キャビネット構成	基本キャビネット	1	1	1	1	1	1
	増設キャビネット	—	—	1	—	1	2
最大収容回線数	アナログ局線	64	64	128	64	128	192
	INSネット64	32	32	64	32	64	96
	INSネット1500	4	4	8	4	8	12
	専用線	16	16	32	16	32	48
最大機器接続台数	多機能電話機(※1)	32(32)	48(48)	96(96)	48(48)	96(96)	144(144)
	一般電話機	32	64	128	64	128	192
	ISDN内線(S点)	32	32	64	32	64	96
	デジタルコードレス子機	192(※4)					
	デジタルハンドルコードレス電話機	8					
	DSS装置	32					
	ドアホン	8					
使用電源	AC100V±10V(50/60Hz)						
消費電力(W)	約60	約120	約200	約120	約200	約250	
環境条件	温度0～40℃ 湿度15～85%(結露なきこと)						
外形寸法	幅(mm)	約400					
	高さ(mm)(※2)	約350	約350	約700	約350	約700	約1050
	奥行(mm)	約220					
質量(kg)(※3)	約10	約10	約20	約10	約20	約30	

※1 ()内はマルチ接続時です。

※2 バッテリーボックスを取り付けると+250mmになります。

※3 質量には、バッテリー質量は含みません。

※4 ラインキー付PHSの最大数は128です。

多機能電話機

環 境 条 件	温度:0～40℃ 湿度 TEL PFI 以外15～85%(結露なきこと) TEL PFI 25～85%(結露なきこと)
表 示 器	文字列:6行 1行当たりの文字数:半角で20 全角で10 文字フォント:JIS第1水準、第2水準、JIS非漢字 6888字
外 形 寸 法	約180(幅)×266(奥行)×94(高さ)mm
質 量	約0.9kg

リコーテクノシステムズ株式会社

お客様メモ……購入年月日・購入店名を記入しておいてください。

リコーメディアコネクション BXシリーズ	
購入日	年 月 日
購入店名	
	TEL

MB00036-1